

物品ノ名稱	一千八百九十四年	一千八百九十五年
水	五	七〇〇
砂		三五、〇〇〇
糖		
網	八	二六〇
豌豆及大豆	三	一〇〇
米	四〇	一八〇
總計	二、〇〇六	三、三三八、三〇〇

其他寬城子、奉天ヨリ支那、歐羅巴、亞米利加産ノ製造品ヲ輸入シ、又低廉ナル朝鮮織物、麻  
 尼拉ノ葉卷煙草、埃國産ノ「マツチ」、洋酒等ヲ見ル、「サハリン」、愛琿ノ住民ハ主トシテ是等  
 ノ商貨ヲ露領及ビ清領ニ輸出スル委託商ニ從事ス。

「ブラゴウエンチエンスク」府ノ愛琿、「サハリン」邑トノ商業ハ、其輸入品ニ對シ金銀等ノ硬貨  
 ヲ以テ支辨セズ、露國ノ商品ヲ以テ之ヲ償フガ如キ觀アルモ、全ク受動的ニシテ、其餘波愛琿ニ  
 及ビ齊々哈爾、呼蘭城、白彥蘇々ヨリ夥多ノ貨物ヲ積載シ來ル貨車ハ、常ニ空車ニシテ歸ルヲ常  
 トス、「ブラゴウエンチエンスク」府ト滿洲トノ商業ノ地位ハ「マテユウニン」氏ノ調査ニ係ル一  
 千八百九十四年及一千八百九十五年度ノ大畧ノ統計表ヲ以テ明カニ之ヲ見ルコトヲ得可シ。

滿洲ヨリ「ブラゴウエンチエンスク」府ヘノ輸入貨物

物品ノ名稱	數	量	價額(留)	數	量	價額(留)
牛	一八、〇〇〇		八〇〇、〇〇〇	一七、〇〇〇		九〇〇、〇〇〇
羊、豚、其他、家畜類			五〇、〇〇〇			三〇、〇〇〇
家畜ノ脂油			一〇、〇〇〇			三、〇〇〇
米、燕麥、麥粉、其他		五〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇		五〇〇、〇〇〇	二七、〇〇〇
植物ノ油種子油精		五〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇		五〇、〇〇〇	六、〇〇〇
麻網大麻其他		六、〇〇〇	一、〇〇〇			一六、〇〇〇
乾果物、野菜、果實			一〇、〇〇〇			一〇、〇〇〇
裘衣、革器支那製小雜貨			一〇、〇〇〇			三、〇〇〇
葉煙草			九、〇〇〇		三、〇〇〇	一〇、〇〇〇
總計			一、二七〇、〇〇〇			一、三六一、〇〇〇

該表ニ依テ之ヲ見ルニ、露領ニ於ケル輸入品ノ重ナルモノハ穀物、家畜ニシテ、就中最モ多  
 キハ家畜ナリトス、家畜ハ專ラ蒙古種ニシテ滿洲ヲ經テ黑龍地方ニ輸入シ來ルモノナリ、「ブラ

ゴウエンチエンスク「府ノ屠殺所ニ於テ屠ルモノハ毎年六千乃至九千頭ニシテ、其他ハ沿海州及ビ附近ノ礦山ニ輸出ス、左表ハ一千八百九十三年度ニ於ケル家畜ノ配布ヲ示スモノナリ。

地 名	馬	牛	羊
礦山及ビ沿海州	二、七二一	六、九三四	—
ブラゴウエンチエンスク「府	—	八、九九四	三、一七六
滿洲ヨリ輸入シ來レル總數	二、七二一	一五、九二七	三、一七六

露國ノ經理局及ビ採金業會社ハ滿洲ヨリ穀物ヲ購求ス、千八百八十七年ヨリ一千八百九十三年ニ至ル數量ハ左表ノ如シ。

滿洲人ヨリ購買シタル額

年 次	布ノ數	留ノ金額	布ノ數	留ノ金額
一千八百八十七年	五、七九九	四、五三三	一四、三七九	二四九、九六三
一千八百八十八年	七、〇〇〇	九、〇〇〇	七、一五五	三三、四一〇
一千八百八十九年	九、三〇〇	一八、六〇〇	*一六、一八九	八七、九三三

滿洲ヨリ「ブラゴウエンチエンスク」府へ蔬菜ヲ輸入スルコト莫大ニシテ夏季大ナル「ジャンク」ニ搭載シテ此地方ニ輸送セラル、是等ノ蔬菜ハ又礦山地方ニモ輸送セラル、該商業ヨリ支那人ノ爲メニ吸收セラル、金額ハ「アンドルシチエニコ」氏ノ說ニ依レバ數萬留ニ及フト云フ。  
愛理及「サハリシ」ニ於ケル露國商貨ノ輸入ニ付テハ一千八百九十四年「クンストアリベルス」商會ノ調査ニ係ラル「ブラゴウエンチエンスク」府ノ諸商店ノ支那人ニ賣却シタル左ノ價額ヲ見ハ大要ヲ知ルヲ得ベシ。

年 次	購 求	セ ズ	三、六七〇	三、六九
一千八百九十年	—	—	—	—
一千八百九十一年	三、〇〇〇	三、七、八〇〇	一八、五五九	七、〇七三
一千八百九十二年	一、一四五	一六、三四七	一三〇、九六三	六四、八三三
一千八百九十三年	八四、四三〇	五、一六〇	三、七九七	三、七六〇
總 計	三、八、六四	三三、一九	八、〇、七二	五、六、九三〇

- 製造品 六萬留
- 金屬製ノ器物 二萬留
- 石油蠟燭 二萬留

銀塊 十六萬留

五百六十

總計 二十四萬二千留

以上ノ商貨中銀塊ハ勿論露人ガ支那ノ物貨ヲ購求シタル賠償タラズンバアラズ。  
 愛琿市ノ商業發達ト共ニ露國商貨ノ滿洲ニ輸出セラル、モノ愈々多キヲ致シ、清商ハ屢々黑龍  
 江ヲ遊弋スル露國ノ汽船ヲシテ、愛琿ニ碇繋セシメントスルノ策ヲ講ズルニ至レリ。  
 黑龍下流ノ右岸一帶ノ地ハ殆ンド村邑ヲ見ズ、唯「ラツデ」兵村ノ對岸ニ當リ、北金城ノ金鑛地  
 開カルルニ及ンデ、近時小邑設立セラレ、漸次其發達ヲ見ルニ至リテ、露國ノ商貨モ亦徐々ト  
 シテ之レニ入ルト雖ドモ、其大部ハ清商ニ依リ三姓市ヨリ輸送セラル。  
 「エカテリ」ニコリスク「兵村」ニ對スル黑龍江ノ右岸ニ馱馬ヲ通ズル徑路アリ、地方ノ住民ノ説  
 ニ依レバ、該徑路ニ依リ「オロチョン」人ト露國「サハリン」トノ交易的商業行ハル、然レドモ其  
 額少許ナリト。  
 松花江ハ滿洲ト露國黑龍沿道地方トノ貿易ノ重要ナル通路ニシテ、該通路ニヨリ經營セラル、  
 情況及ビ將來ニ於ケル其發達等ニ關スル細密ナル情報ハ、一千八百九十五年ニ於ケル松花江ノ  
 露國遠征隊ニ依テ充分ニ調査ヲ遂ゲラレタリ、其他「ジャンク」ニ搭載シテ松花江ヨリ「ハッロ  
 フスク」市ニ到ル商貨ノ數ハ該市ノ警察官ニ依テ稽查セラレタリ。

松花江ノ水域ヨリ異境ニ輸出スル商貨ノ數ハ「マテユウニン」氏ガ最モ慎重ナル調査ヲナシテ、  
 之レヲ毎年一千萬布トナセリ、松花江水域ニ産出スル物産ノ異境ニ至ルモノハ三路ヲ有セリ、  
 即チ一ハ松花江ヲ下リテ黑龍江ニ入ルモノ、二ハ齊々哈爾濱ヲ經テ愛琿ニ至ルモノ、三ハ南營口  
 ニ至ルモノ是レナリ、就中黑龍江ニ入ルモノハ、「マテユウニン」氏、松花江ノ各埠頭ニ於テ調  
 査シタル所ニヨレバ其額五十萬布ニ達シ、而シテ營口ニ至ルモノハ比較的高價ナル運賃ヲ支拂  
 フニ係ハラズ四百布ノ多キニ及ブト云フ。  
 松花江ノ水域ト露領トノ貿易ヲ調査スル時ハ露國商人ノ松花江ニ對スル商業ハ皆支那商人ノ媒  
 介ニ依ルコトヲ認識スベシ、蓋シ露人ノ松花江ニ於テ直接關係ヲ結バントシタル有ラユル方策  
 ハ、一千八百九十五年ニ至ルマデ清國行政官ノ反抗ニヨリ全ク不成功ニ終リタリ、當時ニ至ルマ  
 デ露國商人ノ松花江ニ入リシハ歸化人紀鳳泰氏一人ノミナリキ、一千八百九十五年以降ハ露人  
 ノ松花江ニ於ケル商業ハ、其妨害解除セラレタリト雖ドモ、國語ノ通ゼザル、人性風俗ノ異ナ  
 ルコトハ著ルシク事業ノ進捗ヲ見ル能ハザリキ。  
 松花江ニ依リ黑龍江ニ入リタル商貨中「ハッロフスク」市ノ埠頭ニ著シタルモノ、該市警察署ノ  
 調査シタル一千八百九十三年ヨリ同五年ニ至ル間ノ輸入額ハ左ノ如シ。

商品ノ名稱	一千八百九十三年			一千八百九十四年			一千八百九十五年			單位ノ平均價額(哥)	總額(留)
	數	量	數	量	數	量	數	量			
大麥粉(布)	五、一五、五		六七、六五五		四六、一五六		一一		五、四、四、〇〇		
小麥粉(布)	三、一四五				四三		九五		五〇〇、九〇		
蕎麥 <small>(原皮ノ及ビ粉)</small>			三七		五〇五		五三		二六五、九〇		
小麥	一七、八三八		四、三三〇		四、七五五		六三		二、七、四、〇〇		
大麥	一一、八八九		一一、〇〇〇		三九、一八四		五五		二、五、五、一〇〇		
高粱	二、一八〇		二、三九七		二、六〇〇		五〇		五、八、〇〇〇		
粟	一五、六〇〇		一八、三六六		二、一三〇		四九		一〇、四、八、〇〇		
黍	五九九		八六		二、六〇〇		六三		一、三、六、八〇		
燕麥			一〇〇								
玉蜀黍					五〇		五〇		七、七、〇〇		
蠶豆					二、五八		三五		九、三、三、五〇		
豆及ビ豌豆	一六、〇三〇		一、三七二		三六〇		一五〇		五、四、〇〇〇		

豆	精(〃)			一八六		一八六〇		三七		六八、三〇〇
澱粉	粉(〃)									
支那素麵	(〃)	六九五		一、〇〇〇		二、〇四七		一一一		三、一、五、一、七〇
菜油	油(箱)	六七六		七三		二、一、二、四		四三七		九、六、一、八八
豆油	油(〃)			三六		一、一、三		四八		四、九、五、七六
麻油	油(布)	六五				三、五		五〇八		一、六、〇〇、〇〇
種油	油(〃)					二		五〇〇		一〇、〇〇
鹽	(〃)	九五		一、九九五		二、二、三		九五		二、一〇、一、三、五
自然性ノ硫酸	硫酸(リ)	二五		一、五		六、五		一一〇		七、九、九、五〇
醬油	油(〃)	二二		三六		三、七、五		一、三、五		五〇六、三、五
胡椒	(〃)									
胡椒	椒(〃)									
其他ノ乾果	(〃)	一三		三五二		三六		一〇〇		四九、四、〇〇
其他ノ乾果	(〃)	二二		一、五		三三		一〇〇		三、九、七、一〇
林檎及ビ其他	(〃)	八、三				三		二〇		八、一〇

粗製絲(布)	紙類(束)	陶器ノ茶碗(個)	支那蠟燭(打)	支那靴(對)	支那木綿(卷)	毛布(個)	綿(布)	鍋(〃)	桶(〃)	掃(〃)	髮製ノ飾(個)	麻繩(〃)	麻屑(〃)
—	1,501	3,000	—	2,000	100	—	11	16	—	165	3,500	1,333	—
—	8,333	—	5,000	100	100	—	11	15	10	3,000	1,000	101	8
—	3,368	—	100	173	—	3,000	8	17	—	3,600	1,200	2,500	—
—	3,333	—	3	27	—	57	100	100	—	15	15	177	—
—	1,437,733	—	1,333,833	—	—	1,737	33	—	—	57	3,333,833	3,333,833	—

麻(布)	毛氈(個)	羊(頭)	膠(布)	不精製皮(〃)	鱈魚軟骨(〃)	豚脂(〃)	家畜ノ肉(〃)	豚肉(布)	豚(〃)	雉(〃)	玉子(個)	煙草(〃)	蜂蜜(布)
108	—	15	4	—	—	13	13	—	70	—	10,100	333	9
1,977	4,600	14	2	3,000	5	2,333	—	—	—	—	9,200	333	18
2,400	300	—	7	—	—	3,600	—	—	—	—	3,500,000	1,000,000	—
1,733	6	—	300	—	—	3,333	—	—	—	—	15	200	—
4,333,733	120	—	—	—	—	1,333,833	—	—	—	—	3,333,833	3,333,833	—

總計	1	1	1	15,507
----	---	---	---	--------

以上ノ表ニ依テ之レヲ見レバ、一千八百九十五年度ノ輸入品ハ略二割ノ増加ヲ見ル、(一千八百九十四年ノ十六萬四千布ニ對スル一千八百九十五年ノ十九萬四千布ナリ)是レ疑モ無ク先ヅ該地ニ輸入スル商貨ノ漸次精密ニ登録セラル、ニ至リタルモノト云フ可シ。

而シテ殘餘ノ松花江ヨリ來ル商貨ハ、「ジャンク」ニ依リ黑龍江ノ上流ニ溯リ、或ハ下流「ニコライウスク」市ニ至リ、又ハ烏蘇里ヲ溯ルモノアリ、之ニ依リ松花江ノ商店ハ露國ニ其ノ籍ヲ有スル諸種ノ土族、「ギリヤーク」、「ゴリド」、「オロチヨン」人等ト頻繁ナル貿易ヲ營ミ、各商人ハ是等ノ土族ノ終歲ノ勞働ニ依リテ得タル毛皮、鹿角、魚膠、鱈魚ノ軟骨ヲ購求スルヲ努ム。支那人ニ依リ黑龍江ニ輸入スル商品中首位ヲ占ムルハ、穀物及ビ其他一般糧食品ニシテ、就中最モ有利ナラザルハ燒酎ナリ、既ニ一千八百六十二年ヨリ以來、燒酎ハ大人體ノ健康ヲ害スルモノトナシ、之レガ輸入ヲ禁ジタリ、然レドモ斯ハ露國ノ「オトツカ」酒ニ比シ低廉ナルト、人ヲシテ酩酊セシムルコト強キト、露國境界ノ監視ノ疎漫ナルコト、ヨリ、密輸入セラル、モノ甚ダ多シ。

黑龍江ニ燒酎ノ流入スルハ主トシテ二個ノ道ニ依レリ、即チ冬季陸路齊々哈爾、墨爾根ヲ經テ

愛琿ニ至リ、夏季松花江ノ水路「ジャンク」ニ依ルモノ是レナリ、大部ハ黑龍江ヲ下リテ沿海州ニ入來リ、殘餘ノ燒酎ハ黑龍江ニ沿フ露清兩國ノ村邑ニ輸入セラル、穀物ヲ搭載シテ松花江ヨリ愛琿ニ至ル露國政府ノ「ジャンク」ハ穀物ト共ニ、此地方ニ燒酎及ビ鹽ヲ輸入スルコトアリ、黑龍江ニ於ケル「ジャンク」ノ燒酎販賣ノ中心點ハ、愛琿及ビ「サハリン」邑ニシテ、此處ヨリ支那ノ金嶺漠河、北金城地方ニ輸出ス、黑龍江ノ右岸ニアル滿洲ノ村邑「ブデンデ」村ノ媒介ニ依リ、露國哈薩克兵村或ハ農村、遠クハ金嶺地方ニ流入スルモノアリ、是レ該火酒ハ酒精分ノ多キト、(七十度以上)價ノ低廉ナルトニ由ルモノニシテ、例セバ愛琿ニ於テ一布(略我一斗)ノ卸賣高ニ留半乃至三留、「サハリン」邑三留半乃至四留半、「ブラゴウエンチエンスク」三留半乃至六留、漠河五乃至七留、而シテ露國ノ村邑ニ於テハ之レヲ壘積トナシ、之レニ露國ノ「オトツカ」酒ノ程度(四十度)ニ水ヲ和シ、二十哥乃至三十哥ニテ販賣ス、「マテユウニン」氏ノ説ニ燒酎ノ毎年輸出セラル、モノハ

- 「ブラゴウエンチエンスク」府 一萬五千布
- 「ゼーヤボム」河ニ依リ金嶺地及ビ農村ニ入ルモノ 三萬五千布
- 「ラツデ」兵村 三千布
- 「ミハイロ、セミヨウノフスカヤ」兵村 一千布

「イグナイシナ」兵村

一千布

「エカテリ」ニコリスク」兵村

一千布

總計

五萬六千布

該商業ヨリ支那商人ハ、毎年露領黑龍州ノミニテ十萬乃至十五萬留ノ金額ヲ吸收ス。

松花江ニ於ケル露國商貨ノ輸出ハ、「ハバロウスク」府ノ埠頭ニ於テ、松花江ノ「ジャンク」ニ搭載シテ歸航スル貨物ノ調査ヲ遂ゲザルガ故ニ、何等ノ報告ヲ得ズト雖モ、然レドモ一千八百九十五年「ハバロウスク」府ニ來レル支那「ジャンク」ノ百十九隻中、五十五隻ハ空舟ニテ歸路ニ就ケル事實ヨリ之レヲ推スモ、極メテ寥々タルヲ見ルヲ得可ク、又タ貨物ノ皆無ナルガ爲メニ、「ジャンク」ノ多數ハ之レヲ空シク持テ歸ルノ利益ナキガ爲メ、「ハバロウスク」府ニ於テ往々捨テ賣リニスルモノアリ。

現時清商ノ爲メニ最モ有益ナル事業ハ、金塊ノ買占メ及ビ其ノ一部ハ商貨トシテ燒酎ヲ以テ之ヲ交換スルノ一事ナリトス、金塊買占メノ公禁ハ、其全キ利益ヲシテ清商ノ掌中ニ收メシム、彼等ハ不正ノ秤ヲ用ヒ、巧ニ露國ノ愚民ヲ籠絡シテ、莫大ノ利益ヲ得ルニ至レリ、蓋シ露領ト滿洲間輸出入額ノ甚ダシキ不平均ヲ呈シツ、アルハ、吾人ヲシテ直チニ支那人ニ依テ密カニ買収セラル、金塊ヲ想出セシメズンバアラズ、「マテユウニ」氏ノ説ニ依レバ、滿洲ノ内地ニ入レバ

露國ノ紙幣銀貨ハ一トシテ之レヲ見ル能ハズト。

現時ニ於ケル露國製造業者ノ熱誠ナル攻究實驗ハ、露國ノ織物等ヲシテ松花江ノ市場ヲ浸蝕セシメ、露國ノ製造家ガ卸賣ノ輸出ニ於テ、優ニ英吉利、亞米利加、及ビ獨逸等ノ織物ヲ凌駕スルヲ得可シ、「マテユウニ」氏ハ、露國ノ商人ハ滿洲ニ於テ小賣業ニ於テ、支那人ト對抗スルハ極メテ困難ノ業トナセリ、元來支那ノ商估ハ商畧ニ富ミ、非常ナル詭計ヲ弄スルガ爲メ、支那ノ開市場ニ於ケル歐羅巴ノ商會ハ、卸賣ノ外土人ト取引セザルガ如ク、又松花江畔ニ於テモ露國ノ商人ハ、又卸賣ヲ以テ優ニ露國利益ヲ發展スルヲ得ン。

「マテユウニ」氏ノ説ニ依レバ、松花江ノ市場ニ歡迎セラル、露國ノ織物ハ、諸種粗製ノ羅紗及ビ綿布ニシテ、其品質ノ如何ヨリハ、寧ロ價ノ低廉ナルヲ喜ブト云フ、毎年是等貨物ノ松花江畔ノ市場ニ入ルモノ三百萬留以上ニ上レリ。

烏蘇里地方ト接壤スル滿洲境界ノ貿易ハ著大ナラス、該境界ハ其延長一千餘露里有スト雖ドモ、然レドモ兩國人ノ境界ヲ通過スルハ、唯僅カニ七箇處ニ於テ許可セラル、ニ過ギス、即チ烏蘇里江ニ於テハ「カザケ」ウイチ、「コデロ」ウスカヤ、「グラ」フスカヤノ各哈薩克兵村、陸上ノ境界線ニ於テハ「トゥリ」ローガ村、「ブラ」トノ、アレクサンドロウスカヤノ哨所アル所)「ボル」ターウスカヤ、「上」マンダガイウスカヤ及「フン」チンスカヤノ各哨所ニ過ズ、

而シテ境界ヲ通過スル物貨ヲ登録スルハ、唯一千八百九十年ヨリ開始シタル後者ノ三哨所ニ過ギス、而シテ就中最モ大ナル勢力ヲ有スルハ寧古塔、三岔口ヨリ露領「ニコリスク」浦鹽斯德ニ通ズル「ポルターウスカヤ」哨所ニシテ、「フンチンスカヤ」哨所ハ琿春ヨリ海灣ニ至ル要衝ナリ。

烏蘇里江ニ於ケル商業ハ全ク登録セラレス、境界地方ノ清領ハ住民甚ダ稀薄ナレドモ、然レドモ荷モ村邑ノ設立セラレタル地方ハ、商店及ビ露國領ニ輸出スル豫定ヲ以テ設立セル燒酎製造所アリ、支那ノ商人ハ境界通過點ニ關スル規定ヲ完ク蹂躪シ、烏蘇里江ヲ渡リ自由ニ露領ニ入り、哈薩克土族ト相貿易シ、諸種ノ小雜貨、殊ニ燒酎ヲ販賣ス、蓋シ是レ等商貨ノ大部ハ、松花江ヨリ「ジャンク」ニ搭載シテ輸入セラル、モノナリ、松花江ノ商人ノ最モ有利ナルモノハ、彼等籠蓋中ニアル露國土人トノ商業ニシテ、斯ハ主トシテ物品交易ナリ、支那人ハ自己ノ商貨ヲ以テ毛皮、人參、鹿角及ビ獸獵漁業ヨリ獲ラル、天産物ト交易ス、是等ハ初メ吉林省ニ輸送セラレ、此處ヨリ山海關ヲ經テ天津ニ至ル、烏蘇里江ニ於ケル商業ハ、一千八百九十五年「ハバロウスク」府ニ通ズル鐵道敷設事業ノ起リタル爲メ、著シク繁盛ヲ呈セシガ、支那ノ行政官ハ之レガ爲メ寧古塔街道ノ穆稜河ヲ過ガルノ處、「トウリーローグ」村ニ對スル布米山子ニ於テ、商業地ヲ開設スルニ至レリ。

「ポルターウスカヤ」、「フンチンスカヤ」、「マングガイイスカヤ」哨所ヲ通過スル貨物ノ登録ハ、上陳セルガ如ク極メテ不精確ナルヲ以テ、適當ナル輸入品ノ額ヲ定ムルコト能ハズ、況ンヤ是等ノ哨所ハ上「マングガイイスカヤ」ヲ除キ、互ニ相距ル百餘里餘ニ設立セラル、ヲ以テ、容易ニ全商隊堂々トシテ出入スルヲ得。

「ポルターウスカヤ」哨所ハ寧古塔市、三岔口村ヨリ露領「ニコリスク」市ニ通ズル道路ニアリ、寧古塔圍區ト、南烏蘇里地方トノ商業ノ樞地ニシテ、是等ノ商業ハ、現今全ク三岔口商街ノ輩中ニアリ、附近ノ農家ヨリ穀物、燒酎、煙草、油、又採金業者ヨリハ金塊等ヲ購求ス、是等ハ總テ彼等ノ支店ヲ有スル「ニコリスク」市ニ輸出シ、露西亞、歐羅巴、及ビ主モニ香港、上海、芝罘等ヨリ輸入スル支那雜貨ト交換ス。

「フンチンスカヤ」哨所ハ琿春ヨリ「ボセツト」灣（「ハンス」ノ堡砦）ニ通ズル道路ニ横ハル、之レヲ通過スル琿春地方ト露領トノ貿易、甚ダ繁盛ナリ、琿春地方ヨリ輸出スル物品ハ、殆ンド農産物ナリ、何トナレバ製造業ハ此地方ニ於テ殆ンド成立セズ、一萬二千戸ヲ有スル琿春ノ管轄區内ニ、僅カニ三箇所ノ榨油所、數箇所ノ釀酒所及ビ二箇ノ靴製造所ヲ有スルニ過ギズ、燒酎ノ如キハ地方ノ需要ヲ充タスニ足ラザルヲ以テナリ。

上「マングガイイスカヤ」哨所ハ大ナル注意ヲ拂フ可キナシ、此地ヲ經ル輸入品ノ大部ハ、露國陸



軍ノ駐屯スル「バラバイ」地方ニ持來ナル。

要スルニ、南烏蘇里境界地方ニ於ケル商業ハ、琿春市、三岔口村ニ於テ營業シ、「ニコリスク」浦羅斯德市ニ於テ支店代理店ヲ有スル支那商估ノ掌中ニ屬セリ。

南烏蘇里地方住民ノ需要ヲ充スノ點ヨリ立論スルトキハ、滿洲トノ商業ハ甚ダ重要ナル意義ヲ有スルモノナリ、何トナレバ此地方ノ住民ハ、殆ンド常ニ穀物或ハ主モ屠殺或ハ勞働ニ供スルノ家畜ノ不足ヲ仰グガ故ナリ、家畜ハ一種ノ獸疫ヲ豫防センガ爲メニ、一千八百八十七年ノ設立ニ係ル「フンチンスキー」、「フアデーウスキー」ノ檢疫所ヲ通過シテ之レヲ驅逐シ來ル、該檢疫所ハ南烏蘇里地方境界官吏ノ說ニ依レバ、極メテ不整頓ナルヲ免レズト云フ、「フンチンスキー」ノ檢疫所ヲ通過スル家畜ハ、毎年六千乃至八千頭ニシテ、獸舎或ハ飼桶ノ數甚ダ少ク、家畜ハ常ニ屋外ニ繋留セラレ其ノ飼料ノ如キモ準備常ニ不足ヲ呈シ、之レヲ地方ニ免ムルモ容易ニ得ルコト能ハズ、其經費ノ三分ノ一ヲ、空シク此處ニ於テ消費スルニ至ル。

此ノ如キ不便宜並ニ出費或ハ諸種ノ煩累ヲ避ケンガ爲メ、是等ノ檢疫所ヲ逃避スルモノ往々ニシテ之レアリ、寧古塔ノ管轄區内ニ於テハ、是等ノ檢疫所一千八百九十四年ニ成立セラレタリ、然レドモ其組織ノ不満足ニシテ且ツ不整備ナル、一千八百九十四年同五年間ノ馬、騾、豚等ノ確實ナル登録ハ全ク之レヲ認識シ難シ、「マテユウニン」氏ノ說ニ依レバ、一千八百九十五年ノ

夏六千餘頭ノ家畜ヲ驅逐シ來レリ、然レドモ記録ニ登ラザル家畜ノ總額十萬乃至十二萬留ヲ昇降セリト、家畜ノ貿易ハ毎年沿海州ニ輸入セラル、總額略二萬頭ニシテ、支那人ニ依リテ遠ク蒙古地方(重ニ「ドロンノール」)吉林附近、朝鮮地方ヨリ購求シ來ル。

滿洲ニ充塞シ來ル支那ノ移住民ハ、其耕作ヲ助ケンガ爲メ牝牛ヲ需要スルコト多キヲ以テ、地方官ハ露領ニ家畜ヲ輸出スルヲ悦バズ、彼等ハ屢々該貿易ヲ禁止シ、烏蘇里地方ニ輸出センガ爲メ、蒙古地方ヨリ驅逐シ來ル家畜ヲ抑留シタルコトアリキ、當時家畜業者ハ止ムヲ得ズ、小白山嶺山脈ノ北方ニ横ハル地方及ヒ寧古塔琿春ノ附近ニ購求シテ、直接露人ノ請負人ニ賣却スルニ至レリ、露人ハ未ダ自ラ滿洲或ハ蒙古ニ於テ購求スルニ至ラズ、唯「アフアナセイフ」氏ナルモノ、一千八百八十九年、蒙古ヨリ滿洲ヲ經テ、馬群ヲ「ホルターウスカヤ」ニ驅逐シ來リタルコトアリキ、然レドモ其後繼續者ヲ見出スコト能ハズシテ止メリ、此ノ如キ形勢ハ實ニ第一外國人ノ滿洲ニ於ケル土著の商業ヲ禁止シタルト及ビ清國政府ノ反抗ニ由ラズンバアラズ、千八百八十七年、後貝加爾州ノ哈薩克兵、「ツルハイト」區ヨリ陸路齊々哈爾、伯都訥、寧古塔ヲ經テ「ホルターウスカヤ」驛ニ家畜ヲ驅逐シ來ルノ策ヲ講ジタルコトアリシモ、遂ニ之ヲ實行スルニ至ラズシテ止メリ。

滿洲ヨリ沿海州ニ輸入シ來ル商貨ハ境界監視疎漫ニヨリ、燒酎ノ外猶ホ阿片ノ露領ニ入ルモノ

少ナカラズ、露國境界官吏及ビ支那商估ノ相一致シタル勘算ニ依レバ、一千八百九十五年ノ輸入額ハ四千布ニシテ、其價八十萬留ニ達スト、南烏蘇里地方ノ境界ニ於テ、滿洲ニ輸出スル露國ノ貿易額ハ、一千八百九十一年ヨリ一千八百九十五年間ニ於テ、殆ンド其輸入額ト相平均セリ、該期間中、三箇處ノ南方ノ哨所ヲ通過シタル高價輸出額ハ、五百二十七萬一千留ナリ、此ノ如キ輸出入額ノ殆ンド平均セル所以ノモノハ是レ此ノ地方ノ貿易ハ、凡テ物品交易ノ性質ヲ帶ブルヲ證明セズンバアラザルナリ。

琿春、三岔口ノ商人ハ、南烏蘇里地方ニ於テ、滿洲内部ノ市場ニ供給スル商貨ヲ殆ンド購買セズト云フ。

上陳セル陸路滿洲ニ輸出スル南烏蘇里ノ物産中、海參、海蟹等其他ノ海産物ヲ説明スルノ要アルヲ見ル、一千八百八十年ノ初メニ至ルマデ、南烏蘇里ノ沿岸ニ於ケル海産業ハ、總テ琿春市ノ商人ノ専有ニ屬ス、該海産業ニハ琿春地方ニ住スル窮境ニ瀕セル滿洲人及支那人ノ負債ヲ返却スル能ハザルモノ、又ハ烏蘇里江、黒龍江ニ住スル土族ヲ雇ヒ來ル、斯クテ清商ハ滿洲人等ニ小舟、器具、衣服、糧食ヲ給シ、毎年四月彼等ヲ露領ノ沿岸ニ送派ス、凡テ事業ハ支配人ノ監視ノ下ニ經營セラレ、採集セルモノハ一切之レニ交付ス、冬季ニ至リテ支配人ハ一切ノ計算ヲナシ、先キニ給セル小舟、衣服其他一切ノ經費ヲ引去リ、賃金ノ剩餘セルモノヲ勘算シテ之

レヲ労働者ニ給與ス、而シテ海路芝罘ニ至ル昆布ヲ除キ、其他ノ海參、海蟹等ハ、始メ露國「ハンス」ノ堡砦ニ致シ、此レヨリ陸路「フンチンスキー」哨所ヲ經テ、琿春ニ送り、此處ヨリ全滿洲ニ配布セラル、一千八百八十年ヨリ一千八百八十一年ニ至リ、該海産業ハ大ニ支那人ノ注意ヲ喚起シテ、毎年芝罘地方ヨリ浦鹽斯德ニ來ルモノ續出スルニ至レリ、該事業ノ支那人ニ對シ有利ナルヲ見テ次第ニ滿洲人ヲ壓迫シ、山東地方ヨリ入り來ル、支那人ヨリ成ル浦鹽斯德ノ商會ハ、漸次琿春ノ商人ヲ驅逐シテ、該事業ヲ己レノ掌中ニ收ムルニ至レリ、此時ヨリ該海産物ノ陸路滿洲ニ入ルモノ次第ニ減少セリ、是等ノ海産物ノ外、「ボセツト」灣ノ南部ニ於テ、海水ヨリ採集スル著大ナル鹽ハ、又滿洲ニ輸出ス、鹽ハ「フンチンスキー」哨所ヲ通過シ、露境ヨリ吉林市ニ至ル一帯ノ地ニ配布セラル。

滿洲ニ輸出スル露國産其他ノ商貨ハ、其全輸出額ノ一割以下ニシテ、其總價額凡ソ五萬留、就中羅紗ハ二萬五千留、石油一萬二千留、鐵板及ビ鐵器一萬留、其他砂糖、「マツチ」ノ如キハ甚ダ少額ナリ、「マテユウニン」氏ノ説ニ依ルニ若シ國稅ヲ課セラル、物貨、例セバ石油、「マツチ」、砂糖ノ如キ滿洲ヘノ輸出ニ對シ、戻リ稅ヲ得ルニ至ルトキハ、是等ノ貿易ハ大ニ擴張セラレ、ヤ疑フ可カラズ、然レドモ現今浦鹽斯德ニ於ケル價額ヲ以テ、露國ノ商貨ヲシテ歐羅巴、亞米利加産ト相拮抗セシムルハ、國境附近ト雖トモ至難ノ業ニ屬ス、且ツ南部烏蘇里地方ヨリ

滿洲ニ至ル輸出品ノ重要ナル物貨ハ、露領ヲ通過スル商貨ノ「ツランスト」(兩國貨物ノ輸送第三國ヲ通過スルコト)ヲ形出セリ、該「ツランスト」ハ現時ニ至ルマデ、滿洲ニ入ル一方ニ於テノミ成立シ、滿洲ハ此方途ニ依リ未ダ何等ノ商貨ヲ輸送シ來ラズト雖モ、唯一千八百九十五年、日清戰爭ノ爲メ營口港ノ閉鎖セラレタル結果、浦鹽斯德ヲ經テ豆糟二萬二千七百留即チ八萬五千百四十三個日本ニ輸送セラレタリ、是等ノ「ツランスト」貿易ノ通過點ハ、「ハンス」及ビ浦鹽斯德ニシテ、「ハンス」ハ「ボセツト」灣頭ニ位置シ、船舶ニ依リテ輸送シ來ル物貨ノ陸路環春ニ至ル陸揚場ニシテ、船舶ノ碇繋ニ至便ナルノミナラズ、海洋ト環春トヲ連結スル最短ナル距離ニアリ、其距離略四十五露里ニシテ百斤(三布半)ノ運賃ハ八哥乃至十五哥ナリ。

此地ハ滿洲貿易トシテ商工業愈開發スルニ至ルノ望アリ、現今此地ヲ過グル商貨ハ、主トシテ歐羅巴、亞米利加産ノ製造品、即チ更紗、綿紗、木綿、毛布、綿、「マツチ」、「石油」、「ランブ」、鹽其他ナリ、是等ハ皆「フンチンスキー」哨所ヲ通過ス。

滿洲ニ至ル「ツランスト」ノ清國産ハ烏蘇里地方ヨリ、此地方ニ至ル輸出品ノ大部ヲ占ム、是等大部ハ浦鹽斯德「ホルターウスカヤ」哨所ヲ通過ス、該商貨ノ首位ヲ占ムルハ衣服ニシテ、之レニ次グハ綿布、紙、履物、蠟燭、茶碗等ナリ。

浦鹽斯德地方ニ於テ購求セラル、著大ナラザル露國産、例ヘバ羅紗、石油、更紗等ノ輸送ハ、吉林市ノ以外ニ及ブコトナシ、環春市ニハ營口ヲ經テ輸入セラル、日本「マツチ」、其他製造品等ヲ見ル、又吉林、寧古塔ニハ山海關ヲ經テ供給セラル、清國産ノ製造品ヲ見ル。

極東ニ於ケル露領ト滿洲トノ商業ノ此ノ如キ現象ハ、唯滿洲ヨリ來ルノミナラズ、又滿洲ニ入ル貨物ノ「ツランスト」ノ意義ニ依テ成立スト雖モ、左記「バラバス」氏ノ調査ノ如キ、極メテ吾人ヲ慰藉スル能ハザル状態ニアリ、營口吉林間ハ五百四十露里ニシテ、寧古塔ニ至ルノ間ハ八百九十露里ナリ、而シテ山海關ヨリ此地方ニ至ルハ尙ホ二百十露里ヲ増加ス、即吉林ヘ七百五十露里、寧古塔ヘ一千百露里ナリ、然ルニ露領「ボセツト」浦鹽斯德港ヨリ吉林、寧古塔ニ至ル距離ヲ計算スルニ、前者ヨリ吉林ニ至ルニハ略五百四十露里、後者ヨリ寧古塔ニ至ルハ略三百五十露里ナリ、而シテ吉林ヨリ「ボセツト」ニ至ル距離ヲ以テ營口ニ比較スルトキハ同距離ナリト雖トモ、同地ヨリ山海關ニ至ル距離ハ「ボセツト」ニ比シ多キコト二百十露里ナリ、又「ボセツト」ヨリ寧古塔ニ至ルハ營口ニ比シ短キコト五百〇八露里、山海關ヘハ八百十八露里ナリ、浦鹽斯德ヨリ寧古塔ヘハ營口ニ比シ、短キコト四百七十八露里、山海關ハ六百八十八露里ナリ、此ノ如ク吉林及ビ露境間ニ横ハル凡テノ村落郡邑ハ、已ニ其距離ノ差違ニ依リ、尙ホ大ニ露國港灣ヲ利用セサル可カラザル理アリ、吉林及ビ寧古塔、或ハ露境ニ接近スル地方ハ、支那ト歐羅巴産ノ商貨ヲ問ハズ、浦鹽斯德「ボセツト」灣ヨリ之レヲ供給スルハ、營口及ビ殊ニ山海關ニ比シ

甚多有益ナラズンバ非ルナリ。

上陳セルガ如ク吉林ヨリ「ボセツト」及ビ營口ニ至ル距離ハ同等ナリ、故ニ吉林ハ經濟上ノ關係ヨリシテ後者ニ重キヲ致シ、營口及ビ吉林間ノ貨物ノ輸送ハ、已ニ全ク整備スルニ至レリ、然レドモ露國ニ於テハ、吉林地方ニ貨物ヲ供給スルニハ、營口ニ超絶セル港ヲ有ス、即チ黒龍江口ニ於ケル「ニコライウスク」市ニシテ、吉林市ト黒龍江及ビ松花江ノ水道ニ依テ、舟楫ヲ藉リテ彼我ヲ連絡スルノ便アリ。

### 第三節 朝鮮トノ貿易

朝鮮諸港ノ外國貿易ノ爲メニ開カル、マデハ、朝鮮ニ於ケル有ラユル外國物貨ハ、皆營口港ヨリ滿洲ヲ經テ國境ニ輸入セラレタリ、現今是等兩國間ニ於ケル貿易ハ、全ク自由ニ誘導セララルト雖モ、然レドモ甚ダ著大ナラズ、其貿易額ノ報告モ亦甚ダ寥々タリ、該貿易ノ主要ナルモノハ牛ニシテ、斯ハ支那商人ニ依リ朝鮮内地ノ市場ニ於テ購求セラル、滿洲朝鮮貿易ノ中心點ハ鳳凰城及ビ琿春ニシテ、後者ニ於テハ朝鮮人ハ粗悪ナル果物、穀物、人參ヲ賣買ス、彼等ハ又該市ニ於テ諸種ノ支那製ノ商貨ヲ購求ス、其他滿洲ハ海路ニ依リ、朝鮮ニ貿易ヲ營ム、一千八百九十四年ニハ、朝鮮ヨリ營口ニ輸出シタル商貨ノ總額ハ三萬八千留ニシテ、朝鮮ニ輸入シ

タルモノハ三千留ナリ、該路ニ依リ滿洲ニ輸出スル主要ナルモノハ毛皮及ビ紙是レナリ。

### 第四節 蒙古トノ貿易

蒙古地方ニ於ケル滿洲ノ貿易ハ専ラ物品交易ニシテ、朝鮮ニ接壤スル地方ヲ除クノ外、全滿洲ハ蒙古ヨリ牛馬ヲ購取シ、其附近地方、殊ニ呼蘭城圍區ヨリハ穀物麥粉ヲ供給ス、又少額ナルドモ諸種ノ織物及ビ雜貨ヲ輸出セリ。

該貿易ノ主要ナル地方ハ、法庫門、寬城子、伯都訥、「ガンヂユウル」ナリ又齊々哈爾ニ於テ製造セラル、石造ノ煙管ノ吸口ハ、著シク蒙古ニ入ル。

### 第五節 黃海ノ貿易

滿洲ノ中部及ビ南部ニ於ケル商業ハ、常ニ遼東及ビ朝鮮灣ノ諸港、殊ニ外國貿易ノ爲メニ開港セラレタル營口市ニ傾注セリ、營口市ヨリスル商貨ノ輸出ハ、近時夥多ノ「ジャンク」ニ依リ支那本土ノ近キ海港ニ運搬スル商貨ニ對スル輸出税ノ少額ナル原由ヨリシテ大孤山其他ノ小港トノ競争ヲ惹起スルニ至レリ、海路ノ外、又莫大ナル商品ハ陸路錦州、山海關及ビ天津ヲ經テ、支那本土ニ入ル、又奉天省及ビ吉林省ノ南部ノ道路ニ依リ穀物、豆、豆糟等ヲ輸出ス、凡テ是

等ノ物産ハ、晩秋及ビ冬季遼河々畔ノ輻輳地ニ多数ノ貨車ニ依リ輸送セラル、其輻輳地中、最モ大ナルハ河口ヲ距ル四百五十露里ニ位置スル通江子ナリ、通江子ノ繁盛ナル商業地トナリシハ、比較的近時ニシテ、該邑ノ發達ニ伴ヒ、滿洲ニ於ケル住民著シク増加スルニ至レリ、次ニ通江子ノ下流十露里ニアル鐵嶺ニモ商貨ノ輻輳スルモノ多シ、又其河ヲ下ル六十露里ニシテ、第三ニ位スル新民廳アリ、其他大ナル輻輳地ハ營口市ヲ距ル二十五露里ノ地ニアリ、是等ノ地ニハ皆其規模甚大ナル穀倉アリテ、地方ヨリ輸送シ來レル時ヨリ河ノ解氷マデノ間、豆其他ノ穀物ヲ貯蓄ス、解氷時ニ至レバ各十噸許ヲ搭載スル幾百ノ「ジャンク」ガ、舳舻相接シテ其地ニ輻輳シ、冬季地方ヨリ輸送シタル穀物ヲ搭載シテ河ヲ下リ、營口ニ至ルト云フ。

滿洲ノ北部地方モ亦タ其ノ物産ノ一部ヲ上陳セル輻輳地ニ送ルト雖ドモ、其ノ大部ハ直接ニ營口及ビ山海關ニ輸送ス、是等貨車ニ依リ陸路運搬セラル、物産ノ重ナルモノハ、阿片、燒酎、煙草、毛、麻、油、乾菌、毛皮、毛氈等ニシテ、又タ山海關ニ凍結セル松花江ノ魚類ヲ輸送スルコトアリ。

該路ニ依リ滿洲ニ輸入スル商貨ノ中、山海關ヲ經ルモノハ専ラ支那商品ナレドモ、營口ヲ經ルモノハ一部支那産ニシテ、一部ハ外國産ナリ、支那ノ商品ノ重ナルモノハ衣服及ビ低廉ナル綿布ニシテ、斯ハ甚ダ廣ク住民ノ間ニ使用セラル、滿洲ノ輸入品ハ輸出品ニ比シテ常ニ少額ナリ、

然レドモ其輸出入額ハ、大ニ南滿洲ニ於テ豆類、穀物等ノ收穫高ニ關係ス、何トナレバ斯ノ物産ハ住民ニ對シ輸入品ヲ購買スル資財ヲ供給スルモノタルヲ以テナリ、日清戰爭ハ實ニ滿洲ノ商業ニ影響セルコト少クナラズ、一千八百九十四年ノ如キハ穀物好ク豐熟セルニ係ハラズ、輸出品ノ如キ著シク減少セリ、一千八百九十五年ノ初メニ當リ、貨物ノ輸送ハ海港ニ依ルモノト、陸路山海關ヲ經ルモノトニ論ナク、軍隊ノ輸送、奪掠者ノ多ク顯ハレタル爲メ、大ナル困難危険伴ヒタリ、同年三月ニ至リ、日本軍ニ依リ遼東半島ヲ占領セラル、ニ及ンデ、貨物ノ輸送ハ全ク中止セシガ、夏季ニ至リテ舊ニ復セリ、然レドモ輸入品ノ需要ハ一般ニ薄弱ナリキ、輸出品ノ重ナルモノハ、豆及ビ豆類ナレドモ、千八百九十四年ノ輸出ニ比シ三割七分ノ低價ヲ示セリ、一千八百九十五年ノ終ニ於テ、遼東半島ノ支那ニ還付セラレタルモ、當時已ニ海航終結ニ至リタレバ、貿易ハ一千八百九十六年ノ始メニ至ルマデ、甚ダ萎靡トシテ振ハザルノ觀アリキ、而シテ其日本軍ガ全ク遼東ヨリ撤去シ、新タニ支那行政官任命セラレ、此地方ノ秩序恢復セラレ、ニ及ンデ、漸次舊態ニ復スルニ至レリ。

滿洲ノ海上貿易ハ、現今正規ナル商業ノ統計ニ依リ行ハル、營口港ヲ經テ、外國汽船ニ依テ經營セラル、又何等ノ監督ガモ制定セラレザル商業ニ依リ、全沿岸ノ諸港ニ於テ、支那「ジャンク」ニ依リ營々、是等「ジャンク」ノ大部ハ、直隸山東省ノ如キ、比較的近距離ナル地方ヨリ來リ、

而シテ其大多數ハ、遼ク南部支那即チ上海、寧波、福州、厦門、其他外國貿易ノ爲メニ開カレザル小港ニ輸出ス、天津ヨリ來ル「ジャンク」ハ、平均三十五噸ノ貨物ヲ積載シ、山東地方ヨリ來ルモノハ二十噸ヨリ大ナラズ、支那ノ南部諸所ヨリ來ルモノハ、遼東海、黄海等ヲ遊弋スル天津、山東地方ノモノニ比シ、遙カニ大ニシテ、時トシテハ百噸以上ヲ積載スルモノアリ、而カモ平均八十噸ヨリ少ナカラズ、「ジャンク」ノ大部ハ皆營口ニ集ル、一千八百九十一年ニ於テ該港ニ入りシ者、總計一千六百六十二艘、其積載量七萬七千八百噸、就中八百四十三艘ハ天津ニ、二百八十七艘ハ山東省ノ諸港ニ、五百三十二艘ハ南部支那ニ赴ケリ、營口ヨリ是レ等ノ「ジャンク」ニ積載シテ輸出スル總額ハ「アガシーザ」氏ノ說ニ依レバ、其ノ概略四十萬二千「ソベイン」(「ソベイン」ハ我九四七十六錢)ナリ、其他外國貿易ノ爲メニ閉鎖セラレタル諸港ニハ、附近ノ支那各省ヨリ來ル「ジャンク」ノ數又多ク、其貿易額營口ニ讓ラザルモノアリ、是等ノ港灣中、重要ナルハ金州廳、復州、皮子窩、大孤山及ビ大東溝ナリ、「アガシーザ」氏ノ調査ニ係ル諸港ノ輸出額ハ左ノ如シ。

- 金州廳 三十萬「ソベイン」
- 復州 二十萬「ソベイン」
- 皮子窩 十五萬「ソベイン」

- 大孤山 三十五萬「ソベイン」
- 其他小港 二十五萬「ソベイン」

總計 百二十五萬「ソベイン」

之レニ營口港ヨリノ輸出額ヲ加フレバ滿洲ヨリ「ジャンク」ニ搭載シテ輸出スル總額ハ一百六十五萬二千「ソベイン」ナリ。

「ジャンク」ニ依リ搭載スル最モ普通ノ輸出品ハ豆油ナリ、豆油ハ荷造リ強固ナラザル爲ニ、其輸送ハ常ニ「ジャンク」ヲ選ベリ、是其外國汽船ノ如ク、時間ヲ惜愛セザルガ故ニ、積ミ荷積ミ卸シニ際シ、出來得ル丈ケノ注意ヲ拂フヲ得ルニ依ル、外國汽船ニハ、其急劇ナル輸送ニ依リ、奇利ヲ博シ得ルガ如キ、比較的稀ナル場合ニノミ荷積ミセラル、「アガシーザ」氏ノ調査ニ依ルニ、營口ヨリ「ジャンク」ニ依リ輸送スル豆油ハ、外國船ニ比シ多キコト三倍餘ナリト、滿洲物産中、諸種ノ稷類ハ、「ジャンク」ニ依リ主モ山東省及ビ天津ニ輸出ス、而シテ豆、豆糟、燒酎、藥品、鹹魚ハ大抵支那ノ南部諸港ニ輸出セラル、大孤山港ハ上陳セル諸產物ノ外、莫大ナル建築材ヲ輸出ス、其一部ハ滿洲ノ他港ニ入ルト雖ドモ、主モニ支那本土ニ輸出セラル、建築材ノ輸出ハ、鴨綠江口ニ位置セル大東溝最モ隆盛ヲ極ム、滿洲貿易ノ大部ハ、營口市ニ於ケル支那帝國ノ税關ニ於テ登録セラル、外國汽船ニ依リテ經營セラレ、而シテ是等商業ハ、毎年支

那海關官廳ヨリ公布セラル、正確ナル統計表ヲ有ス。

第六節 營口港ノ貿易

一千八百九十三年ヨリ一千八百九十五年ニ至ル、營口港ノ貿易額ヲ舉グレバ左ノ如シ。

一千八百九十三年 二千九百九十二萬二千五百留

一千八百九十四年 千六百六十九萬五千留

一千八百九十五年 九百七十五萬三千四百留

(一) 輸入品

營口港ニ於ケル輸入品ノ略三分ノ二ハ、歐羅巴、亞米利加、印度、日本ノ商貨ニシテ三分ノ一ハ支那産ナリ、日本及ビ露領沿海州ハ其産物ヲ直チニ營口市ニ出スト雖モ、其他ノ邦土ヨリ來ルモノハ、大概上海或ハ香港ヲ經由ス。

往時營口ニ輸入セラレタル莫大ナル輸入品中、吾人ノ注意ヲ惹ケル印度柴棍阿片ハ、甚ダ急劇ナル度ニ於テ滿洲ノ市場ヲ驅逐セラル、ヲ見ル、營口市ニ於ケル其輸入表ヲ舉グレバ

一千八百七十三年 八千八百七十布

一千八百八十三年 一千四百十布

一千八百九十三年 五百九十布

一千八百九十四年 二百六十布

而シテ一千八百九十五年ニ輸入シタル印度柴棍産ノ阿片ノ全部ハ、皆持歸ルニ至レルガ如キ悲運ニ際會セリ。

是レ畢竟地方ノ罌粟ノ栽培愈々盛ントナリ、其産出阿片ノ比較的低廉ナルノミナラズ、住民ノ嗜好ニ適スルニ依ル。

外國商品中首位ヲ占ムルハ木綿類ニシテ、就中最モ輸入價額ノ重要ナル位置ヲ占ムルハ印度紡績絲ナリ、紡績絲ノ輸入ハ一千八百九十一年ニ至ル間、漸次増加シテ、四十七萬四千布ニ上リタリ、然レドモ夫レヨリ漸次減少シテ、一千八百九十五年ニ至リ、一千八百九十四年ノ二十五萬七千布ニ對シ十三萬八千布トナレリ、此ノ如キ急劇ナル減少ハ、勿論政治上ノ紛擾ニ歸ス、而シテ一千八百九十三年ニ至リ、始メテ日本ノ紡績絲輸入セラレ、次第ニ増加セラル、ニ至レリ、即チ

一千八百九十三年 五百布

一千八百九十四年 一千五百布

一千八百九十五年 九千三百布

之レト共ニ英吉利ノ紡績絲ハ殆ンド滿洲ノ市場ヨリ驅逐セララル、ニ至レリ、營口ノ英國領事「ホーシ」氏ハ、是等ノ輸入ノ増加ニ對シ、銀貨國ニ於ケル低廉ナル製造家ニ對抗スルノ不可能ナルヲ嘆ゼリ。

綿布ノ首位ヲ占ムルハ、「ドリリング」ト稱スル粗綿布ニシテ、亞米利加及ビ英吉利又和蘭印度產トス、而シテ一千八百九十四年以降日本ヨリモ之レヲ輸出セリ、亞米利加產ノ特長ハ、其質ノ好良ナルト、強靱ナルトニ在リテ、英國產ハ輪番的使用ニ於テ永續スルニ在リ、是等ノ消長優劣ハ左表ニ依テ之ヲ見ルヲ得。

亞米利加產ノ粗綿布	英吉利產ノ粗綿布
一千八百九十二年	十五萬三千匹
一千八百九十三年	一萬九千匹
一千八百九十四年	八萬匹
一千八百九十五年	十四萬一千匹
	三萬七千匹
	七萬三千匹
	三萬八千匹

天竺木綿ハ灰色白色ヲ論セズ、滿洲ニ入ルモノ大ナラズ、千八百九十五年ニ前者ノ滿洲ニ入りシモノ四萬三千匹其價十三萬一千留、後者ハ四千匹其價一萬一千留ナリ。其質劣等ナル「テ、クロス」(E. doil)ハ營口ノ輸入減少スルニ至レリ、一千八百八十一年ノ輸入額ハ七萬四千匹ニシテ、其價十三萬三千留ナリシガ、一千八百九十四年ニハ二萬四千匹其價三萬留トナリ、一千八百九十五年ニハ九千匹其價一萬四千留トナレリ。

赤木綿ノ輸入モ亦大ニ衰頹スルニ至レリ、即チ一千八百九十一年ニハ二百萬卷ナリシガ、千八百九十五年ニ至リテ百六十萬卷ニ落下セリ、赤木綿ハ滿洲ニ於テハ主トシテ亞米利加、英吉利ヨリ輸入スル「シーテング」ト稱スル綿布ノ爲メニ其位置ヲ奪ハル、ニ至レリ、一千八百九十二年ニハ印度產ノ「シーテング」ノ輸入セラル、モノ八千六百匹、一千八百九十三年ニハ上海ニテ製造セラレタル支那產一千四百六十四、一千八百九十四年日本產ノ輸入セルモノ三千匹ナリシガ、是等ノ織物ノ輸入ハ、漸次減少スルノ傾向アリ、例ヘバ一千八百九十三年亞米利加ヨリ輸入セラレタルモノ五十七萬七千匹ナリシモ、一千八百九十三年ニハ二十五萬二千匹トナリ、一千八百九十五年ニハ十三萬七千匹トナレリ、惟フニ此ノ如キ減少ハ、蓋シ此地方綿布ノ輸入ノ一般的衰頹ニ歸因ス。

滿洲ニ於テ大ニ使用セラル、木綿ノ手巾ハ、一千八百八十一年營口ニ輸入セラレタル二萬三千打ハ、一千八百九十三年ニ至リ十一萬打トナレリ。

滿洲ニ於ケル毛織物ハ氣候ノ苛酷ナルヨリシテ、吾人ノ期待セルガ如ク著シク流布セズ、普通ノ住民ハ、冬季ニ綿布ヨリ造レル綿入、或ハ羊皮ヲ以テ添付セル衣服ヲ著ス、其價ハ墨西哥貨



四五弗ニシテ、五六年間製用セラル、唯兵士ノ軍服ヲ造ルガ爲メニ著大ナル厚羅紗輸入セラル  
ルト雖モ、近時銀貨ノ低落シ普通織物ノ價高騰セルヨリ、其輸入著シク減少セリ、露國産羅紗  
ノ一千八百九十三年ヨリ一千八百九十五年ニ至ル輸入ハ左ノ如シ。

- 一千八百九十三年 一千五百五十四
- 一千八百九十四年 一千〇五十六匹
- 一千八百九十五年 百十四

伊太利産ノ羅紗ハ、露國産ニ對シ有力ナル競争者ナリシガ、該輸入モ亦著シク衰頽シ、一千八  
百九十三年ノ輸入額ハ九千匹ナリシモノ、一千八百九十五年ニハ二千匹トナレリ、而シテ新シ  
キ競争者ハ獨逸産ナリトス。

滿洲ニ於ケル金屬ノ輸入モ亦近時大ニ衰頽セリ、其重要ナル部分ヲ占ムルハ鐵ニシテ、一千八百  
九十一年ノ輸入額ハ六十萬八千布ナリシガ、一千八百九十五年ニ至リ九萬四千布トナレリ、概シ  
テ鐵ハ石炭ノ廉價ナルト、其鍛鍊使用ニ容易ナル結果トシテ、各地ノ鍛冶ニ利用セラル。

強固ナル根底ヲ有スル輸入品中、初メニ指ヲ屈ス可キハ石油及ビ昆布是ナリ、滿洲ニ於テ廣ク  
使用セラル、石油ハ、主モニ亞米利加ヨリ供給セラル、營口ヨリ輸入セルモノハ一千八百九十  
四年ニ、五十萬四千「ガロン」ニ達セリ、英國領事ノ說ニ、露國ノ石油ハ價格低廉ナリト雖ドモ、

其實ノ惡シキノミナラズ、不完全ナル荷造リニ依テ市場ニ現出スルヲ以テ、亞米利加産ト相拮  
抗スル能ハズ、而シテ露國産ノ石油ノ輸入額ニハ最モ甚ダシキ消長アリ、即チ

- 一千八百八十九年 一萬八千「ガロン」
- 一千八百九十年 二千「ガロン」
- 一千八百九十一年 二十八萬八千「ガロン」
- 一千八百九十二年 一千「ガロン」
- 一千八百九十三年 十萬五千「ガロン」
- 一千八百九十四年 四萬四千「ガロン」

露國ノ昆布(沿海州産)ハ滿洲ニ於テ日本産ト相拮抗シ漸次之レヲ壓倒スルニ至レリ、一千八百  
九十五年ニ於テ營口ニ輸入シタル露國ノ昆布ハ五萬四千五百布、其價二萬四千百留ナリ、清國  
産ノ輸入品中、其ノ價額ノ首位ヲ占ムルハ諸種ノ砂糖(沙砂糖、斷片狀ノ砂糖、氷砂糖)ニシテ、  
南部支那ヨリ輸入ス、就中最モ廣ク使用セラル、ハ沙砂糖ナリ。

一千八百九十三年ニ百二十四萬一千留ノ巨額ニ達セル綿ハ支那本土ヨリ輸入セラレタリ、是レ  
滿洲ニ於ケル綿布ノ紡織業漸次發達セル徵候タラズンバ非ルナリ。

方今滿洲ニ於テ養蠶業大ニ發達シ、絹布ヲ產出スト雖ドモ、毎年營口市ニ輸入スル絹布ノ數址

ハ實ニ莫大ナリ、一千八百九十三年ニハ主トシテ山東地方ヨリ輸入シタルモノ四十六萬六千留  
ニ及ベリ。

(二) 輸出品

輸出品ノ首位ヲ占ムルハ豆、豆糟、豆油ナリ、營口ニ於ケル是等ノ輸出ハ近時其輸出税ヲ免ル  
ルヲ得ル大孤山ノ爲メニ其勢力ヲ殺カル、ニ至レリ、而モ滿洲ヨリ輸出スル總額ハ明ナラズ、  
豆ハ北清地方住民ノ主要ナル食料品ニシテ、豆油ハ之レヲ食料トナシ、又燈火ニ用フ、豆糟ハ  
南清地方ニ於テハ砂糖園、日本ニ於テハ水田ノ肥料ニ用フ。

諸種ノ藥料品ハ輸出品ノ重要ナル一部ヲ占ム、就中其首位ヲ占ムルハ人參、鹿角ナリ、往時朝  
鮮人參ノ營口ヲ經過シテ輸出セルモノ莫大ナリシガ、一千八百九十四年ヨリ、一千八百九十五  
年ニ至ル、滿洲ト朝鮮間ノ政治的紛争ヨリ、其額著シク減縮スルニ至レリ、即チ一千八百九十  
五年ニハ僅カニ布ニシテ、其價一千零十留ニ充タザリキ、而シテ其價騰貴スルニ從ヒ、地方ニ  
於テ栽培セル人參ノ輸出増加シ、一千八百九十五年ニハ二十三萬九千留ニ達セリ、鹿角ハ一千  
八百九十三年ニ輸出セラレタルモノ一千六百六十七對、其價十五萬九千留、一千八百九十四年  
ニハ五百六十五對、其價一萬二千七百留ナリ、其他ノ藥料品(根、皮、草或ハ礦物)ノ一千八百  
九十三年ニ輸出セルモノ七萬二千五百留ナリキ。

營口ヨリ絹絲ノ輸出ハ、一千八百八十年ニ始マリ、爾來漸次増加シテ一千八百九十四年ニハ二  
萬九百布、其價五十七萬一千留ノ巨額ニ達セリ、又タ絹絲ノ外莫大ナル絹絲ノ梳屑ハ營口ヨリ  
輸出セラレ、一千八百九十三年ニハ一萬一千布、其ノ價十二萬五千六百留ナリキ、但シ地方産絹  
布ノ市場ニ出ヅル甚ダ大ナラズ、一千八百九十三年ニ輸出セラレタルモノ僅カニ二千五百留ニ  
過ヤズ。

其他ノ輸出品中、營口税關ノ巨額ナル計算ヲ組成スルハ犬皮、羊皮ナリトス。

營口ニ於ケル航運ハ、一千八百九十三年ヨリ一千八百九十五年ニ至ルノ間稍々衰頹セリ、就中  
減少セルハ汽船ナリ、即チ一千八百九十二年ニハ、汽船ノ營口ニ入港シタルモノ三百七十七艘  
ニシテ、一千八百九十五年ニハ僅カニ二百艘ニ過ギズ、各國ノ汽船中最モ減少シタルハ支那汽  
船ニシテ、一千八百九十二年ニ入港セルモノ六十艘ナリシガ、一千八百九十五年ニハ僅カニ九  
艘ナリ、其他瑞典、諾威ノ汽船ヲ除クノ外、帆船タルト普通汽船タルトニ論ナク、他外國ノ  
船舶ハ著シク減少シタリ、即チ瑞典、諾威汽船ノ一千八百九十三年ニ營口ニ入りシモノ十二艘  
ニシテ、一千八百九十五年ニハ四十二艘トナレリ、思フニ獨リ該國汽船ノ増加スルニ至ラタル  
ハ、其運賃ノ低廉ニシテ、容易ニ他國船ト競争スルヲ得ルニ因レリ。

第七節 滿洲ニ於ケル通貨

支那本土ニ於ケルガ如ク滿洲ニ於テ最モ通用セラル、ハ文ト稱スルモノニシテ、直徑六七分、中央ニ四角形ノ穴ヲ穿テリ、官設ノ造幣所ニ於テ銅、鉛、錫、鐵ヲ交ヘテ鑄造ス、而シテ其一方面ニハ鑄造シタル當時ノ年號ヲ印シ、他方面ニハ其鑄造シタル地方ノ名ヲ刻ム、現今滿洲ニ於テ通用スル大部ハ、支那本土ニ於テ鑄造シタルモノナリト雖モ、亦タ地方ニ於テ現皇帝ノ御世ニ鑄造シ光緒ノ文字ヲ印シタル銅錢ヲ目撃ス。

該銅錢ノ計算法ハ地方ニ依リ甚ダシキ差違アリ、一吊ハ千文ヨリ成ルベキ等ナレドモ實際ニ於テハ夫レヨリモ少數ヨリ成ルヲ常トス、而モ地方ニ依リ又各々數ヲ異ニセリ、露人「イワノウスキ」氏ノ一千八百九十一年愛琿ヨリ山海關ニ至リシトキ、氏ハ墨爾根、齊々哈爾、伯都訥、吉林、奉天ヲ通過セシガ、同氏ノ曰フ所ニ依レバ、是等ノ地方ニ於テハ、文ニ對シ三種ノ計算法アリ、其中一ハ大ナル支拂ヒニ使用セラレ、一ハ最モ少額ナルモノニ用フ、即チ其計算法ハ大錢、京錢、東錢ト稱シ、北ハ愛琿ヨリ、南ハ伊通州ニ至ル、黑龍江省吉林省ノ各都邑ニ於テ行ハル、該計算法ニ依レバ、各銅錢ヲ以テ二文トナシ、四十九個ノ銅錢ヲ以テ百文ト稱セリ、故ニ千文(吊或ハ吊錢)ハ實際ニ於テ四百九十個ノ銅錢ヨリ成ルナリ、而シテ銅錢ノ計算法シテ便

利ナラシメンガ爲メ、絲ヲ以テ六個ノ圓柱ノ如ク連貫シ、各結頭ヲ相縛ス、其中二本ハ各四十九個ノ銅錢ヲ包有シ、四本ハ各九十八個ヲ有ス。

「イワノフ」氏ノ通行シタル道路ノ東部ニ横ハル地方ハ、文吊ノ計算法到ル處ニ同ジカラズ、前ノ計算法ニ甚ダ近キ方法ハ三姓市ニ於テ行ハル、即チ「バグダーノフ」氏ノ傳フル處ニ依レバ、一吊ハ五百個ノ銅錢ヨリ成ルト、白彥蘇々ニ於テハ、一千八百個ヨリ成ル、故ニ此地方ハ銅錢二個ヲ以テ一文ト稱ス、呼蘭城モ亦同一法ヲ用フ。

又「イワノフ」氏ノ説ケル大ナル支拂方ニ使用セラル、第二法(小錢或ハ小文計算法)ハ、伊通州市ノ南方即チ奉天省中ニ於テ行ハル、該地方ニ於テハ、銅錢一個ヲ以テ六文ト計算シ、十六個ヲ以テ百文トナシ、百六十個ヲ以テ一吊或ハ千文(奉天ニ於テハ百六十二個)トナセリ。

十算法ニ依ルトキハ、十文ハ銅錢二個ヲ以テ成リ、二十文ハ三個、三十文ハ五個、四十文ハ六個、五十文ハ八個、六十文ハ十個、七十文ハ十一個、八十文ハ十三個、九十文ハ十四個、百文ハ十六個ナリ、而シテ二千文即チ三百二十個ヲ以テ一束トナシ、一束ハ四本ノ貫錢ヨリ成リ、中二本ハ各四百文、他ノ二本ハ各六百文ヲ付ス。

「イワノフ」氏ノ通行セル各都邑ニ於テ最モ小ナル支拂ヒニ使用セラル、第三法ハ、大錢或ハ銅錢ト稱スル錢ヲ用ヒ、一個ヲ以テ一文トナセルモノナリ、而シテ重量ノ不充分ナルモノ、小

ナルモノ、腐敗シタルモノハ之レヲ受理セズト云フ。  
文錢ハ其流通使用極メテ不便利ナルヲ以テ、信用アル商人ハ一定ノ期限内ハ之レト引換ニ支拂  
フ可キ手形ヲ發行ス、手形ノ發行ハ何人ノ監督檢束ヲ受クルコトナク、唯或ル都邑ニ於テハ、  
地方行政官或ハ商業結社ノ許可ヲ得ザル可カラザルノ定例アリ、此ノ如キ地方ハ大概手形ノ使  
用大ナラズ、而シテ之レヲ發行スル商會ノ信用程度ハ直チニ其發行高ニ關係スルニ依ルナリ、  
滿洲ニ於テ最モ廣ク流布シ、信用ヲ有スル手形ハ貸金所或ハ質屋ヨリ發行セルモノナリトス、  
黑龍江省、吉林省ニ於テハ、是等ノ手形ハ大概其價額一乃至五吊ニシテ愛、理ニ於テハ五百乃  
至七百吊ノ手形アリ、奉天省ニ於テハ之レニ反シ、大價額ノ手形(四五十吊)ヲ發行シ、而シテ  
大抵ハ四吊ヨリ少ナカラズ。

文錢手形ノ外滿洲ニ於テハ棠銀塊或ハ馬蹄銀ヲ使用ス、該銀塊ハ常ニ略四「フント」半ノ重量ヲ  
有ス、而シテ小額ナル支拂ヲナス時ハ、適宜ノ量ニ切割キ之レヲ用フ、其重量ノ單位ハ兩トナ  
ス、松花江水域ノ都邑及ビ齊々哈爾濱市ニ於テハ、重ニ九割七分ノ純銀ヲ含メル吉林ノ銀塊ヲ通  
用ス、其他「クツバオ」(九割八分ノ純銀ヲ含ム)「ダイツレバオ」(九割六分)「アイグンバオ」(九  
割六分)「アンシャンバオ」(九割五分)等ノ諸種アリ、銀ノ吊文錢ニ對スル交換ノ割合ハ、其地  
方ニ於ケル銀ノ現在數量ノ如何ニ關係ス、何トナレバ滿洲ノ各地方ハ、全ク獨立の生存經營ヲ

ナセルヲ以テ、若シ銀塊ノ著シク一地方ニ流入シ來ル時ハ、自ラ文錢ニ對スル價格ノ割合ヲ低  
カラシム、此ノ如キ情態ニ在ルヲ以テ、一千八百九十五年ノ夏季、露國商業遠征隊ノ松花江ニ  
入りシ時、三姓市ニ於テハ一兩ノ馬蹄銀ハ三吊六百元ニシテ、白彥蘇々市ハ五吊三百文、呼蘭  
城六吊三百文、伯都訥三吊二百五十文、齊々哈爾濱三吊五百文ナリキ、又呼蘭城ニ於テ八月十四  
日十五日及ビ九月一日二日ニハ、銀一兩ハ七吊四百文、七吊二百文、六吊三百文及ビ六吊九  
百元ナリ。

二千八百八十一年吉林ノ造幣局ニ於テ、半兩ノ純銀ヲ含ム銀貨ヲ鑄造シタルコトアリキ、然レ  
ドモ該鑄造ハ其創業者吳某ノ此地方ヨリ去リタル爲メ停止セラレタリ、爾來杳トシテ其消息ヲ  
聞カスト雖ドモ、主トシテ馬蹄銀ヲ通用セシムルモノ、如シ。

露國ノ紙幣 露國ノ紙幣ハ愛理及ビ其附近ニ於テ自由ニ流通シ、又墨爾根、齊々哈爾濱及三姓市  
ニ於テモ受授セラル、露國ノ銀貨ハ滿洲ニ於テハ主モニ馬蹄銀ニ改鑄セラル。

## 第十六章 結論

各章ニ於テ論述シタル滿洲ノ記事ハ、歐羅巴及ビ東方ノ書籍ニ散在スル此地方ニ關スル材料ヲ蒐集參酌シ、可能的ニ之レヲ立論シ、若シクハ之レヲ包括結論セルモノナリ、吾人之レニ依リテ以テ現時ノ狀態ヲ了得スル能ハザルニ非ズト雖ドモ、吾人ハ親シク滿洲ノ山河風土ニ接スルトキハ己レガ自覺ノ實ニ不充分ナルヲ認識スルニ至ル、若シ夫レ滿洲領土ノ廣漠無窮、人口ノ夥ダシキ、種々ナル人種、或ハ彼等ノ各異ナル狀態、種々雜多ナル物産、而シテ一方ヨリハ、最近十年間ニ於ケル此地方ノ急劇ナル發達、又他方面ヨリハ滿洲ニ於ケル白人種ノ壓迫等ニ想到セバ、尙吾人ヲシテ稽查攻究セシム可キコト百千倍ナラザルヲ覺エシム、吾人ノ滿洲ニ關スル知識ノ不充分不決定ハ、實ニ滿洲ガ從來吾人ト歴史的關係ノ甚ダ疎遠ニシテ、彼我交通ノ斷絶セルコト、及ビ此地方探險家ノ研究稽查ニ必要ナル材料ニ對スル自覺甚ダ少キ等諸種ノ關係ニ基因ス。

然レドモ此ノ如キ狀態ハ近キ將來ニ於テ全ク變更スベキハ疑ヲ容レザルナリ、露國ト滿洲トノ關係近來愈々密接シ來ルガ如キ、若シクハ東清鐵道ノ敷設ノ大計畫ノ如キ、實ニ露人ヲシテ最モ精密ナル滿洲ノ攻究ヲ遂ゲザルヲ得ザラシムルニ至レリ、而シテ是等ノ研究ヲシテ最モ秩序正シク、又其各方面ノ研究ニ對シ最モ精密ナラシメヨリハ、寧ロ此不明ナル邦土ニ於ケル種種ナル研究ヲ最モ急劇ニ遂行スルノ止ムヲ得ザルニ至ラシメタリ、蓋シ有ラユル問題ヲ精密ニ研究スルハ必要ナリト雖モ、其ノ精密ノ研究ヲ全ウセント欲セバ長キ時間ヲ消費セザルベカラズ、目下ノ事情ヨリスレバ長キ時間ヲ待テ精密ナル研究ヲナサンヨリハ此地方ノ最モ近キ研究者ニ向テ注意ヲ惹起セシムルハ實ニ須急ナル業ニ屬ス、是等手近キ問題ヲ研究スルハ地方ト最モ親昵ス可キ結果ヲ顯ハシ、而シテ各研究者ヲシテ奮テ大ニ其事業ニ著手セシムル所以ナリ、而シテ現在供給セラレツ、アル材料ニヨリ生ジタル現在ノ實際問題ヲ解釋セントセバ、先ヅ本書ノ第二章以下ニ付キ滿洲ノ現情ヲ攻究スルヲ最モ便利ナリトス、蓋シ第一章ハ專ラ推理的ノ研究ニ係リ、中ニハ殆ンド不分明ナル事物ヲ捉ヘテ簡短ニ辯明シタルモノアルヲ以テ、之レヲ盡ク適切ナル解釋ト斷言スベカラザルモノアレバナリ。

地圖ニ記載スル滿洲ノ蒙古地方ト接壤スル地方ノ境界ハ種々變更セラル、是等ノ正確ナル決定及ビ攻究ハ唯理論上ノミナラズ實際ニ於テモ重大ナル意義ヲ有スルモノナリ、支那ノ移民的波浪ハ、蒙古ノ東南、滿洲ノ西南部ニ澎湃トシテ漲溢シ、根底ヨリ此地方ノ地圖ヲ變更スルニ至レリ、此地方ニ新ニ行政中心地、農安縣、懷德縣、康平縣等ノ開設セラレタルカ如キ或ハ此地

方行政區ノ漸次擴張シ其階級上進シテ昌圖廳ノ昌圖府トナリ、長春廳ノ長春府トナレルガ如キ、明カニ此地方ニ於ケル實勢ノ増加及ビ滿洲ガ蒙古地方ニ發展擴張スルヲ證明スルモノナリ、現時滿洲ノ境界ヲ明カニ劃定スルハ頗ル至難ノ業ニ屬ス、何トナレバ懷德縣、康平縣、長春府等管轄區ノ如キ、已ニ其滿洲ニ於ケル行政的境界ヲ規定スルノ困難ナレバナリ、惟フニ是等境界ノ適當ナル劃定ハ實ニ此地方行政官問ノ第一ノ重要事件タラズンバアラザルナリ。

滿洲ノ西境問題ノ大部ヲ占ムルハ柳條邊境ナリ、旅行家ノ說ニ現時柳條邊境ハ全ク其形跡ヲ止メズ、願フニ支那及ビ日本ノ地圖ニ於テ明晰ニ之ヲ劃定シタルハ、如何ナル根底ヨリシテ之レヲ劃定セシヤ、是レ疑ヒモナク此地方ニ設立セラル、厘金局ノ存在スル柳條邊境ノ關門ヲ基礎トシタルモノナリ、然レドモ(第一)是等ノ關門ハ實際ニ設立セラレタルヤ、或ハ此地方ニ某某門ト稱スルモノガ管テ設立セラレタリト云フハ唯一ノ記憶ノ存スルニ依ルヤ不明ナリ(第二)是等ノ關門ノ數名稱ハ地圖ニ依テ異レリ、(第三)是等ノ有ラユル關門ニ驛舍ノ成立アルヤ不明ナリ、(第四)柳條邊境ノ遺物ハ單純ナル生在的壁柵境界タルノ外此地方住民ノ生計ニ對シ他ノ關係利害ヲ與フルヤ不明ナリ、而シテ是等壁柵境界ニ對シテハ、馬家鎮大門ヨリ北邊遼俄佛羅邊門ニ至ル該柳條邊境ノ支派殊ニ價值アリ、然レドモ此地方ニ於テハ門ノ數ハ其南部ニ比シテ著シク少クシテ、其壁柵モ著シク東方ニ偏シ、蒙古トノ境界ヲ組成セザルノミナラズ、皇室ニ

屬スル禁制地ノ境界ヲモ組成セズ。

此ノ如キ不明瞭ナル事實ハ、吾人殊ニ柳條邊境ノ東支派ニ於テ之レヲ見ル、若シ果シテ皇室ノ禁制地ノ境界ヲ圍繞スルモノトセバ、其當時或ハ現今ニ於テモ關門ヲ通ズル大小幾多ノ道路敗設セラレ此處ニ於テ税金ヲ徵收スルガ如キハ實ニ辻褄ノ合ハヌ話ト云フ可シ。

滿洲ノ蒙古ニ接スル西北境界ハ舊清國條例ニ基キテ決定シタルモノナリ、然レドモ歐羅巴人ノ之ヲ攻究シタルモノナシ、露國トノ境界中殊ニ南烏蘇里地方ノ彼我五十露里間ハ、無税金問題ヲ解釋スルニ必要ナレバ此境界ノ研究ハ殊ニ興味アルヲ覺ユ、又殊ニ有益ニシテ未ダ研究ヒラレザルハ朝鮮國ト接壤スル境界問題ナリトス、地圖ニ依リテ同ジカラザル此地方ノ境界ニ對シ、適當ナル解決ヲ試ムルガ如キハ實ニ重大ナル事件ナリト云フベシ。

第二、三、四及ビ五章ニ於テ概論シタル地理的見解ハ、諸種ノ書籍ヲ參酌シテ編纂シタルモ、廣漠タル邦土ナレバ未ダ全ク探險家ノ足跡ヲ印セザル地方多クアリテ存ス、例ヘバ舊「ツルハイト」ヨリ「ブラゴウエンチエンスク」府ニ至ル道路ヨリ北方ニ聳立スル大興安嶺ノ金山系、嫩河、松花江間ニ綿亘スル小興安嶺、小白山嶺ヨリ烏蘇里江口ニ至ル山脈、白頭山及ビ松花江ノ上流ノ山嶺ヲ除キ全長白山系等是レナリ、是等綿亘起伏ノ大部ハ、之レヲ支那地理ニ取リテ、然レドモ未ダ數字の考察ヲ遂ゲズ。

河流ニ至リテハ唯松花江ガ近時露國遠征家ノ一再ナラザル調査ヲ經テ、稍々明瞭ナルニ至リシモ、其他遼河、鴨綠江ノ如キハ水形學的報告甚ダ少ク又最モ必要ナル正式の稽查ヲ遂ゲタルモノナシ。

第四ノ地質ニ關スル章ニ至リテハ、其資料ノ乏シキコト實ニ寂寥ノ嘆ナクンバアラザルナリ、然レドモ氣候、植物、動物ニ至リテハ其稽查ノ該博ナル少ク目ヲ慰ムルニ足ル。

内部ノ精緻ナル山形ヲ知ラザレバ、滿洲ノ地勢氣候ノ如何ヲ決定スルコト難キト共ニ植物種類ノ播布如何ヲモ豫定スルコト難シ、然レドモ盛京省地方ニ於ケル植物ハ「ロツサ」、「ゼームス」兩氏ノ踏査採集ニ依リ、幾多ノ光明ヲ與ヘラレ、又滿洲ノ北方及ビ東部ハ露國ノ植物學者ニ依リ稍々真相ヲ窺フコトヲ得ルニ至レリ、若シ夫レ烏蘇里ヨリ興安嶺、黑龍口ヨリ朝鮮境上ニ綿亘スル廣漠タル地方殊ニ朝鮮界附近ノ地ニ至テ（有益ナル材料ヲ蒐集スルナキニアラズト雖ドモ）尙ホ全ク模糊ノ裡ニ葬ムラル。

此ノ如ク此地方ノ天然ノ研究ハ頗ブル低キ程度ニ在リテ、將來尙ホ幾多ノ研究者ヲ容ル可キ餘地ヲ存ス、然レドモ山嶽、河流、地質、植物、動物ノ學術的研究ニ至リテハ、専門的學者ノ職務ニ屬シ、吾人ノ貢獻ス可キ所又他ニアリテ存ス。

此地方ノ人種、商業、工業ノ研究ハ完ク其趣ヲ異ニス、滿洲ニ於ケル社會ハ、各自邦土ノ如ク

互ニ相獨立シ、劃然トシテ一構内ニ立ツヲ以テ、之レヲ研究シ解決スルニ充分ナル根底基礎ヲ有ス。

滿洲住民ノ問題（第四章）ニ對シ最モ重大ナルモノハ其員數ノ解決是レナリ、方今滿洲ノ住民ハ未ダ其ノ精確ナル數ヲ知ルニ由ナク、一千二百萬乃至二千二百萬ノ間ニアリ、歐羅巴ノ學者ハ、滿洲住民ノ精確ナル數ヲ規定セント試ミタルモノ多クナリシモ、大概子徒勞ニ歸セリ、然レドモ其後彼等ハ地方ニ於ケル住民ノ信據ス可キ概數ヲ知ラント欲セバ、必ズ先ヅ地方ノ戶籍書ニ憑ラザル可カラザルヲ思惟スルニ至レリ、支那本土ニ於ケル戶籍調査ハ、地方行政機關ノ具備シ、政府ガ地方住民ノ員數ニ關スル必要ナル報告ヲ徵シ得ルト共ニ、地方ニ於ケル住民ノ員數ヲ増減スル詭計ヲ廻ラスガ如キコトナキヲ以テ、比較的の信據スルニ足ル、滿洲ハ少シク其趣ヲ異ニシ、長城以內ノ地ニ比シ、政府ノ住民ニ對スル監視困難ニシテ從テ正確ナル統計ハ得ラレスト雖モ、割合ニ最モ信據ス可キ唯一ノ統計的資料ハ、清國ノ調査報告ニ待タザル可カラズ、而シテ是等ノ報告ヲ解決スル途ハ大畧左ノ手段ニ依ル。

吾人ハ先ヅ第一ニ方今支那本土ニ於テ行ハル、一家ニ住スル有ラユル人間ノ名ヲ記錄スル名簿即チ名簿ニ依リ地方住民ノ數ヲ調査スルノ法ガ、滿洲ノ如何ナル地方ニ於テ實行セラレツ、アルヤヲ論破スルノ要アルヲ認ム、若シ果シテ此ノ如キ秩序ガ滿洲ノ大部ニ實行セラレ、トキハ

該問題ヲ決定スル容易ニシテ、地方官衙ニ保有セラル、名簿ナルモノハ其價值ヲ生ズルモノト云フ可シ、若シ又滿洲ニ於テ名簿法實行セラレザルトキハ、如何ナル場合ニ於テモ東三省ノ住民ノ總數ハ、先ヅ北京ノ戶部記録局ニ於テ之ヲ探知セザル可カラズ、蓋シ該官衙ニ於テハ、地方長官ヨリ全民課税ニ關スル始末書ヲ送付セラルレバナリ、該住民ノ數ヲ探知ス可キ他ノ本源地ハ東三省即チ盛京、吉林、齊々哈爾ノ各將軍衙門タラザル可カラズ、將軍衙門ハ其部下ニ屬スル各地方官、例ヘバ副都統、知府、知州、道台、知縣其他ノ報告ヲ受ク、而シテ是等ノ行政各部ハ長官ニ向ツテ各管轄區内ニ於ケル住民ノ移動ヲ報告スルナリ。

本問題ヲシテ容易ナラシメンガ爲メ、吾人ハ滿洲ガ支那本土ニ比シ多大ナル統計的ノ調査ヲ要スル所以ヲ思ハザル可カラズ、即チ此地方ノ住民ニハ、先ヅ或ル特權ヲ有スル滿洲八旗兵ヲ加算セザル可カラズ、旗人ハ將軍ノ特別ナル記録ニ載セラル、ナリ、現時全滿洲ニ配布セラル、旗人ノ管區ハ、此地方ニ移住シ來レル支那人ノ殊異ナル權利ト相混交スルニ至リタルヲ以テ、統計表ノ紛亂ヲ招クニ至レリ、然レドモ彼等ニ關スル調査ハ、稍々精確ニシテ、滿洲住民ノ一部ヲ組成スルヲ得、愛親覺羅朝ノ發祥地タル滿洲ハ、現時尙北京ニ於ケル宮廷ト特別ナル關係ヲ保有シ、而シテ清國采有地局ノ權限内ニ屬スルモノアリ、殊ニ一定ノ住民ヲ有スル帝室ノ禁制地アリ、即チ現時永陵ニハ帝室ノ墳墓アリテ、之レヲ警護スル住民アリ、奉天府ニ於テハ宮

廷ノ直轄ニ屬スル住民(數年前二萬人アリ)アリテ、北京宮廷ヨリ一定ノ職責ヲ與ヘラル、是等ノ住民モ亦滿洲住民ノ總計ヲ解決スル一部ヲ組成スルモノナリ。

而シテ之レヲ調査スルニ最モ困難ナルモノハ支那ノ移住民ナリ、然レドモ彼等中少クトモ一定ノ區域内ニ土著スルモノハ、地方官衙ニ届出ツルハ疑フ可カラサルト共ニ、地方長官ハ彼等ニ關スル調査ヲ遂行スルノ義務ヲ有スルハ論ナキナリ。

滿洲住民ノ人種の組織ノ問題ハ、又該難問題ヲ解決スル主要ナル地位ヲ占ム、現今ニ至ルマテ滿洲人ハ此地方ニ於ケル一種族ヲ組成スルヤ否ヤハ、未ダ決定セサル問題ナリ、若シ實際ニ於テ滿洲人ガ一種族トシテ成立スルトセバ、其員數ハ如何、又他ノ「ツングース」種即チ「ダウル」、「ソロン」、「オロチヨン」等ト如何ナル關係ヲ有スルヤ、該問題ニ對スル答辯ハ只獨リ人種學トシテ主要ナル問題ノミニアラザルナリ、而シテ此ハ疑ヒモナク滿洲人ノ支那人或ハ他ノ旅人例ヘバ「ソロン」人等ノ管轄ト異ナル行政的秩序ニ關スル問題ヲ解決スルヲ得、滿洲人ノ旅人的行政ハ専ラ軍事組織タルハ明カナル事實ナリシト雖ドモ、其後チ漢族ノ地方ニ充盈シ、新規ナル行政法ノ實施セラル、ニ及ビ、彼等ハ自然ニ其波動ヲ受ケ、其狀態ヲ變更スルニ至ルハ亦タ自然ノ數ナリ、故ニ滿洲人ハ現時ニ至ルモ尙ホ其軍事組織及舊法律ノ下ニ服從シツ、アルヤ否ヤ、或ハ漢族ノ派溢ガ該法律ノ實力ヲ麻痺シ新規ナル行政ヲ布クニ至ラシメシヤ否ヤヲ解決スルハ



必要ナル問題ニ屬ス。

滿洲ノ旗人組織及ビ之レヲ管理スル行政法ハ、現時地方ニ依リ種々異ナルモノ、如シ、蓋シ南部地方ハ新規ナル影響ヲ受ケタルコト甚ダ猛烈ナリト雖モ、北方漢族ノ移植甚ダ多カラザル地方ハ、旗人ノ組織尙ホ充分ニ保有セラル、滿洲ニ於ケル新舊兩制度錯交ノ研究ニ付キ最モ興味アルハ盛京省ナリ、蓋シ該省ニ於テ旗人ノ制度ガ益々擴張セラル、ヤ又ハ全ク廢止スルニ至レルヤノ問題ハ今尙ホ解決セラレザレバナリ。

滿洲人種ノ探究的問題ハ「オロチョン」、「マチーグル」、「ヒラル」、「ゴリト」人ノ間ニハ一般ニ適用セラル、但完ク特異ノ系統ヲ有スルモノハ「ダウル」、「ソロン」人ナリトス、彼等ハ蒙古ノ西北部ニ住スル「ツングース」ニ屬ス、此地方ニ於テ蒙古族ノ強大ナル壓迫ヲ受ケ、又漢族ノ壓迫ヲ受ケタリシガ、是等兩壓迫ノ衝突ハ、彼等ノ人情、風俗、宗教ニ對シ如何ナル影響ヲ與ヘタリシヤ、蓋シ「ソロン」、「ダウル」人ハ滿洲人ニ服從シテ旗人ニ屬シ、滿洲人ト同一組織ノ下ニ管轄セラル、ニ至レリト雖ドモ、「ストレリビツキ」氏ハ「ソロン」人等ノ棲息スル呼倫貝爾地方ノ住民ニ於ケル行政的組織ハ蒙古人ト同一ナルヲ説ケリ、又地理的名稱ヲ檢スルニ「ソロン」人ノ棲息スル地方ハ皆隣境蒙古ト其性質ヲ同ウセリ、是レ蒙古種族ノ此地方ニ於ケル侵入ガ「ソロン」人ノ生活風俗ヲシテ變更セシムルニ至リタルヤ論ナシ。

興安嶺ノ東、遼河ニ依リ南直隸省ト區劃セラル、蒙古領土ノ一部ハ、其地形ト云ヒ自然ノ情態ト云ヒ、全ク滿洲ト同一ニシテ、經濟的關係モ亦滿洲ト密接ナリ、即チ家畜ノ此地方ニ驅逐シ來リテ穀物其他遊牧者ニ必要ナル物品ト交換ス、此地方ハ科爾沁、郭爾羅斯、札賚特、土默特、札魯特ノ各部落ヨリ成ル、就中前四部落ハ「ゼリム」種族ヲ形造リ、後者ハ「ヂユウダ」ノ種族ニ屬ス、蒙古ノ此地方ニ於ケル報告ノ露國ニ入りタルハ近世ノ事ニシテ、十七世紀ノ終リ十八世紀ノ初葉ニ、露國公使館員「スバハリーイ」、「イデスイシブラント」、「ランゲ」ノ諸氏齊々哈爾ヨリ直チニ蒙古ヲ過キリ、北京ニ出デタルヲ以テ始メトス、後チ一千八百八十七年露國參謀大尉「レンシン」氏ノ此地方ヲ踏査シタルコトアリ、又一千八百九十二年ニハ宣教師「ツイリ」氏伯都訥ニ接近スル三角形ヲ成セル一小部ヲ踏査セリ、其他、其東邊境ハ幾多ノ旅行家ノ探險ニ從事セルモノアリト雖ドモ、露國公使館員ノ通行シタル道路ヨリ西興安嶺ニ至ル地方ハ未ダ全ク研究セラレズ。

此地方ノ滿洲ニ於ケル人種的關係ニ付キ蒙古部ヨリノ諸報告ハ皆查トシテ捕捉ス可キナシ、之レヲ歴史的ニ徵スルモ蒙古種族ノ社會的分割、彼等社會ニ於ケル權利義務等ニ關シ何等ノ事跡ヲ見ルコト能ハズ、但其東境ノ人口稠密ナル滿洲ノ地方ト接壤スル蒙古ハ歴史ノ一端ニ現ハル、支那人ハ昔時ヨリ蒙古領土内ニ於テ自己ノ所有トシテ土地ノ占領ヲ禁止シタル法律ノ存在シタ

ルニ係ハラズ農耕ニ嗜好スル蒙古ノ此地方ニ侵入シテ恣マニ之ヲ占領シタリ、十八世紀ノ末葉、長春府管轄ノ一部ハ郭爾羅斯ノ部落ニ屬セシガ、一千八百零九年仁宗帝ノ御宇、此地ノ耕作ヲ許可シタリ、當時支那人ヲシテ蒙古人ニ借地料ヲ支拂ヒ自由ニ之レガ耕作ニ從事セシメタルモノ二十六萬五千六百四十八畝ナリキ、後チ是等ノ耕地ハ行政上滿洲ニ編入シタリ、現今漢族侵入ノ勢遲緩ナリト雖モ、嫩河ノ東部ニ横ハル蒙古外郭ハ漢族ノ殖民漸次増加シツ、アリ、一千八百八十七年「レシン」氏ノ此地方ニ入りシ時ハ全ク支那人ノ土著セルモノヲ見サリシガ、一千八百九十二年「ワイリ」氏ノ伯都訥ニ至レル頃ハ、已ニ數年前ヨリ此地方ヲ旅行スル支那人ニ依リ著大ノ土地ヲ領有セラレ、土地ヲ購求スルニハ從前ニ比シ甚ダ困難ナルニ至レルヲ見タリト、而シテ方今、蒙古人ハ多クノ場所ニ於テ次第ニ耕作ニ從事スルニ至レリ、滿洲ト接壤スル地方ハ、牧畜業化シテ農耕業トナリ、遊牧ハ變ジテ土著トナリ、農耕ニ適スル地方ハ漸次耕地トナリ、蒙古ノ農夫ハ漢族ト軒ヲ接スル奇觀ヲ呈スルニ至レリ、「レシン」氏ノ説ニ哈爾喀村及ビ伯都訥間ニハ、村邑諸方ニ散布シ皆農耕業ヲ營メリト。

上陳セル蒙古地方ノ將來ノ研究、即チ地方狀態、經濟的情況及ビ此ノ地方ニ接近セル滿洲ノ將來ノ發達、其ノ他地方一般ノ調査ヲ遂グント欲セバ、吾人ハ先ヅ左ノ條項ニ注意ヲ拂ハサル可カラズ。

第一、蒙古ノ各所有地ノ境界及ビ部落ノ組織

第二、左ノ階級類別ヲ有スル蒙古住民ノ組織區別

一、王族

二、僧侶

三、現役軍務ニ従事スル者

四、軍隊ニ編入セラルト雖モ軍役ニ召集セラレザルモノ

五、「ハムジュルガ」即チ王族ノ守衛人

六、「シャビナル」即チ寺院ニ隸屬セルモノ

是等社會的行政組織ノ外、各階級社會ノ員數及ビ政府或ハ公共的職分等相互ノ關係ノ説明ヲ要ス、軍人ノ員數ノ決定ハ、其根底ヲ部落會長ノ官衙ヨリスル公報ニ待タザル可カラズ。

第三、支那人殖民地ノ區域情況、及ビ蒙古ノ領土内ニ住スル支那住民ノ數

第四、住民ノ經濟的情態、個人ノ所有地、農耕地散布ノ面積、蒙古人ノ所有セル耕地及ビ其情態、蒙古人支那人間ノ土地所有ニ關スル關係

滿洲ニ接スル蒙古地方ニ關スル統計的報告ハ北京ニ存置スル理藩院ニ於テ之ヲ收受スルヲ得、

理藩院ニテハ三年毎ニ此地方ニ於ケル住民ノ移動及ビ土地領有者ノ變動等、有ラユル地方ノ情  
況ノ報告ヲ送付セラル。

滿洲ニ棲息スル朝鮮人ニ關シテハ、朝鮮ニ接壤スル地方ニ於テ幾多ノ旅行者ノ見聞シタル諸報  
告ノ外余ク世ニ發表セラレズ、其員數ハ如何、彼等ノ滿洲ニ移住シ來ルモノ漸次増加シツ、ア  
ルヤ、或ハ一時ノ現象タルニ過ギザルヤ、彼等ノ滿洲ニ有スル勢力果ク如何、是等ノ問題  
ハ將來ニ於テ之レヲ解決スルノ價値ヲ有スルモノナリ。

滿洲ニ於ケル朝鮮人移植問題ト相併ンデ、最モ廣大ニシテ最モ重要ナルモノハ支那人ノ移住問  
題ナリトス、該問題ノ解決ハ實ニ現時ニ於ケル滿洲ノ有スル經濟的實勢及ビ將來ニ於ケル其發  
達ノ本源ヲ窺知スルコトヲ得可シ、該問題ハ先ツ左ノ條項ヲ攻究スルヲ要ス。

第一、各年ニ於ケル新移住者ノ數、而シテ之レヲ調査スルニハ山海關ヨリ通ズル道路、黃海  
ニ瀕スル港灣ニ於テスルコト。

第二、新ナル地方ニ於ケル殖民移植ノ手續順序、彼等ニ對スル地區ノ割り付け及ビ讓與、彼  
等ニ對スル清國行政政府ノ設立、及ビ中央政府及ビ地方官ノ租稅ノ課付、新移住者ニ對スル  
稅ノ免除。

第三、移住民ノ數ニ關係スル新政府開設ノ順序及ビ狀態。

第四、現今主トシテ移住民ノ向フ地方、殊ニ露國ト境界スル地方ニ於ケル移民ノ註解即チ烏  
蘇里江ノ左岸、「アルグーニ」、黑龍江畔ニ於ケル移植ノ模様、而シテ斯ハ先ヅ支那人ガ侵  
入スル著明ナル金鑛區地方ニ於テ調査スルノ至便ナルコト。

吾人ハ第七章滿洲ノ行政ニ於テ現今此地方ニ於テ成立スル行政組織ノ一斑ヲ示シ、滿洲ノ行政  
ニ關スル報告ノ甚ダ不充分ナルコトヲ論述シタリ。

就中吾人ガ論述シ而カモ之レガ解決ヲ與ヘザル滿洲ノ行政制度中、重要ナル地位ヲ占ムルハ、疑  
ヒモナク軍政行政ノ相互ノ關係問題ナリトス、近時ニ至ルマデ尙ホ專ラ軍政ノ下ニ統轄セラレ  
タル滿洲ハ、漸次一般支那本土ニ於ケルガ如キ行政制度ニ接近スルニ至レリ、支那本土ノ克服  
者ノ郷土トシテ全ク軍政ヲ布キ來リシガ故ニ、今ニ當テ支那本土ト同ジキ行政ヲ適用スルハ、  
此地方ニ於テ昔時ヨリ成立セル組織ニ對シ、根本的改革タラザル可カラズ、然レドモ此ニ管轄  
權ノ相互ノ關係、即チ神主政治ヲ以テ地方民族ニ臨ムカ、或ハ行政官ニ依テ統率スルヤハ未ダ  
完ク明カナラズ。

軍政ハ將軍副都統ナルニ大最高官ノ權限ニ屬ス、而シテ疑ヒモナク行政權モ亦全ク純然タル武  
官ノ掌中ニ屬セズト雖モ、之ト同一ナルベキ其他ノ官職ニ對スル關係果ク如何、若シ吉林、  
齊々哈爾將軍ガ其任地ノ遠隔セルガ爲メ、地方ニ於ケル無限ノ權勢ヲ有スル監督官ナリトセバ、

奉天省ニ於テ將軍ト相併ビテ存在スル府尹、府丞、道台及ビ戸、禮、刑、兵、工ノ五部ヲ將軍ノ權力ヲ以テ其部下ノ如ク處理シ得ルヤ或ハ彼等ハ他ノ關係ニ依テ立ツモノナリヤ。

盛京省ニ於ケル五部ノ特權責務ハ甚ダ興味ヲ有ス、是等ハ太宗ノトキ創設セシ重大ナル制度ノ遺物ニシテ、其組織權限等尙ホ北京ノ六部ト異ルコトナシ。

道台ノ特權及ビ權限ハ又少カラザル興味ヲ有ス、道台ハ奉天府及ビ錦州府(常ニ營口ニ駐劄ス)ニ在リテ、海關及ビ外國人ニ關スル一切ノ事務ヲ管理ス、而モ之レト全ク異ナレル情態ノ下ニ東境或ハ風風理事廳ノ道台アリ、而シテ風風理事廳ニハ幾多ノ附近ノ州縣ヲ隸屬セシム、此地ニ駐劄スル道台ノ權限ハ或ハ副都統ニ比シ強大ナルコトアリ、抑モ道台ノ位置職分タル極メテ不確定ニシテ、此種類ノ官吏ノ任命ハ、地方行政區ノ一部類ニ適用セラル、モノニアラズシテ、他方面ノ需要ニ應ジテ設置セラル、例ヘバ風風理事廳ハ道台ニ依テ管轄セラルト雖ドモ、北團林子理事廳ノ首長ニハ通判アリ、又呼蘭城理事廳ニハ同知アリ。

奉天ニ其主腦ヲ有スル滿洲特有ノ制度中注意ヲ拂フ價值アルモノハ、烏拉總管衙門即チ烏拉地方ニ接息スル獸獵家ヲ統管スル官衙ナリ、往時該官衙ハ政府ニ屬セル遊獵業ノ編成、遊獵者ノ統轄、及ビ之レヨリ産出スル諸種ノ毛皮ヲ北京ニ致スノ職責ヲ有セリ、然レドモ現時獸獵業ノ衰頹セルニ依リ、該衙門ハ毛皮ヲ市場ニテ購求シ、之レヲ北京ニ致スニ至レリ、而モ該制度ハ

未ダ全ク廢止セラレズ。

滿洲ノ行政的區劃中、人口ノ増殖其他地方ノ情態ニ依リ府ニ昇進シタル或ル地方ニハ、知府ヲ任命シテ行政ヲ統ベシム、此ノ如キ管區地方ノ首府ハ昌圖府、長春府等ナリ、此地方ハ軍政ト行政トヲ全ク區分シ、支那本土ニ同ジキ行政法ヲ適用ス、彼等ノ管區ハ蒙古遊牧部ト境ヲ接スルガ故ニ、自然之レト抵觸スルニ至ルハ頗ル興味アリト云フ可シ、而シテ該行政ノ首長ハ副都統ノ下ニ屬スル文官知府ナレドモ、彼等ノ權限ニ關シテハ吾人未ダ知ル所アラズ。

知州、通判、同知、知縣ニ至リテハ、其詳細ナルヲ知ル能ハズト雖ドモ、彼等ノ權限ヲ註解スルハ、又タ須要ノ業タラズンバアラザルナリ、又左記行政組織ノ殊異ナル點ハ、吾人ノ注意ヲ拂フノ價值アルモノナリ、即チ屢々變化セル地方ノ狀態ニ依リ、商工業若シクハ農業上比較的甚ダ無勢力ナル村邑ニ、高級ノ官吏ヲ駐劄セシムルコト、行政中央部ヨリ遠カラザル地方ニ於テハ著大ナル人口ヲ有スル商業地ヲ組成スルコト、是等商業地ノ長官ハ其上位ニ立ツ行政官ニ比シ偉大ノ勢力ヲ有スルコト等ナリ、此ノ如キ特別ナル場合ニ對スル解釋ハ彼等ト住民トノ實際的關係ヲ知ルニ甚ダ適切ナリ、又旗人或ハ土族ヲ管轄スル支配者ノ權限或ハ特權ニ對スル適切ナル解釋モ亦緊急ノ業ニ屬ス、滿洲ハ種々難多ニ區分セラレタル官職ヲ有スル官吏駐屯スルヲ以テ、各職權ノ如何、命令權ノ範圍等ノ劃然タルコトヲ知ルモ亦必要ノ業ニ屬ス、各行政區

ヲ異ニセル住民ハ各自其直轄ヲ受ケザル自治者ニ對シテハ、全ク之レヲ輕視スルノ傾キアリ、例ヘバ旗人ハ文官ヨリ成ル支那ノ自治者ノ處置ニ從フヲ潔シトセザルガ如キ、又道台ノ管轄ヲ受クルノ地方ハ將軍ノ處置ニ重キヲ置カザルガ如シ、而シテ其最モ甚ダシキハ滿洲ノ北部、西北部、及ビ蒙古ニ接壤スル地方ニ住スル土族ナリトス、蓋シ此地方ハ僻陬ナルヲ以テ自治者ノ專制的政權ガ愈増進セルニ因ル。

第八章ニ論ゼル都邑及ビ重要ナル殖民地ノ概略ノ史籍ニ散見スルハ唯行政的重要地ヨリ推測セラレタルモノニシテ、地方ノ農耕地ノ中心點ハ尙ホ殆ンド不問ニ付セラル、即チ研究者ハ將來是等ニ對シテ大ニ注意ヲ拂フノ要アリ、吾人ハ若シ第八章ニ於テ該問題ニ嚴密ナル實際的調査ヲ遂ゲ、可能的資料ヲ蒐集スルコトヲ得ベ、滿洲ニ於ケル都邑ニ關スル知識ノ實ニ寥々タルコトヲ明瞭ニ自覺セシナル可シ、吾人ハ實ニ現時ニ至ルマデ是等ノ都邑ニ於ケル經濟ノ實勢ニ關シテ正式的研究ヲ遂ゲザリキ、然レドモ有テニ研究ニ向ツテ滿洲ノ都邑ニ於ケル行政及ビ商業ノ關係ハ終始同一ノ軌道ニ向ツテ導カレツ、アルヲ指示セント欲ス、殊ニ清國ガ古キヲ尊ブ觀念ヨリ古キ都會ヲ最モ高級ナル行政地ニ定メシモ其勢力ハ新興セル商工業地ニ移リ、又清國政府ガ行政上ノ中心點ヲ人口最モ稠密ナル移民地即チ經濟上ノ實力ヲ有スル地方ニ設置セルガ如キハ頗ル留意ス可キ所ナリ。

盛京省ノ西南端ノ地方ニ設立セラル、都會村邑ニ對シ、研究者ノ先ヅ注意ヲ拂ハザル可カラザルモノハ、此地方ニ通ズル鐵道ナリトス、遼遠州、錦州ヲ經テ奉天地方ニ敷設セラル可キ該鐵道ハ、主トシテ兵器上ヨリ出デタルモノナレドモ、斯ハ此地方ノ都邑村落ニ對シ少ナカラザル影響ヲ與フルコト疑フ可カラズ、然レドモ是等ニ關スル情況ハ未ダ調査セラレザルヲ以テ細密ナル研究ヲ遂グルモ亦必要ノ業ニ屬ス、該鐵道敷設セラレ、貨物旅客ノ輸送至便トナリタル地方ニ及ボセシ影響果タシテ如何、例セバ大凌河ノ輸送ニ依リ該地方ニ威名灼クタリシ義州市ノ如キ鐵道敷設後ニ於ケル情況果タシテ如何、是等ハ皆大ニ留意ス可キ一ニ屬セズトセンヤ。吾人ガ最近ノ研究ニヨリ、最モ興味アルモノハ、盛京省ニ於テハ先ヅ指ヲ蒙古ト接壤スル柳條邊境ニ屈セザル可カラズ、此地方ニハ支那日本等ノ地圖ニ依テ觀レバ、少ナカラザル村邑設立セラル、ヲ認ム、蓋シ此地方ニハ支那農業ノ著シク發展シテ、幾多ノ村落設置セラル、ニ至リタルモノナルベシ、吾人ハ是等ノ中心點ノ實勢力ヲ稽查センガ爲メ此地方ノ都邑ニ於ケル住民ノ概數ヲ示サント欲ス。

- 昌 圖 府 十二萬五千人乃至十五萬人
- 開 原 縣 三萬五千人
- 懷 德 縣 二萬人

金	家	屯	一萬人
長	春(寬城子)		七萬人
農	安	縣	二萬人

其他此地方ニハ法庫門邑アリ、其人口詳カナラザレドモ、「ウエリヤムフン」氏ノ説ニ依レバ蒙古滿洲ノ貿易ハ殆ンド此地ヲ通過シ、貿易盛大ナルヲ以テ人口モ亦比較的多カラント、清國政府ハ自ラ該地方ノ重大ナル經濟的實勢ヲ占ムルヲ認メタルヲ以テ、漸次行政區ヲ置キ其既ニ設立セラル、モノ奉化縣、康平縣、長春府、懷德縣、農安縣等相接セリ。

其他少ナカラサル興味ヲ有シ、未ダ普ク研究セラザル中心點ハ盛京省東境道台府ノ管轄區内ニ屬スル都邑ナリ、蓋シ此地方ガ世人ノ爲メニ注意ヲ拂ハル、所以ハ、一方ハ海洋ニ接シ、一方ハ鴨綠江ニ瀕スルニアリ、此地方ノ海洋ニ瀕スル著名ナル港灣ハ、皮子窩、大孤山、大東溝ナリトス、前者ハ旅順口ノ如ク不凍港ニシテ、貨物ノ輸出入額常ニ營口ニ拮抗セリ、中者ハ其勢力前者ニ及バズト雖モ、港灣良好ニシテ海運上便宜ノ地ナリ、後者ハ鴨綠江ノ木材貿易ヲ以テ有名ニシテ毎年ノ產出額實ニ巨大ナリ、然レドモ是等ハ港灣トシテ大體ノ特徴ヲ説明シタルニ過ギズ、詳細ナル地方ノ情態、或ハ將來ノ開發如何ノ如キハ全く不明ナリ、大東溝ト密接ノ關係ヲ有スル鴨綠江畔ニ於ケル都邑ハ、安東縣、九連城ニシテ、是等ハ朝鮮ト滿洲トノ貿易地

トシテ亦タ注意スルノ價値アル所ナリ。

興京廳管轄區内ニ於ケル都邑ノ大部ハ、東境道台府管轄區内ニ於ケル諸邑ニ比シ人口ニ貽次セラル、モノ少シ、唯是レ該圈區ハ礦物ニ富ムヲ以テ將來滿洲ニ於ケル礦山業ノ樞區トナルハ疑フベカラズ、通化縣、帽兒山、小水里、本溪湖、馬家口、養馬集是等ノ名稱ハ金、銀、石炭、鐵、鉛、銅ヲ聯想セシム、此地方ハ鑛山技師地質學者ノ大ニ攻究セザル可カラザル所ナリ、再說セバ興京廳管轄區内ニ設立セラル、都邑村落ハ、大概チ山間ノ地ニ僻在スルヲ以テ、自然農業ニ商業ニ其發達甚ダ遅々タリト雖モ、鑛山業ヲ以テ世人ノ視線ヲ惹ケリ。

吉林省ニ於ケル都邑中最モ注意スベキハ吉林市ナリ、該市ノ附近ニ及ボス影響及多少該市ト離隔セル商業地トノ關係等ハ未ダ解釋セラレズ、又吉林市ハ住民ノ數ニ準ジテ商工業等經營セラレツ、アルヤ、如何ナル地方ト最モ緊密ノ關係ヲ結ビツ、アルヤ、吉林市ニ對スル夏季松花江ノ水運、冬季貨車ノ運輸ハ如何、地方ノ產出物若シクハ舶來品ノ地方ニ配布セラル、模様ハ如何、終リニ該市ヨリ比較的離隔セサル松花江ノ上流ニ於ケル金鑛區ハ吉林市ニ影響スル所ナキヤ、是等ノ問題ニ對スル應答ハ殆ンド全滿洲ノ神髓ヲ窺フニ足リ、又附近地方ノ光景實勢ヲ見ルニ足ルヲ以テ甚ダ興味ヲ有ス。

吉林市ニ次ギ經濟上最モ興味ヲ有スルモノハ伯都訥ナリ、伯都訥市ハ嫩河、松花江ニ大水脈ノ

會合點ニ位シ、滿洲ヲ縱斷スル大郵路此市ヲ橫貫シ、蒙古地方ヨリ來ル幾多ノ道路又來リ會ス、且ツ伯都訥ハ滿洲穀倉テフ名稱ヲ占得スル地方ニ位置シ莫大ナル穀物ヲ集注シ又南長春府、昌圖府等人口最モ稠密ナル地方ト終始聯結ヲ保ツ、實ニ松花江水域ニ於ル物貨集散ノ樞要地ナリ、該市ハ此ノ如キ至便ナル地位ヲ占ムルヲ以テ將來全滿洲ニ於ル商工業及ビ文化ノ中心點タルノ兆候ヲ有ス、伯都訥ハ實ニ吉林ニ對スル強敵ニシテ、近キ將來ニ於テ之レヲ凌駕スルニ至ラン、故ニ伯都訥ノ方今ニ於ケル地位、詳細ナル情態及ビ將來ニ於ケル此地ノ開發ヲ攻究スルハ、經濟地理學者ニ對スル最モ興味アル問題タラズンバアラザルナリ、伯都訥ハ疑ヒモ無ク遊牧獸獵及ビ農業ニ從事スル蒙古、滿洲、支那等ノ諸種族ヲ合併スル中部滿洲ノ光景ヲ解釋スルニ足ル本源地タラズンバ非ザルナリ。

東方ヨリ伯都訥ニ接スル滿洲ノ穀倉地方ハ史籍上最モ不分明ナル地方ノ一ニシテ、地圖上ニ掲載セラレツ、アル山嶺ノ起伏、河流ノ蜿蜒、都邑村落ノ位置等ハ極メテ不精確ニシテ、誤謬ヲ免レザルモノ甚タ多シ、是等ノ攻究訂正ハ目下ノ急務ナリ、殊ニ注意ヲ拂フ可キハ此地方ヲ貫流スル三大河ノ肥沃ナル谷地ナリトス、住民ハ皆支那本土ヨリ移住シタルモノナルヲ以テ、全ク支那本土ノ文化ヲ輸入セリ。

拉林城及ビ阿楚喀市ノ位置

右兩者ノ成立等ニ關スル問題ハ此地方ニ於テ第一ニ攻究スベキモノニシテ、又其產出スル穀物ガ單ニ全滿洲ノミナラズ、尙露領黑龍江州、營口等ノ異郷ニ輸出スル程ノ餘裕ヲ有スル處ナレバ、斯ル肥沃ナル地方諸村邑ヲ解釋スルハ、亦タ目下ノ急務ト云ハザル可カラズ、松花江ニ於ケル汽船航運業ノ開發ト共ニ江畔ニ散在スル埠頭若クハ村邑ノ所在ヲシテ精確ニ且ツ明瞭ナラシムルモ亦タ必要ナリ、吾人ハ露人ノ松花江最近ノ遠征ニ依リ、始メテ賓州新站、南天門、察哈爾站等ノ所在ヲ明カニスルヲ得タリ、是等ハ凡テ穀物產地ノ中心點ニシテ、其天然ノ位置及ビ四邊ノ狀態ハ自ラ其地ヲシテ此ノ如ク繁榮ナラシムルニ至リシナリ、此地方ニ於ケル支那移民ノ連綿トシテ侵入シ、殖産興業ノ勃興熾ニシテ、最モ有利ナル阿片製造業ノ日ヲ逐フテ盛大ニ赴キ、毎年罌粟栽培地ノ擴張セラル、益々多キガ如キ、方今他ノ地方ニ見ル能ハズシテ獨リ之レヲ拉林河、阿楚喀河、牡丹江谷地ニ求ムルニ至レリ、乃チ知ル近キ將來ニ於テ該地方ハ婀娜タル罌粟花ヲ以テ織出ダサル、ニ至ランコトヲ。

三姓市ニ關スル第一ノ問題ハ按肯河流域ニ於ケル金鑛區トノ關係ナリトス、「マテユウニシ」氏ノ說ニ、一千八百九十五年三姓ヲ經テ諸方ニ配布セラレタル金塊六十布ニ達セシトノコトナレバ、其該市ニ及ボス影響少ナリトセンヤ、其他三姓市ノ殊ニ露人ニ興味アルハ露國ノ國籍ニ屬スル「ギリヤーク」人ガ毛皮稅ヲ清國官吏ニ貢獻スルコト是レナリ、該習慣ハ他ノ松花江畔ニ

設立セラル、都邑、例へば馬陽門、布得、喇哈蘇等ニ行ハル、ナキヤ、是等ノ研究モ亦重要事ニ屬ス、吉林ヨリ東部ニ横ハル地方ハ、露國ノ旅行者比較的ニ多ク跋渉シタリ、然レドモ地方ノ情況ハ尙ホ暗黒裡ニ在ルモノ甚ダ多シ、例へば敦化縣ノ名稱ノ下ニ著名ナル額多力城ノ如キハ、該地方ニ於テ其名燦灼タリト雖ドモ、現今ニ至ルマデ未ダ一人ノ之レヲ目撃シタルヲ聞カズ。黑龍省ハ滿洲中比較的人口稀薄ニシテ、都邑ノ數モ亦少ナケレドモ其將來ヲ研究シテ價值ノ如何ヲ知ルハ又決シテ無用ノ業ニアラザルナリ、此地方ノ都邑中首位ニ立ツ可キハ齊々哈爾市ルヲ以テ意ヲ此ノ地ニ注グノ必要アリ、目下該市ノ愛琿、海拉爾、ガンデユウル、呼蘭城、伯都訥等ニ對スル商業的關係ハ好良ナル狀態ニアリ、然レドモ該市ニ對シテ南方ヨリ舶來品ヲ輸入スル營口港ノ貿易ガ、「ガンデユウル」ノ媒介ニ依リ營マル、コト及ビ「ドロンノール」地方トノ貿易ガ毎年齊々哈爾市ノ開市ニ依テ營マル、等ノ關係ハ果シテ如何、是等ノ問題ハ齊々哈爾市ノ物貨集散ヲ説明スルノ捷徑ニシテ又商業地タル齊々哈爾市ノ將來ヲ研究スル緊急事項タラズンバアラザルナリ。

布特哈爾ハ副都統ノ駐在スル處ニシテ行政上主要ノ地位ヲ占ムト雖モ、該市ノ位置ハ現今尙ホ全ク不明ニ屬セリ、露國ノ境界ヲ距ル遠カラザル地方ニ屬スル該地ノ不明ナルガ如キハ、實ニ露國ガ隣國トノ修交未ダ全ク整ハザルヲ證明セルモノニ非ザルナキヤ。

露國人ニ對シ最モ興味アリ又最モ實利的ナルハ「ガンデユウル」ト云ヘル開市場ヲ含メル海拉爾地方ノ研究ナリ、蒙古ニ於ケル最近ノ旅行者ハ山西地方ノ商人ニ依テ經營セラル、多倫諾爾地方ノ經濟者シク發展セルヲ證明セリ、願フニ多倫諾爾地方ノ商業ハ「ガンデユウル」、海拉爾等ノ開市ニ負フモノ少クニアラズ、故ニ海拉爾、「ガンデユウル」地方ノ研究ハ疑ヒモナク支那商業ノ發達及ビ極東ニ於テ重キヲ爲ス所ノ支那商估即チ山西商人ノ此地方ニ於ケル地位勢力等ヲ解決スルノ捷徑タラズンバアラザルナリ。

齊々哈爾市ノ東方ニ横ハル地方ハ人口未ダ夥多ナラザルヲ以テ、差當リ吾人ノ注意ヲ惹クハ此地方ニ於テ未ダ解決セラレザル左ノ問題ナリトス、(第一)地圖ニヨリ呼蘭河トノ距離ヲ各異ニスル北團林子市ノ位置及ビ實勢、(第二)不分明ナル綏化理事廳ノ管轄區、(第三)呼蘭城市ノ雙生、(第四)齊々哈爾ヨリ呼蘭城ニ至ル道路ニ設立セラル、村落ノ地圖ニヨリ其名稱位置ヲ異ニセルコト是レナリ。

第九章ニ記述シタル滿洲ノ道路ニ關スル諸説ハ、専ラ各種ノ旅行者ニ依リテ得タル諸報告ヲ蒐集セルニ過ギズシテ極メテ不完全不充ナルモノニ屬ス、蓋シ中部滿洲殊ニ北部滿洲地方ニ於ケル大都會、或ハ大村邑ノ散點スル廣漠タル地方ニ於テハ、必ズ彼我ヲ連絡スル交通機關ノ具備セザル可カラザル筈ナリト雖ドモ、尙ホ一ノ道路一ノ徑路ノ存立ヲ指定ス可キ根柢ナキヲ如



何セン、或ハ暗示的ニ或ル道路ノ存立ヲ示スモノアリト雖モ然レドモ是等ノ研究ハ尙ホ未ダ吾人ノ遂行スル所トナラズ。

第一、齊々哈爾、布特哈間ノ道路、延長凡ソ百三十露里ヲ有スル該道路ニ關スル表明ハ、史上ニ散見スルモノ甚ダ稀ナリ。

第二、布特哈、漠河間ノ道路、該道路ノ成立ハ或ル歴史の表明ヲ有ス、例ヘバ支那ノ高官明坦ガ嘗テ齊々哈爾ヨリ大興安嶺ヲ過ギリ漠河ニ至リタルコトアリタリ。

第三、齊々哈爾市ト哈爾哈河ノ上流ヲ連絡スル二個ノ道路、該道路ノ疑問的表明ハ「ストレーリビツキ」氏ニ依リテ傳ヘラレタリ。

第四、「フムトログ」ヨリ「ガンヂエウル」ニ至ル道路、該道路ハ齊々哈爾ヨリ海拉爾ニ通ズル通路ニ連續ス。

第五、呼蘭城ヨリ謨心站(松花江、嫩河ノ會合點附近ニアリ)ニ通ズル松花江ノ左岸ヲ通ズル道路。

第六、松花江口ヨリ三姓ニ至ル該江ノ右岸ヲ通ズル道路。

第七、大吞河口ヨリ小興安嶺ニアル金鑛地北金城ニ通ズル道路。

第八、三姓ヨリ掖肯河水域ニ於ケル金鑛地ニ至ル道路。

第九、「トウリーロング」ヨリ三姓ノ東南二百露里ニ位置スル金鑛地ニ通ズル道路。

第十、三姓ヨリ松花江ノ右岸ニ位置スル薛水店ニ通ズル道路。

第十一、王家站ヨリ南寬城子ニ至ル道路。

第十二、阿楚喀ヨリ小白山嶺ヲ經テ寧古塔ニ至ル道路。

第十三、額木索、琿春間ノ道路ヨリ分離シテ敦化縣ニ至ル道路。

上記セル道路ノ外滿洲ニ於テハ必ズヤ尙ホ完ク吾人ノ稽查スル所トナラザル幾多ノ道路アルヤ疑フ可カラズ、近例ヲ舉グレバ支那ノ詳細圖ニ依テ明示セラレタル盛京省ノ道路驛邑ニシテ、縱横蜘蛛ノ網ヲ張ルガ如キモノ、研究ハ、該省ヲ組成スルノ地圖ヲシテ根柢ヨリ變更セシム可キヤ疑フ可カラズ、而シテ又地理學的觀察眼ヨリスル最モ細密ナル道路ノ研究モ、未ダ經濟的意義ニ關シテ正當ナル解釋ヲ與ヘラレス、是等ノ研究ニ關シテハ、先ヅ陸路水路ニ論ナク、大ナル延長ヲ有スル路程ノ實勢ヲ解釋シ、並ニ之レニ接近スル比較線ノ價值等ヲ攻究セザル可カラズ、例ヘバ齊々哈爾ヨリ長城ニ達スル道路即チ最モ短小ニシテ直線的ナル蒙古ノ平原ヲ通ズル道路ト、奉天、吉林、伯都訥ヲ通過スル郵路トニ對スル公平ナル見解ヲ付スルモ亦甚ダ緊要ナリトス、又滿洲ノ西北舊「ソルハイト」ヨリ東南滿洲ヲ横貫シテ松花江ニ接近シ、浦鹽斯德方面ニ達スル道路中、齊々哈爾、呼蘭城或ハ伯都訥、寧古塔間ノ各比較線ヲ攻究スルモ無用ノ業ニアラ

ザルナリ。

然リ是等道路ノ比較研究ヲシテ、歩武ヲ進ムルニ至ラジメバ、吾人ヲシテ自然ニ思ヒテ道路ノ改良ニ致サシムベシ、蓋シ該問題ハ一方ハ商貨ノ輸送、他方面ヨリハ行政及ビ道路ニ關スル制度ノ研究ト直接ナル連絡ヲ有ス、凡テ支那ノ法律ニ從ヘバ、該事業ハ奉天ニ設置セラル、工部衙門ノ管轄ニ屬シ、其起業ハ地方官之レヲ一般公民ニ委託シテ經營セシム、然レドモ此事ニ關スル詳細ナル順序ハ未ダ明知スルヲ得ズ。

又村邑都會ノ數ニ對スル道路ノ割合ニ關シ精密ナル統計的調査モ必要ナリ、何トナレバ是等ノ調査ヲキトキハ住民ノ安寧、商工業ノ發達ニ關スル問題ヲ決定スルコト能ハザレバナリ。

第十章、滿洲ノ殖産ニ關スル問題ハ、吾人之レヲ割然タル地方ニ區分シ、個々別々ニ研究スルノ便ヲ與ヘタリ。

大興安嶺ヨリ西方ニ横ハル滿洲ノ一部即チ大呼倫貝爾管區ヲ組成スル地方ノ地質ハ、鹽分ヲ含メル不毛ノ曠原ナリ、然レドモ吾人ヲシテ將來此地方ノ運命ヲ決スベキ探鹽問題ノ起ラザル可ラザルヲ豫想セシム、夫レ此地方ニ於ケル探鹽業ノ勃興タルヤ、獨リ滿洲ノミナラズ、全黑龍州ニ於ケル地方經濟ニ關スルモノ少ナカラザレバナリ、鹽ノ富饒ニシテ、且低廉ナルハ饒多ナル魚族ヲ有セル黑龍江及ビ其ノ水域ニ於ケル漁業ノ發達ヲ促ガスニ至ルベキヲ論ナシ、吾人ハ

尙ホ大ニ誇張スベキ自信ヲ有ス、即チ探鹽業ノ發達ハ滿洲ノ河流ニ沿フ有ラユル地方ノ繁榮ニ關係ス、何トナレバ滿洲河流ノ莫大ナル魚族ハ、實ニ地方ノ漁業及ビ商業ノ發達ヲ誘接スルニ足レバナリ。

嫩河ノ各地ト呼倫貝爾ノ高原ヲ分割スル大興安嶺ノ山地ハ、探險家ノ足跡寥寥ニシテ、民安ノ基礎タルベキ職業ニ關スル問題ヲ決定ス可キ何等ノ資料未ダ獲得セラレズ。

嫩河谷地ハ農耕業ニ恰適セズ、蓋シ此地方ハ現今ト雖トモ河畔ニ住スル夥多ノ漁民ガ漁業ニ從事シ、其捕獲シタル魚類ヲ水路ニ依リ下流ニ輸送スル甚ダ多キガ故ニ、若シ鹽ノ供給充分ナルニ至レバ、漁業愈々發達スルヲ論ナキナリ。

嫩河ヨリ東呼蘭城ニ至ル一帯ノ平原ニハ、ニ豐富ナル曹達ノ脈府アリ、現ニ是等ノ脈府ハ甚ダ廣ク探掘セラレ、其産出額次第ニ多キヲ致シ、需要ノ道亦大ニ擴張セラル、ニ至レリ。

中部松花江ノ谷地ハ、滿洲ノ穀倉テフ名稱ヲ以テ顯著ナリ、故ニ此地方ニ於ケル經濟的感念ハ農耕業ノ範圍ニ向テ集注セラル、滿洲ニ於テハ爾餘ノ民業發達セザルガ爲メ、農家ハ實ニ此地方ノ情態ヲ攻究スル中心點タラズンバアラザルナリ、然レドモ農業ノ商工業ト聯關スル村里ノ經濟ニ對スル吾人ノ知識ハ甚ダ寥寥タルヲ免カレズ、又滿洲ニ於テ栽培セラル、穀物ノ種類ハ、現時ニ至ルマデ尙ホ解明セラレザルノミナラズ、其農科植物ノ綱領モ亦極メテ放埒不決定ノモノ

タリ、抑モ滿洲ニ於テ主トシテ栽培セラル、農科植物ハ、支那本土ニ於ケルガ如ク、其大宗ハ稷類、豆、豌豆、米、麻ナレドモ其他ニ間々歐羅巴ノ植物學者ノ見聞セザルモノ多シ、「ワシリ」博士ノ説ニ依レバ、支那人ハ是等植物ニ對シ、各其専門的名稱ヲ付セリ、露國ノ旅行家モ諸種ノ植物學上ノ名稱ヲ付セリ、又此地方ヲ踏査シタル植物學者ハ、露語若シクハ拉丁語ニ適當セザル地方的名稱ヲ付セリト、其結果或ル一科目ニ對シ、夥多ノ名稱適用セラレ、讀者ヲシテ甚ダ煩累ニ堪ヘザラシムルモノナキニ非ズ。

故ニ吾人ハ此地方ニ産スル植物ノ種類ヲ研究シ、又其耕作栽培ノ状態ヲ攻究スルハ必要ナル業務ニ屬スト雖ドモ、是等ハ未ダ毫末モ稽査スル處トナラザルノミナラズ、農耕業ニ恰適スル土壤或ハ進ンデ植物ノ種類ニ對スル土壤ノ適否如何等ノ研究モ全ク不問ニ付セラレタリ、唯近年ニ至リ吾人ハ滿洲ノ農業が大ニ發達セルト共ニ、農衆ノ栽培急劇ニ發達シテ、其他ノ穀物ヲ壓倒スルニ至レル等、著シキ變化ヲ生ジタルノ報告ヲ得タリ、此事實ハ吾人が最モ注意セザル可カラザルモノニ屬ス、何トナレバ滿洲ハ支那ニ莫大ナル阿片ヲ輸出スルヲ以テ其富ヲ増大ナラシムト雖ドモ、他方ヨリ之レヲ觀察スレバ、阿片喫煙ノ弊風地方住民ノ間ニ瀰漫シ、人心ヲ萎微セシムルコト少々ナラズ、從テ地方ノ活氣ヲ消磨シ衰頹セシムレバナリ。

地稅ニ關スル統計の調査モ、亦タ地方ニ於ケル諸種ノ植物栽培ノ状態如何ヲ窺知スルヲ得ルガ

故ニ、必要ナル業務ニ屬ス、滿洲ニ於ケル穀物ノ貿易、穀倉ノ詳細ナル状態、中部地方ヨリ營口ニ輸出スル規律アル輸送機關等、是則チ吾人ノ研究スベキ價値ヲ有スル者ナラズンバアラザルナリ。

盛京省ニ於ケル養蠶業ニ關スル吾人ノ見聞ハ、尙ホ増訂スベキモノ多々アリテ存ス、此地方ニ於ケル養蠶地ノ未ダ紹介セラザルモノ多々アルノミナラズ、大體ノ産出額ノ如キ、未ダ一言モ史籍ニ見ハレズ、人參業ハ野生人參ノ採集ト、栽培人參トニ論ナク、殖産業ニ殊ニ興味アリ且ツ斯業ハ、地方ニ對シ一大勢力ヲ有スト雖モ、未ダ正シキ統計表ノ組成ヲ見ズ。

滿洲ニ於ケル木材及ビ樵業ニ關スル正當ナル調査ハ諸般ノ事項ニ比シ最モ隱匿ノ裏ニ付セラル支那史ニ依テ之レヲ徵スルニ、滿洲ニハ窩集ト稱スル樹木蓄積トシテ繁茂シ、人馬ヲ容ル可カラザル森林、幾千里ノ廣キニ亘ルモノ諸方ニ存在スト、蓋シ此ノ如キ地方ノ實際ニ存在シタリシヤ、將タ支那ノ史家が徒ラニ之レヲ誇張シタルモノナル乎、現今滿洲ニ於テハ著シク樹木ヲ消失シ、各地方ノ都會ノ如キハ、獨リ建築材ノミナラズ、薪材ト雖ドモ甚ダシキ缺乏ヲ告グルニ至レリ、而シテ現今存在セル森林地中、北部ニ位スルモノハ、其面積、樹木發生ノ景況等マデトシテ攻究セラレズ、故ニ滿洲ニ於ケル森林ノ研究モ亦將來有益ナル一事業ナリトス、滿洲ニ於ケル樹木ノ保存問題ハ政府ノ法制的條例ニ於テモ亦實地ニ於テモ未ダ喚起スル所トナラズ、牧畜

ニ關スル問題ハ滿洲ヨリモ、寧ロ滿洲ニ接界スル蒙古地ニ大ナル關係ヲ有シ、且ツ滿洲ノ經濟ニ及ボス影響實ニ少々ニアラサルナリ、東部蒙古地方ニ於ケル家畜ハ、果シテ世人ノ想像スルガ如ク豐富ナルモノナリヤ、前章ニ於テ記述セルガ如ク「マテユウニン」氏ハ伯都訥ハ五十萬頭ノ牛ヲ有スル平原ノ咽喉ヲ扼ス云々ト説キ、又「ガルナカ」氏ノ説ニ依レバ呼倫貝爾高原ニ放牧セラル、家畜百萬頭ニ及ベル如シ、然レドモ是等ノ報告ハ甚ダ空漠ニ失スル嫌ナキニ非ラズ、而シテ其精密ナル統計的調査ハ、單ニ蒙古藩王ニ依ラサル可カラザルヲ如何セン。

滿洲ニ於ケル獸獵業ニ關スル統計的報告ハ甚ダ明瞭ナラズ、該業ハ主トシテ半開的土族ニ依テ經營セラレ、其獲物ヲ支那ノ家畜小商人ニ販賣スルガ故ニ、其精密ナルモノヲ得ルコト難シ、然レドモ滿洲ノ重要ナル中心點ニ於ケル毛皮ノ貿易ニ對シ、正規アル監視者ヲ設置スルトキハ或ハ正確ニ近キ調査ヲ得ルヲ庶幾ス可シ。

滿洲ニ於ケル政府事業中最モ有利ナルモノハ眞珠採集是レナリ、該事業ニ關スル諸報告ハ、頗ル舊聞ニシテ、遠ク十九世紀ノ初葉ニ屬セリ、爾來清國政府ハ隙ヲ外邦ニ構ヘ、内政ヲ整フル暇ナカリシヲ以テ、滿洲ニ於ケル秩序モ紊亂スルニ至リ、而シテ其眞珠業ノ滅亡スルニ至リタル原因ハ、未ダ何等ノ理由ナキガ如シ、百年以前ニ於テハ、専ラ眞珠採收ニ從事セルモノ三千人、毎年宮廷ニ奉納セルモノ一千個、就中直徑我四分餘ノモノアリシハ前章ニ於テ之レヲ陳述

セルガ如シ、蓋シ滿洲ニ於ケル眞珠業ノ再興ハ、地方ノ富源ヲ開拓スル一要素タラズンバアラザルナリ。

滿洲ノ富源一ニシテ足ラズト雖トモ、其全地方ニ亘ル最大ナル天然ノ賜物ハ金鑛ナリ、金鑛ノ採掘ハ、清國政府之レヲ禁止セルガ爲メ、近時ニ至ルマデ専ラ秘密ノ經營ニ委セラレタリ、是ヲ以テ該事業ニ對スル報告ハ甚ダ寥々タリ、滿洲採金業ニ關スル諸報告ノ寥々タル證ハ、松花江ノ上流ニアリト稱スル夾皮溝ノ金鑛、即チ清人ノ挖金賊ト稱シ、嚴然タル一帝國ヲ建テ、百數十年（「バラデー」ノ説）ノ久シキ斯業ニ從事スル一大團體ノ所在地ヲモ明ラカニスル能ハザルガ如キ、其一斑ヲ窺知スルヲ得。

有名ナル「セルトウ」ガ採金業者ノ其後ノ行動ハ今日ニ至ルマデ明白ナラズ、彼等ハ初メ専ラ黑龍江畔ニ於テ金鑛ノ探見ニ從事シタリシト雖モ、爾來尙トシテ其消息ヲ得ズ、清國政府ハ近時漠河ノ金鑛ヲ經營シ、又北金城ノ採金業ヲモ計企セリ。

要スルニ滿洲ニ於ケル其他ノ金鑛所在地ニ關スル幾多ノ報告ハ、此地方ノ旅行家ノ齎ラス所ヲ經緯トシタルノミナレバ、之ニ依リ直チニ其真相ヲ極ム可カラズ、蓋シ滿洲ニ於ケル是等天賦ノ富源ヲ究知スルハ、目下ノ最大急務ニシテ、夾皮溝、掖肯河水城ノ二大鑛區ノ探究モ、亦タ須急ノ業タラズンバアラザルナリ。

滿洲ニ於ケル其他ノ礦物中、産出地ノ重要ニシテ最モ著明ナルモノハ、重モニ長白山地方奉天府興京廳ノ管内ナリトス、然レドモ現今ニ至ルマデ、諸種ノ學理的研究ヲナシタルモノ一モ之レアルナシ、故ニ是等金屬ノ包含状態ヨリ、採掘業ニ至ルマデ、猶將來吾人ノ稽查ヲ容ル可キ餘地充分ニ存在スト云ハザル可カラズ。

滿洲ノ工業ニ關スル問題ハ、天産物ニ比シ、一層寂寥ノ感ナクンバアラザルナリ、前章ニ於テ論ジタルハ唯其概畧ニ止マリ、頼テ以テ僅カニ諸種ノ職業ノ分類性質ヲ判定スルヲ得ルニ過ギズ、抑モ工業ニ關スル報告ノ寥々タルハ是等諸種ノ職業ノ將來ニ於ケル開發の問題ヲ解決スルニ不充分ナリ、榨油、釀酒、煉瓦、毛皮製造、毛布紡績、陶器製造等ニ關スル報告ノ如キモ、其資料甚ダ淺薄ナルヲ免レズ、殊ニ滿洲ノ工業ヲ専門的ニ攻究シ、經濟的眼光ヲ以テ、之レヲ評價シタルモノ、如キハ甚ダ稀ナリ、近時滿洲ノ製造業ニシテ、歐米ノ文明的利器ノ觸接セルハ、疑ヒモナク地方ニ於ケル從來ノ方法習慣ニ打撃ヲ與ヘタルナリ、而シテ是等ノ攻究モ亦頗ル必要ナリ。

滿洲ノ商業ニ關スル問題ハ、内國ノ商業ト、外國貿易ニ論ナク、地方ノ經濟的實勢ヲ表明スル重大ナルモノナリ、滿洲ノ貿易ノ現状ヲ知ラント欲セバ、先ヅ之レガ經營ノ要素ヲ攻究セザル可カラズ。

滿洲ニ於テハ貨物輸送ノ安全ナラザルガ爲メ、或ル一種ノ運輸保險會社ナルモノアリ、該會社ノ組織タル、未ダ吾人ノ明カニスル所トナラザルモ、此會社ハ窃カニ馬賊ト氣脈ヲ通ジテ途中貨物ノ運送ヲ安穩ナラシムルニ依ルナラン、是レ吾人ノ第一ニ研究セザル可ラザル一要素ナリ。第二貨物ノ輸送即チ陸路、水路、或ハ時季ニ關スル運賃ノ詳細ナル研究、第三税關及ビ種々ノ商業税ノ稽查、其他「セームス」氏ニ依テ傳ヘラル、柳條邊境ニ於ケル厘金局ノ解釋モ亦必要ナリ、又一般支那ニ於テ行ハル、税種ノ外、滿洲ニ於テ特ニ注意ヲ拂フノ價値ヲ有スルモノハ、露國ノ境界貿易ニ關スル五十露里以内ノ無税金問題タラズンバアラザルナリ、現今露國ト接壤スル滿洲地方ノ税關ニ關スル報告ノ如キハ實ニ寂寥ナリ。

若シ夫レ滿洲ト朝鮮トノ貿易ニ至リテハ、更ニ甚ダ暗黒ナリ、兩國ノ間ニ設置セラル、中立地ノ存立ノ如キハ、彼我貿易ヲシテ全ク無監督ノ状態ニ陥ラシムルモノナリ。

其他滿洲商業ノ一般ノ状態ニ關スル問題中、未ダ解決セラレザルモノハ地方貿易ナリトス、單ニ境界地方ノミナラズ、中央部ニ於テモ、内國商業ナルモノハ現今ニ至ルマデ、主トシテ商隊ニ依リ商貨ヲ供給スル開市ノ商業ナリトス、思フニ滿洲ハ現今尙ホ貨物輸送ノ安固ナラザルト住民ノ稀薄ナル、道路及ビ運輸機關ノ好良ナラザル等、諸種ノ原因ヨリシテ、地方ノ開市ハ尙ホ隆盛ノ域ニ達セリトナス可カラス、諸方ニ開カル、開市ノ組織、其他滿洲内地貿易ノ状態ハ

先づ第一ニ吾人ノ注意ヲ注ガザル可カラザルモノニ屬ス、滿洲開市中最モ大ニシテ津々タル興味ヲ有スルモノハ「ガンヂユウル」、齊々哈爾濱ニシテ、三姓、琿春、鳳凰城又之レニ次グ。吾人ハ商業ト相關聯スル滿洲ノ天産物及ビ製造品ニ付キ再論セント欲ス、到ル處統計的報告或ハ情報ノ不足ナルガ爲メ、正確ナル演繹ヲナスコト能ハズト雖ドモ、然レドモ是等ニ對シテ統計的觀察ノ方途ヲ示シ、以テ將來ニ於ケル研究者ノ爲メニ、問題ヲ賦課スルハ穴勝チ無用ノ業ニアラザルヲ信ズ。

就中最モ興味アルハ、諸種ノ天産或ハ殖産物ヲ集散スル重要ナル中心點ノ精密ナル確定ナリ、而モ現時ニ至ルマデ是等ノ中心點ハ穀物ノ集散地ニ至ルマデ尙ホ未ダ明知セラレズ。

滿洲ニ於テ蒙古地方ヨリ家畜ヲ需要スル中心點ハ伯都訥ニシテ、法庫門、寬城子、海拉爾、其他境界地方ノ諸邑之レニ次グ、然レドモ其ノ實況ハ未ダ明カナラズ。

魚類、鹽、貿易ノ中心點ノ精密ナル確定ヲナサントセバ、勢ヒ滿洲ノ市場ニ於ケル需要供給ノ額ヲ表明セザルベカラズ、而シテ其重要ナル需要地ハ伯都訥ナリ、此地方ニ於ケル鹽ノ貿易ニ關スル諸報告ハ、營口、寧遠州ト密接ナル關係ヲ有ス、此地方ニハ、露領「ハンス」地方ヨリ輸出セラル、モノアリ、想フニ將來支那、蒙古産ニ對スル大敵タラスンバアラズ。

滿洲ニ於ケル木材ノ貿易ハ、之レヲ伐採スル地方及ビ其主要ナル市場ニ就キ攻究スルニ如クハ

ナシ、即チ大小興安嶺、松花江ノ上流、鴨綠江ノ谷地ニ綿亘スル長白山脈ニ就テ之レヲ稽查スルヲ要ス、旅行家ノ齋ヲセル種々ナル報告ハ、諸方ニ於ケル木材貿易、或ハ木材ノ需要發展ニ付キ確實ナル結論ヲ造ルコト能ハズ。

滿洲ト露國ノ貿易ニ關スル諸問題ハ未ダ全ク解決セラレタリト云フ可カラズ、露國黑龍沿道地方ハ、滿洲ヨリ穀物其他日用品ヲ需要ス、殊ニ黑龍州ノ如キハ穀物ノ不足ヲ此地方ニ仰グコト各年巨大ナル價額ニ達セリ、露國沿境地方ガ經濟上滿洲ト密接ノ關係ヲ有スルハ事實ノ證明スル所ナリ、然レドモ吾人ノ注意ヲ要スルハ、社會ニ毒害ヲ流ス可キ製産物タル阿片、燒酎等ヲ露領ニ密輸入スルノ一事ニシテ、之レガ流入日ヲ逐テ熾ンニ、露國沿境地方ノ安寧ヲ阻礙スル又從テ多キヲ致セリ、故ニ現今其密輸入ニ對スル露國政府ノ警戒益々嚴ナルニ至レリ。

滿洲ノ富源開拓セラレ、地方ノ購買力益々強固ニシテ、歐羅巴ノ製造品ノ輸入日ヲ逐フテ熾ンナルニ至レルハ、近時ノ狀勢ニ照シテ明白ナル事實ナリトス、從テ近時露人間ニハ、滿洲地方ニ輸入スル歐羅巴ノ製造品ヲシテ、露人ノ一手ニ歸セシムルカ、或ハ少クトモ之レガ輸入ヲシテ、全ク露國領ヲ通過セシメザルベカラズトノ問題興起スルニ至レリ、從テ露人間ニハ、都邑ト僻阪トノ論ナク、之レガ購求ノ方法情況ヲ攻究セザルナシ、茲ニ於テカ露國ノ製品ト、外國産トノ競争ニ付キ左ノ問題ヲ研究スルヲ要スルニ至レリ。

第一、露國ノ製造物ハ地方住民ノ嗜好ニ適スルコト。

第二、浦鹽斯德ヲ通過スル商貨ハ營口ヲ通過スル商貨ト競争スルヲ得ルコト。

該問題ヲ解決スルニハ、更ニ左ノ條項ヲ研究スルノ必要アリ。

一、方今歐羅巴ノ商貨ノ營口ヨリ北方ニ輸入セラル、ト露國産ノ黑龍江ヨリ南方ニ送致セラル、割合

二、運賃

三、滿洲ニ於ケル彼我商貨ノ比較價

四、彼我製産商貨ノ住民ニ配布セラル、割合

滿洲通志終

# 附 錄

# 滿洲通志附錄

## 第一表 氣候

(A) 營口ニ於テ調査シタル一千八百六十二年及一千八百七十二年度  
 シ温度表 (列氏)

月	最高度	最低度	差	平均温度
一	一、八	一八、二	二〇、〇	九、六
二	五、五	一四、〇	一九、五	六、〇
三	一〇、四	九、六	二〇、〇	〇、八
四	一八、六	二、二	二〇、八	六、九
五	二二、三	四、六	一六、七	二、六
六	二五、五	一〇、二	一五、三	一、六
七	二五、六	一五、一	一〇、五	二、〇
八	二五、八	二、六	一三、二	一、三
九	二二、三	六、〇	一七、七	四、八
十	一七、一	〇、六	一七、七	八、二
十一	一二、二	六、九	一五、一	二、五
十二	五、五	一五、四	二〇、九	五、六

附錄



(B) 一千八百九十三年奉天ニ於テ調査シタル温度表 (列氏)

月	最高度		最低度		平均
	最高	最低	最高	最低	
一	三、七	一、四、五	一、七、〇	一、二、七	一、二、七
二	二、三	一、一、五	一、二、九	一、二、六、七	一、一、八、四
三	一、六、〇	一、五、三	一、八、一	一、五、二	一、六、四
四	二、〇、一	一、四、五	一、八、一	一、五、〇	一、六、〇
五	二、四、四	一、一、六	一、八、三	一、四、〇	一、七、五
六	二、八、五	一、七、三	二、二、九	一、八、八	一、七、八
七	二、八、四	一、八、七	二、五、三	一、四、四	一、七、八
八	二、八、一	一、八、一	二、三、七	一、七、〇	一、七、九
九	二、四、三	一、三、九	一、九、三	一、九、七	一、三、六
十	一、九、六	一、一、五	一、九、九	一、七、七	一、三、六
十一	一、六、七	一、一、三	一、三、四	一、七、三	一、三、三
十二	二、八、五	一、一、四、五	一、〇、七	一、二、六、七	一、五、五

(C) 營口ニ於ケル二箇年間ノ風位統計表

月	風ノ方向			
	東南	西南	北北西	北北東
一	一〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
二	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
三	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
四	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
五	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
六	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
七	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
八	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
九	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
十	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
十一	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五
十二	一、〇、七	一、九、七	一、二、六、七	一、二、五

月	最高度	最低度	平均
一	六、七、八	二、二、六	二、九、一
二	六、〇、六	三、二、一	二、八、五
三	五、五、〇	四、一、七	二、六、〇
四	四、六、九	五、三、一	二、〇、一
五	三、二、四	五、四、七	二、一、九
六	一、三、二	八、〇、二	三、三、三
七	九、九	八、三、五	三、三、三
八	四、五、四	五、一、三	一、九、五
九	四、一、九	四、六、七	一、六、七
十	四、三、二	五、三、五	一、九、一
十一	三、九、〇	五、七、七	二、〇、二
十二	六、七、八	二、二、六	二、九、一

(D) 一千八百六十二年—一千八百七十二年營口、一千八百九十三年奉天ニ於テ調査シタル雲霧及雨雪ノ統計表

月	營口ニ於テ		奉天ニ於テ	
	百ニ對スル 曇天口數	降雨日數	日數	二十四時ノ最高度
一	二、七	一、一	一、三	〇、七、五
二	二、一	一、一	一、三	〇、四、五
三	四、六	一、一	一、三	〇、四、〇
四	四、三	一、一	一、三	〇、三、三
五	一、一	一、一	一、三	〇、三、三
六	一、一	一、一	一、三	〇、三、三
七	一、一	一、一	一、三	〇、三、三
八	一、一	一、一	一、三	〇、三、三
九	一、一	一、一	一、三	〇、三、三
十	一、一	一、一	一、三	〇、三、三
十一	一、一	一、一	一、三	〇、三、三
十二	一、一	一、一	一、三	〇、三、三











ノ	マ	ワ	ニ	ヒ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ

北緯四十五度四十分  
東經百一十四度二十四分

ノ	マ	ワ	ニ	ヒ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ

北緯四十一度二十九分  
東經百一十四度二十四分

ノ	マ	ワ	ニ	ヒ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ

北緯四十二度三十九分  
東經百一十四度四十八分

ノ	マ	ワ	ニ	ヒ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ

北緯四十二度四十八分  
東經百一十四度四十四分

ノールオキイウスコイ

ノ	マ	ワ	ニ	ヒ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ

北緯四十三度四十七分  
東經百一十一度五十七分

ニコリスコイ (沿海州)

ノ	マ	ワ	ニ	ヒ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク	ノ	ク
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ
〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ	〆	ノ





125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

附錄

六百五十六

125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

附錄

六百五十七









年次	二 降雨雪日數												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一八八七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八八八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八八九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(北緯四十五度四十分 東經百一十一度二十四分)

子ルチンスク

年次	ストレテンスク												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
一八八七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八八八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八八九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一八九七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ウシタ

子ルチンスキー、サウオード

№	一	二	三	ハ	五	十	一五	二五	三	五	七
1284	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1285	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1286	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1287	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1288	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1289	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1290	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1291	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1292	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1293	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1294	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1295	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1296	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1297	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1298	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1299	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

附録

1284	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1285	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1286	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1287	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1288	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1289	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1290	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1291	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1292	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1293	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1294	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1295	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1296	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1297	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1298	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1299	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0





一八七	一八八	一八九	一九〇	一九一	一九二	一九三	一九四	一九五	一九六	一九七	一九八	一九九	二〇〇
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ミハイロウスコイ

ラツ

一八七	一八八	一八九	一九〇	一九一	一九二	一九三	一九四	一九五	一九六	一九七	一九八	一九九	二〇〇
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エカテリニコリスケ

ハバロウスケ

コジローウスカヤ

120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
四六五四	三六九一	五八四六	九九四三	三三	四八三	九五三	一五五六	八四四	六九七	八九五
131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141
一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六

カメニルイボローウ

142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152
五四七	七五五	八七八	七八九	七九〇	七九一	七九二	七九三	七九四	七九五	七九六
153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163
一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六

アヌチノ

164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174
五二一三四	五三一三四	四〇五二五	四二五八七	二二	二二	六五九	九一〇	一〇	一〇	一〇
175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185
一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六

アタマノウスコイ

186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196
二二三	二二三	二二三	八六四三三	七六四三三	七六四三三	二二	二二	二二	二二	二二
197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207
一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六

ホストスウヤイトイオリキ

208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218
〇〇	〇〇	〇〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229
一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六





北緯四十三度七十分 東經百三十一度五十四分											北緯四十四度四十六分 東經百三十二度二十四分											北緯四十八度二十八分 東經百三十五度七分										
ウラテツオストーク											カメニルイボロウ											ハバロウスケ										
海抜十七メートル											海抜四十五メートル											海抜十七メートル										
1.00時	1.10時	1.20時	1.30時	1.40時	1.50時	2.00時	2.10時	2.20時	2.30時	2.40時	1.00時	1.10時	1.20時	1.30時	1.40時	1.50時	2.00時	2.10時	2.20時	2.30時	2.40時	1.00時	1.10時	1.20時	1.30時	1.40時	1.50時	2.00時	2.10時	2.20時	2.30時	2.40時

六百七十五

北緯四十七度五十分 東經百二十九度三十分											北緯五十度十五分 東經百二十七度三十八分											北緯五十三度三十分 東經百二十四度四十一分										
エカテリニコリスカヤ											フラコウエジチヘンスク											アルバージン										
海抜九十五メートル											海抜百五十四メートル											海抜四百メートル										
1.00時	1.10時	1.20時	1.30時	1.40時	1.50時	2.00時	2.10時	2.20時	2.30時	2.40時	1.00時	1.10時	1.20時	1.30時	1.40時	1.50時	2.00時	2.10時	2.20時	2.30時	2.40時	1.00時	1.10時	1.20時	1.30時	1.40時	1.50時	2.00時	2.10時	2.20時	2.30時	2.40時

四百七十四



(H) 諸方角ニ於ケル風ノ反覆

Table with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

Table for 'ア' (A) with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

ア  
カ  
バ  
ウ  
イ

Table for 'ア' (A) with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

エ  
カ  
テ  
リ  
ノ  
ニ  
コ  
リ  
ス  
カ  
ヤ

Table for 'エ' (E) with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

ハ  
バ  
ロ  
ウ  
ス  
ク

Table for 'ハ' (H) with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

ア  
タ  
マ  
ー  
ノ  
ウ  
ス  
コ  
イ

Table for 'ア' (A) with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

フ  
ラ  
コ  
ウ  
エ  
シ  
チ  
エ  
ン  
ス  
ケ

Table for 'フ' (F) with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

カ  
ー  
メ  
ニ  
ル  
イ  
ホ  
ロ  
ー  
フ

Table for 'カ' (K) with columns for Year (年), Direction (次), and Month (月). Rows represent months 1 through 7, with directions North (北), Northeast (東), Southeast (南), Southwest (西), and West (西) for each month.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

Table with 10 columns and 100 rows of numbers. Includes vertical labels 'ウ', 'キ', 'ウ', 'ラ', 'デ', 'オ', 'ス', 'ト', 'イ', 'ク'.

沿海州 (Coastal State)

ポストスウヤートイオリギ (Post-Suwa-Tei-Ori-gi)

ウラデオストイク (Uradetostoi-ku)

カメニルイボローフ (Kameniruiborofu)

アラゴウエシチエンスケ (Aragoueshichieshike)



Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.

Table with multiple columns containing numerical data and text, likely representing a calendar or schedule for the months of 1911.



Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).

Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).

Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).

Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).

Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).

Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).

Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).

Table with 12 columns and 100 rows, containing numerical data for months 8 through 12 and an annual average. The data is organized by region: 北 (North), 北東 (North-East), 東 (East), 東南 (South-East), 南 (South), 西南 (South-West), 西 (West), 西北 (North-West), 靜 (Quiet).



(I) 河流ノ解氷及凍結

(月日ハ太陽曆ヲ用ユ)

年	解氷	凍結	氷ノ全減
一八三七	四、二八	一〇、二六	
一八五〇	四、〇三	一〇、一七	
一八五一			
一八五二	五、一二	一〇、二五	
一八五三	四、二九	一〇、三四	
一八五四	五、〇八	一〇、三三	
一八七五	五、〇六	一〇、二八	
一八八九	五、〇二	一〇、二〇	
一八九〇	五、〇二	一〇、三三	
一八九一	五、〇五	一〇、三三	
一八九二	五、〇七	一〇、二〇	
一八九三	四、二七	一〇、〇一	
一八九四	四、二七	一〇、〇八	
一八九五	五、〇四	一〇、二七	
「ストレンジンスク」ニ於ケル「シウワカ」河			
一八九一	五、〇四		
一八九二	五、〇三		
「チルチンスク」ニ於ケル「チルチヤ」河			
一八九三	四、二〇	一一、〇八	
一八九四	四、二三	一一、二〇	
一八九五	四、二七	一一、二九	
「チロアシチヤ」ニ於ケル「シウワカ」河			
一八九三	四、二〇	一一、〇八	
一八九四	四、二三	一一、二〇	
一八九五	四、二七	一一、二九	
「チルチンスク」ニ於ケル「シウワカ」河			
一八九〇	四、三〇	一一、一五	
一八九一	四、三〇	一一、〇九	
一八四八	五、〇七		
一八四九	五、〇二		
一八五〇	四、三〇		
一八五一	五、〇七		
一八五二	五、〇九		
一八五三	五、〇九		
一八五四	四、二七		
一八九〇	五、〇四		
一八九一	四、二一		
一八九四	四、二四		

附録

六四七

「アガトワイ」ニ於ケル「アカトワイ」河	一八九四 一八九五	四、二二 四、一八	一〇、一八	一八九一 一八九三	五、〇五 四、二三	一〇、二八	「アラゴウエシチエンスク」ニ於ケル「アムール」	一八五九 一八六〇 一八六一 一八七四 一八七五 一八七九 一八八五 一八八六 一八八七	四、二二 四、二三 四、二三 四、二三 五、〇三 五、〇二 四、二九 四、二二 四、二七 五、〇三	一、一〇 一、〇五 一、〇二 一、〇七 一、〇九 一、〇七 一、〇七 一、〇七 一、〇七 一、〇七	一八八八 一八八九 一八九〇 一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	五、二三 五、一九 五、二一 五、二一 四、二五 四、二五 四、二五 四、二五	一、二二 一、一九 一、二〇 一、二〇 一、二〇 一、二〇 一、二〇 一、二〇	「ラツテ」ニ於ケル「アムール」	一八九一 一八九二 一八九三	四、三〇 四、三〇 四、二〇	一、二四	「エカテリノニコリスク」ニ於ケル「アムール」	一八九〇 一八九一 一八九二 一八九四	四、二三 四、二三 四、三〇 四、一六	一、二二 一、二二 一、二五 一、二四	「ニコライウスケ」ニ於ケル「アムール」	一八五六 一八五七	五、二二	一、〇九 一、一九	「ハバロウスケ」ニ於ケル「アムール」	一八八八 一八八九 一八九〇 一八九一 一八九三 一八九四 一八九五	四、二三 四、二五 四、二一 四、一八 四、一五 四、二三	一、二〇 一、一九 一、一九 一、一九 一、二四	「カメニストブライスク」ヨリ十五露里ニ於ケル「ゲヤルダ」河	一八九〇 一八九一	五、〇八	一、二〇	「カメニストブライスク」ヨリ十八露里ニ於ケル「ギリユ井シ」河	一八九〇 一八九一	五、〇八	一、二〇	「ミハイロウウキ」ニ於ケル「ザワイトイ」河	一八九〇 一八九三 一八九四 一八九五	四、〇三 四、〇三 四、一〇 四、一〇	一、〇六 一、〇八 一、一八 一、二二
---------------------	--------------	--------------	-------	--------------	--------------	-------	-------------------------	--	--	--	--	--	--	-----------------	----------------------	----------------------	------	------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------	--------------	------	--------------	--------------------	--	--	--------------------------------------	-------------------------------	--------------	------	------	--------------------------------	--------------	------	------	-----------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

一八五八 一八五九 一八六〇 一八六一 一八六二 一八六三 一八六四 一八六五 一八六六 一八六七 一八六八 一八六九 一八七〇 一八七一 一八七二 一八七三 一八七四 一八七五 一八七六 一八七八 一八七九 一八八〇 一八八五 一八八六 一八八七	五、二二 五、一八 五、二二 五、二二 五、二四 五、二〇 五、一九 五、一四 五、二四 五、二六 五、二五 五、二八 五、一八 五、三〇 五、二八 五、二四 五、二六 五、二一 五、二二 五、二二 五、二五 五、二一 五、一三	一、一三 一、〇五 一、〇三 一、〇三 一、〇三 一、〇六 一、〇八 一、〇四 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九 一、〇九	一八八八 一八八九 一八九〇 一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	五、二三 五、一九 五、二一 五、二一 四、二五 四、二五 四、二五 四、二五	一、二二 一、一九 一、二〇 一、二〇 一、二〇 一、二〇 一、二〇 一、二〇	「カメニストブライスク」ヨリ十五露里ニ於ケル「ゲヤルダ」河	一八九〇 一八九一	五、〇八	一、二〇	「カメニストブライスク」ヨリ十八露里ニ於ケル「ギリユ井シ」河	一八九〇 一八九一	五、〇八	一、二〇	「ミハイロウウキ」ニ於ケル「ザワイトイ」河	一八九〇 一八九三 一八九四 一八九五	四、〇三 四、〇三 四、一〇 四、一〇	一、〇六 一、〇八 一、一八 一、二二
--	--	--	--	--	--	-------------------------------	--------------	------	------	--------------------------------	--------------	------	------	-----------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

「ワンデースカヤ」區附近ノ「ワンダ」河	一八九〇 一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	五〇九 — — — — —	五、二四 五、三〇 一、〇六 一、〇八 一〇、二八	一八九三 一八九四 一八九五	四、一五 四、一〇 四、一四	一、〇九 一、一三 一、一三	— — —
「カザケ」ウイチ」區ニ於ケル烏蘇里江	一八九一 一八九二	— —	— —	一八九一 一八九二	— —	— —	— —
「ハハロウスク」府ニ於ケル烏蘇里江	一八八八 一八九一 一八九四 一八九五	四、二〇 四、一六 四、一四 四、二〇	— — — —	一八八八 一八九一 一八九四 一八九五	四、二〇 四、一六 四、一四 四、二〇	— — — —	— — — —
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	— — — — —
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「シアンヘ」河	一八九二	四〇六	—	一八九二	四〇六	—	—
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「スナシカ」河	一八九二	四〇二	—	一八九二	四〇二	—	—
「アタマンノウスカヤ」區附近ノ「トウチヤ」河	一八九三 一八九四	三、二八 —	— —	一八九三 一八九四	— —	— —	— —
「ニコリスク」市ニ於ケル「スナシカ」河	一八九二	—	—	一八九二	—	—	—

「アタマンノウスカヤ」區附近ノ「トウチヤ」河	一八九三 一八九四	三、二八 —	— —	一八九三 一八九四	— —	— —	— —
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「スナシカ」河	一八九二	四〇二	—	一八九二	四〇二	—	—
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「シアンヘ」河	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	— — — — —
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「スナシカ」河	一八九二	四〇二	—	一八九二	四〇二	—	—
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「シアンヘ」河	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	— — — — —
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「スナシカ」河	一八九二	四〇二	—	一八九二	四〇二	—	—
「アタマンノウスカヤ」區ニ於ケル「シアンヘ」河	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	一八九一 一八九二 一八九三 一八九四 一八九五	— — — — —	— — — — —	— — — — —

リウキウコザクラ  
*Androsace filiformis*, Retz.  
 — *lactiflora*, Fisch.  
 附 センニンコク(老翁穀)  
 録 イヌビユ  
 フデグイトウ  
*Abies sibirico*, ledeb.  
 — *holophyllo*, Maxim.  
*Abies nephrolepis*, Miq.  
 ウ斯巴タイシン(細辛)  
 カハラハンノキ  
 ヤマハンノキ  
*Asparagus davuricus*, Fisch.  
 キジカクシ  
 — *gibbus*, l.  
 — *sieboldi*, Maxim.  
 チシマラツキヤウ  
*Allium. Thunbergii*, don.  
 チギ(青葱)  
*Allium strictum*, Schrad.  
 ギヤウジャニンニク(茗葱)  
*Allium angulosum*, l.  
 ニラ(菹)  
 ラツキヤウ(薤)  
*Anthericum liliago*, l.  
 サジオモダカ(水澤瀉)  
 スヤメノテツボウ(看麥娘)  
*Alopecurus fulvus*, Sm.

セイヤウノコギリサウ  
*Artemisia eriopoda*, Bunge.  
 — *glauca*, Pall.  
 — *campestris*, l.  
 オホヨモギ(蕪蒿)  
 シコタンヨモギ  
 カムイヨモギ  
 カハラニンジン(青蒿)  
 シナ(支奈)  
 クソニンジン(黄花蒿)  
*Artemisia Besserianna*, ledb.  
 — *Sieversiana*, Willd.  
 カハラヨモギ(茵陳蒿)  
 フトコヨモギ(杜蒿)  
*Artemisia sylvatica*, Maxim.  
 イヌヨモギ(菴藷)  
 サマニヨモギ  
*Artemisia frigida*, Willd.  
 — *latifolia*, ledb.  
 — *Desertorum*, Spreng.  
 — *lagocephala*, Fisch.  
 エゾノチノコグサ  
 フケラ  
 ツリガネニンジン(沙参)  
 オホツリガネニンジン  
 ソバナ(蔞薹)  
 マルバノニンジン(杏葉沙参)  
 ルリハコベ

第二表 植物  
 満洲 = 發見セル植物

ニハウルシ(枹、臭椿)  
 イタヤメイゲツ  
 オホツタモミヂ  
*Acer tegmentosum*, Maxim.  
 フガラバナ  
*Acer tataricum*, l.  
 — *mandshuricum*, Maxim.  
 — *truncatum*, Bge.  
 — *barbinerve*, Maxim.  
 ゲンゲ(紫雲英)  
*Astragalus miniatus*, Bge.  
 — *dohuricus*, DC.  
*Acer adsurgens*, Pall.  
 — *scaberrimus*, Bge.  
 — *laxmanni*, Jacq.  
 — *meliloides*, Pall.  
 ナンキンマメ(落花生)  
 エソキンミヅヒキ  
*Amygdolus*, Sp.  
*Anthriscus nemorosa*, Sprg.  
*Aralia spinosa*, l.  
 — *palmata*, Lour.  
 シロバナノノコギリサウ  
 ノコギリサウ(薺)

スハマサウ(耨耳細辛)  
*Anemone baicolensis* Turcz.  
 キクザキイチリンサウ  
*Anemone nemorosa*, l.  
 フタマタイチゲ  
*Anemone rossii* S. Moore.  
 — *pulsatilla*, l.  
 — *chinesis*, Bge.  
 オキナグサ(白頭翁)  
 ウラベニイチゲ  
*Anemone barbulata*, Turcz.  
 — *udensis* Trautv. et  
 Mey.  
*Aconitum* Authora, l.  
 ブシカヅラ  
 ホソバナカブト  
 レイジンサウ(牛扁)  
 トリカブト  
*Aconitum teunifolium*, Turcz.  
 — *kusnezoffii*, Rehb.  
 フクジュサウ(側金盞花)  
 フダマキ  
*Aquilegia sibirica*, Lam.  
 タチアフリ(蜀葵)



— glauca, W.  
 — aethusaefolia, Turcz.  
 — brevicandata, D. C.  
 — orientalis, l. var.  
     intricata, Maxim.  
 Cimicifuga dahurica, Maxim.  
 サラシナシヨウマ  
 リウキンクワ  
 クサノワウ(白屈菜)  
 Chelidonium uniflorum, Sieb.  
     et zucc.  
 Corydalis remota, Fisch.  
     — solida, Sm.  
     — aurea, Willd.  
 Cardamine macrophylla, W.  
     — parviflora, l.  
 ジャニンジン  
 コミヅタガラシ  
 Cardamine amara, l.  
     — tenuifolia, Turcz.  
 ナヅナ(薺)  
 Cleome pentaphylla, l.  
 Caragana microphylla, lam.  
 Cassia Sophera, l.  
     — nicotiana, l.  
 Crataegus pinnatifida, Bunge.  
     — sanguinea, Pall.  
     — chlorosarca, Maxim.

Brassica napus, l.  
 オホガラシ  
 Bupleurum ocloraetatum, Bge.  
 ミシマサイコ(北柴胡)  
 Bupleurum longiradiatum,  
     Turcz.  
 タウコギ(狼把草)  
 ポソバノセンダングサ  
 ヤナギタウコギ  
 マカンバ  
 Betula exaltata, S. moore.  
     — davurica, Pall.  
     — humilis, Schr.  
     — Schmidtii, Rgl.  
 Batatas edulis, Chois.  
 フダンサウ(蕪菜)  
 ヤマカモジグサ  
 ナツノハナワラビ(蕨)  
 Brachbotris paridiformis,  
     Maxim.  
 Brochyaetis ciliata, leb.  
 Bunias tcheliensis, Deb.  
 ハナイバナ  
 センニンサウ  
 ミヤマハンシヨウヅル  
 クロバナノハンシヨウヅル  
 ヒロハノセンニンサウ  
 Clematis angustifolia, Jacq.

Agrostis laxiflora, R. Br.  
     — alba, l.  
 ツルデンド  
 ヒメシダ  
 キノデ(毛蕨)  
 シラクチヅル(彌猴桃)  
 マタ、ビ(木天蓼)  
 ヤブマメ  
 Arenaria lateriflora, l.  
     — juncea, M. B.  
     — capillaris, var.  
     — glandulosa, Fzl.  
     — peploides, Rupr.  
 Atriplex, sibirica.  
 Axyris amarantoides, l.  
 バシクルモン  
 Agriophyllum arenarium, M. B.  
 レンブクサウ(連福草)  
 イハツクバチウツギ  
 Asperula platygalium, Maxim.  
 モミヂゴギヅル  
 エノキグサ  
 Alsine larioina, Crantz.  
 Brasenia peltata, Pursh.  
 Berberis sinensis, Desf.  
 ヘビノボラス  
 Berberis vulgaris l. vr.  
     amurensis, Bgl.

Alopecurus longearistatus,  
     Maxim.  
 Anthistiria ciliata, Retz.  
 クジヤクサウ  
 Adiantum Capillus, Junceis,  
     Rupr.  
     — rhizophyllum, Knz.  
 エゾハタザホ  
 オホイハハタザホ  
 ハクサンハタザホ  
 Arabs perfoliata, lam.  
 アフユキサウ(落新婦)  
 シヤク  
 Anthriscus nemorosa, Sp.  
 ヨロヒグサ(白芷)  
 ヤマゼリ  
 Angelica viridiflora, Bth.  
     — laevigata, Franch.  
 Aster striatas, Champ.  
 コンキグ(馬蘭)  
 シラヤマギク(東風菜)  
 シラン(紫菀)  
 ヒメシラン(女菀)  
 Aster incisus, Fisch.  
 Ametysten coerulea, l.  
 ツルカコサウ  
 Arrhenatherum avenaceum,  
     P. B.

タヌキマメ  
 ツバメオモト  
 ミヅザゼン  
 附 ヌマガヤツリ  
 録 Cyperus monti, L.  
 カハラスガマ  
 Calamagrostis epigejos, L.  
 ——— purpurea, Trin.  
 ノガリヤス  
 Cheilanthes argentea, Hook.  
 ——— Kuhnii, Milde.  
 Clinacium Japonicum, Lindb.  
 ナナゴケ(石蕨)  
 Cerastium trigynum, Vill.  
 ——— pilosum, Ledeb.  
 ——— arvense, L.  
 ——— riviale, Link.  
 ツルニンジン(羊乳)  
 バアソブ  
 キキヤウ(桔梗)  
 ウメガササウ  
 Corispermum Redowskii, Fisch.  
 ——— Stauntoni, Moq.  
 Chenolea divaricata, Hook. f.  
 Callistephus hortensis, Cass.  
 Centaurea monanthos, Georgi.  
 Cotonaster integerrima, Medic.  
 Cotyledon leucantha, Ledeb.

Carex digitata, L.  
 ——— nilida, Host.  
 ——— notha, Kunth.  
 ミヤマカンスゲ  
 Carex acuta, L.  
 ——— sylvatica, Huds.  
 ——— atrata, L.  
 ——— leiorhyncha, C. A. M.  
 ——— lolacea, L.  
 ——— Vulpina, L.  
 ——— rupestris, All.  
 Cystopteris fragilis, L.  
 ——— sudetica, Milde?  
 ——— spinulsa, Maxim.  
 Cucubalus baccifer, L.  
 ヤマチコノメサウ  
 ミヤマタニタデ  
 ウシタキサウ  
 Circaea lutetiana, L.  
 ——— mollis, Sieb. et Zucc.  
 サハシバ(鵝耳櫛)  
 Carpinus hastata, L.  
 Crepis Turczaninowii, C. A.  
 Mey.  
 Calystegia sepium, R. Br.?  
 ——— hederacea, Wall.  
 ——— dahurica, Choisy.  
 Calamintha chinensis, Bth.

チナシカヅラ(菟絲子)  
 Cuscuta lupuliformis, Krock.  
 Capsicum annuum, L.  
 ——— longum, D. C.  
 ケイトウ(鶏冠)  
 アカザ(藜)  
 マルバアカザ  
 Chenopodium rubrum, L.  
 コアカザ  
 ウラジロアカザ  
 Chenopodium aristatum, L.  
 ヒトリシヅカ(銀線草)  
 Celtis sinensis, Pers.  
 ムラサキハシバミ  
 ハシバミ(榛)  
 Corylus mandshurica, Maxim.  
 アツモリサウ  
 ミヤマアツモリサウ  
 Cypridium Calceolus, L.  
 キミカグサウ(君影草)  
 ツユクサ(鴨跖草)  
 Colocasia esculenta, Schott.  
 アラスゲ  
 Carex stenopylla, Wahlb.  
 ——— pediformis, C. A. M.  
 ——— heterostachya, Bge.  
 ——— Japonica, Thub.  
 ——— falcata, Turcz.

キツタ(胡瓜)  
 マクハウリ(甜瓜)  
 Cucumis pepo, L.  
 ——— Citrullus, L.  
 ドクゼリ  
 Cornus alba, L.  
 ゴゼンクチバナ  
 ヤハズアザミ(飛廉)  
 Chrysanthemum sibiricum,  
 Fisch.  
 アブラギク  
 Carthamus tinctorius, L.  
 Cnicus Segetum, Maxim.  
 ——— Vlassovianus, Maxim.  
 ——— Japonicus, Maxim.  
 ——— arvensis, Hoffm.  
 ヤツシロサウ  
 ホタルブクロ  
 Campanula circaeoides, fr.  
 Schmidt.  
 Cynanchum sibiricum, R. Br.  
 ——— roseum, R. Br.  
 Convolvulus acetosaeifolia,  
 Turcz.  
 ——— arvensis, L.  
 ——— Ammanni, Desr.  
 Cuscuta europaea, L.  
 ——— pedicellata, Led.

Evodia Daniellii, Hemsl.  
 シロバナノヘビイチゴ  
 ヘビイチゴ  
 附 トネリコ(櫻)  
 録 ヤチダモ  
 Fraxinus chinensis, Roxb.  
 Funkia ovata, Spreng.  
 Festuca fluitans, L.  
 フタ(草綿)  
 カンザウ(甘草)  
 Glycyrrhiza ecbinata, L.  
 — pallidiflora, Maxim.  
 オホダイコンサウ  
 Gnaphalium uliginosum, L.  
 センボンヤリ(大丁草)  
 ハルリンドウ  
 エゾリンドウ  
 Gentiana dentosa, Rottb.  
 — Var. fortunei, Maxim.  
 — Jamesii, Hemsl.  
 オギマリンドウ  
 キバナノアマナ  
 Gypsophila Oldhamiana, Miq.  
 ヤムグル(猪殃々)  
 ホンバノキヌクサウ  
 ミヤマムグラ  
 キバナノカハラマツバ(蓬子菜)  
 オホバノヤムグル

六百八十九

Eleutherococcus centicosus,  
 Maxim.  
 ヒメムカシヨモギ  
 Erigeron alpinus, L.  
 ムカシヨモギ(飛蓬)  
 Eritrichium pedunculatum, A.  
 DC.  
 — obovatum, DC.  
 — myosotideum,  
 Maxim.  
 — radicans, A. DC.  
 — pectinatum, DC.  
 Eriophorum latifolium, Hoppe.  
 Elymus sibiricus, L.  
 テンキ  
 カゼクサ(知風草)  
 ニハホコリ(畫眉草)  
 トクサ(木賊)  
 スギナ(間荆)  
 イヌスギナ  
 Equisetum sylvaticum, L.  
 Erodium Stephanianum, Willd.  
 ヒゴタイ(平江帶)  
 コゴメグサ  
 ナギナタカウジユ(香薷)  
 ナルコビエ  
 Eurotia ceratoides, C. A. Mey.  
 エゾスバシロ

ススビトバギ(山菜豆)  
 Dryas octopetala, L.  
 Diarthron linifolium, Turcz.  
 — vesiculosum, Fisch.  
 et Mey.  
 Eranthis stellata, Maxim.  
 イカリサウ(淫羊藿)  
 Evonymus Bungeanus, Maxim.  
 — Thunbergianus, Bl.  
 — europoens, l. var.  
 maackii, Rupr.  
 — pauciflorus, Maxim.  
 Exochorda serratifolia, S. Moore.  
 Eupatorium cannabinum, L.  
 — lendleyanum, D. C.  
 Echinosperrnum Inppula, L.  
 — anisacanthum,  
 Turcz.  
 — deflexum,  
 lehm.  
 ハギクサウ  
 ニシキサウ(地綿)  
 Euphorbia lunulata, Bge.  
 — pallasii, Turcz.  
 タカトウダイ(大戟)  
 マワウ(麻黄)  
 ヤナギサウ  
 Epilobium rosum, Schreb.

— spinosa, L.  
 Conopodium Cyminum, Benth,  
 et Hook. f.  
 ミヤマヤブタバコ  
 ケマンサウ(荷包牡丹)  
 ハナハタザホ  
 Dentostemon hispidus, Maxim.  
 — micranthus,  
 C. A. M.  
 — integrifolius,  
 ledb.  
 ハクセン(白鮮)  
 ニンジン(胡蘿蔔)  
 ニシキウツギ  
 テウセンアサガホ(曼陀羅花)  
 Dracocephalum sinense, S.  
 Moore.  
 — Moldavica, L.  
 Delphinium grandiflorum, D. C.  
 イヌナヅナ(葶藶)  
 Deutzia parviflora, Bge.  
 — grandavica, L.  
 キクバドコロ  
 チゴユリ  
 Davallia Wilfordii, Baker.  
 セキチク(石竹)  
 ナデシコ(瞿麥)  
 フデカンザウ

常  
録

六百八十八

チムロブシダマ  
*Lonicera Maackii*, Maxim.  
 Lappa Major, Guss.  
 附 ヤクシノウ(苦蕒菜)  
 録 アキノノゲシ(山苦蕒)  
 タカサゴサウ  
 エゾムラサキニガナ  
 ハマニガナ  
*Lactuca tatarica*, C. A. M.  
 — *sativa*, L.  
 — *amurensis*, Rgl.  
 サハギキヤウ(山梗菜)  
 イソツツジ  
*Lysimachia davurica*, led.  
 — *pentapetala*, Bge.  
 — *thyrsiflora*, L.  
 トラノキ(珍珠菜)  
 クサレダマ  
*Lysimachia lineariloba*, Hook  
 et Arn.  
 メハジキ(菟藪、益母草)  
 キセワタ(嬰菜)  
 カハミドリ(排草香)  
 イヌシロ子  
 シロ子  
 フドリコサウ(野芝麻)  
 マルバタウキ  
 アゼナ

六百九十一

トシヨウ(杜松)  
*Juncus acutiflorus*, Ehrh.  
 井(燈心草)  
 ヒメカウガイゼキシヤウ  
*Krascheninnikovia rupestris*,  
 Turcz.  
 ————— *sylvatica*,  
 Maxim.  
 ハハキギ(地膚)  
 ミノボロ  
*Leontice microrrhyncha*, S.  
 Moore.  
*Lepidium latifolium*, L.  
 — *ruderale*, L.  
 ヘウタン(蒲盧)  
*Libanotis sibirica*, Turcz.  
*Lloydia triflora*, Baker.  
*Lemna gibba*, L.  
 ヒンジモ(品藻)  
*Lychnis laciniata*, Maxim.  
 エゾエンピセンヲウ  
 ガンビ(剪夏羅)  
 エンピセンヲウ  
 エゾアリドホシ  
*Lonicera Ruprechtiana*, Rgl.  
 — *microphylla*, Willd.  
 スヒカヅカ(忍冬)  
 ペニバナヘウタンボク

トモエクサ(巴草)  
*Hypericum perforatum*, L.  
 タテヤマワウギ  
 ハナイカリ  
 ワウゴンサウ  
 キバナノハダザホ  
*Iris Rossii*, Baker.  
 — *ruthenica*, Ait.  
 アヤメ(溪蓀)  
 ハナアヤメ  
 カキツバタ(燕子花)  
 チヂヤマメ(蠶寶)  
*Iris uniflora*, Pall.  
 シロカチサウ  
 フグルマ(小車、旋覆花)  
 カセンサウ  
 ホソバラグルマ  
*Indigofera macrostachya*, Vent.  
 キツリフチ(水金鳳)  
 ツリフチサウ(野風仙花)  
*Ipomaea sibirica*, Pers.  
 カクカウ(角蒿)  
*Imperata sacchariflora*, Maxim.  
*Jeffersonia dubia*, Benth, et  
 Hook. f.  
 テウチグルミ(山胡桃)  
*Juglans mandschurica*, Maxim.  
 — *stenocarpa*, Maxim.

ダイヅ(黄大豆)  
 ツルマメ  
*Glycine tomentosa*, Benth.  
 イハガ子サウ  
 録 ハクサンフウロ  
*Geranium Thunbergii*, S. et Z.  
 グンナイフウロ  
*Geranium pseudo-sibiricum*,  
 Mey.  
 イチゲフウロ  
 コフウロ  
*Hibiscus cannabinus*, L.  
 ギンセンクワ(野西瓜苗)  
 ヒヨス(菲沃斯)  
*Heterotropa asaroides*, Morr.  
 et Dne.  
*Hemiptelea Davidii*, Planch.  
 ハダカムギ(裸麥)  
*Hordeum mandshuricum*, Rgl.  
 ハナウド  
 ヤナキタンボボ  
*Habenaria linearifolia*, Maxim.  
 — *chlorantha*, Guss.  
 セツタイクワ(金萱)  
 フスレグサ(萱草)  
 ヒメクワンザウ  
*Hemerocallis graminea*, Andr.  
*Heleocharis palustris*, R. Br.

六百九十

Orobus lathyroicea, L.  
 Omphalodes sericea, Maxim.  
 Oryza montana, Lour.  
 附 Oryzococcus palustris, Pers.  
 緑 ハマウツボ(列當)  
 Onoclea germanica, Willd.  
 カウヤワラビ  
 ヤマドリゼンマイ  
 タチカタバミ  
 オホヤマカタバミ  
 ミヤマカタバミ  
 カタバミ(酢漿草)  
 Ostryopsis Davidiana, Dne.  
 Oxytropis hirta, Bge.  
 ヤマシヤクヤク(草芍薬)  
 シヤクヤク(芍薬)  
 ケシ(罌子粟)  
 チシマヒナゲシ  
 Polygala tenuifolia, W.  
 Polygala sibirica, L.  
 Poterium officinale, AGr.  
 — tenuifolium, Franch.  
 Petroselinum sativum, L.  
 シデシヤジン  
 スズサイコ(徐長卿)  
 ヒメミカンサウ  
 ウツボグサ(滁州夏枯草)  
 Pastinaca sativa, L.

六百九十三

Mnium cuspidatum, Schwägr.  
 — ussuriense, Rgl.  
 Marchantia polymorpha, L.  
 フユアフヒ(冬葵)  
 Malva sylvestris, L.  
 — rotundifolia, L.  
 コメツブウマゴヤシ  
 ミヅアフヒ(雨久花)  
 ギンリョウサウ(水昌蘭)  
 Nabalus ochroleucus, Maxim.  
 Nelumbium speciosum, Willd.  
 タバコ(煙草)  
 スサセン(水仙)  
 Nephrodium chinulosum, L.  
 — spinulosum, Desv.  
 — erythrosorum,  
 Hook.  
 — Thelypteris, Desv.  
 ヒメカハホチ  
 Nuphar entemedium, Ledeb.  
 スカシタゴバウ  
 Nasturtium globosum, Turcz.  
 ミヅタガラシ  
 Nepeta lavandulacea, L. f.  
 カキドホシ  
 Nymphaea pygmaea, Ait.  
 — Wenzelii, Maak.  
 Origanum vulgare, L.

Leontopodium sibiricum, Cass.  
 アサザ(蒼朮)  
 Melilotus dentata, W.  
 シナガハハギ  
 Melilotus officinalis, Desr.  
 メグサ(薄荷)  
 Maximowiczia chinensis, Rupr.  
 Marrubium incisum, Benth.  
 タウグハ  
 Melica scabrosa, Trin.  
 コメゴヤ  
 オホツヅラフヂ(漢防已)  
 Matricaria inodora, L.  
 Moneses grandiflora, Salisb.  
 カガイモ(蘿藦)  
 Menyanthes trifoliata, L.  
 Myosotis sylvatica, Hoffm.  
 — alpestris, Schm.  
 — caespitosa, Schlt.  
 エイバブシ  
 チシマルリサウ  
 タチモ  
 トキハススキ  
 アキハゼ  
 Mazus stachidifolius, Maxim.  
 ママコナ  
 ホザキイチエフラン  
 Maianthemum bifolium, DC.

グイマツ  
 スゲユリ  
 ヒメユリ(山丹)  
 クルマユリ  
 アカヒメユリ  
 タケシマユリ  
 エゾスカシユリ  
 オニユリ(卷丹)  
 スズメノヒエ  
 ミヤマヒカゲカヅラ  
 Lycopodium obscurum, L.  
 スギカヅラ  
 ヒカゲノカヅラ(石松)  
 アスヒカヅラ  
 Lathyrus vernus, Wimm.  
 — subrotundus, Maxim.  
 — linearifolius, Ser.  
 — myrtifolius, A. Gr.  
 レンリサウ(山豆)  
 イタチササグ(苳苳决明)  
 ハマエンドウ(野豌豆)  
 Lathyrus humilis, Fisch.  
 ハギ(胡枝子)  
 メドハギ  
 Lespedeza juncen, Pers.  
 ヤハズサウ(鸚眼草)  
 イヌハギ  
 マツバナデシコ

附  
緑

六百九十二

ヤマナラシ  
 ハクヤウ(白楊)  
 アマドコロ(萎蕤)  
 附 Polygonatum verticillatum, All.  
 緑 クルマバツクバネサウ  
 フヒルムシロ  
 キタヨシ  
 フサビエ  
 Panicum glabrum, Gaud.  
 ——— mandshuricum,  
 Maxim.  
 キビ(稷)  
 ノビエ(稗)  
 Panicum italicum, L.  
 クサヨシ  
 ミヤマアハガヘリ  
 ソモンモ  
 ナガハグサ  
 Polypodium phegopteris, L.  
 ——— Dryopteris, L.  
 ヒトツバ(石葦)  
 Polypodium lineare, Thunb.  
 スベリヒユ(馬齒莧)  
 サバシラン(扯根菜)  
 コケミヅ  
 ミヅ  
 ヒカゲミヅ  
 Phlomis mongolica, Turcz.

——— serra, Maxim.  
 ——— Websteri, Hemsl.  
 アキノウナギヅル  
 ミゾソバ  
 スカボクデ  
 オホイヌタデ  
 ソバカヅラ  
 ニハヤナギ(篇蓄)  
 イブキトラノヲ(拳參)  
 ムカゴトラノヲ  
 オホケタデ(葎草)  
 Polygonum sibiricum, Maxim.  
 ——— alpinum, All.  
 ——— dissitiflorum,  
 Hemsl.  
 コバノイハタデ  
 Polygonum fagopyrum, L.  
 ポントクタデ  
 シロタデ  
 ウナギヅル(雀翹)  
 Polygonum tinctorium, Lour.  
 ニホヒタデ  
 キハダ(黄蘗)  
 Pinus mandshurica, Rupr.  
 ——— massoniana, Lamb.  
 ——— sylvestris, L.  
 ——— Cembra, L.  
 コトウ(胡桐)

ミヤマザクラ  
 エゾウハミヅ  
 ニハウメ(郁李)  
 ヤマザクラ(櫻桃)  
 ミザクラ  
 ウメバチサウ  
 バイクワウツギ(山梅花)  
 Philadelphus v. pekinensis,  
 Maxim.  
 ——— v. tenuifolius,  
 Maxim.  
 オニサカモチ  
 カウツリナ(毛茛菜)  
 Pyrola rotundifolia, L.  
 ——— renifolia, Maxim.  
 サクラサウ  
 Primula nivalis, Pall.  
 ハナシノブ(花葱)  
 ハヘドクサウ  
 シホガマギク  
 Pedicularis spicata, Pall.  
 ——— striata, Pall.  
 ツクシシホガマ  
 Pedicularis verticillata, L.  
 ——— sceptrum, L.  
 Placanthus excisus, Maxim.  
 ——— glaucocalyx,  
 Maxim.

セイヤウニンジン  
 ウコギ  
 キキヤウ(桔梗)  
 タウオホバコ  
 附 Plantago depressa, Willd.  
 緑 ——— media, L.  
 Pteris aquilina, L.  
 Pyrus communis, L.  
 ——— sinensis, Lindl.  
 ——— baccata, L.  
 ——— spectabilis, Ait.  
 ——— ussuriensis, Maxim.  
 カハラザイコ(委陵菜)  
 キンロウバイ  
 キジムシロ  
 ミツモト(狼牙)  
 ヒロハノカハラザイコ  
 ツチグリ(翻白草)  
 Potentilla flagellaris, Willd.  
 チシマキンバイ  
 ヒメヘビイチゴ  
 Potentilla grandiflora, L.  
 フヘビイチゴ  
 Potentilla reptans, L.  
 ——— Sanguisorba, Willd.  
 ——— sericea, L.  
 アンズ(杏)  
 ミヤマイヌザクラ

マルバノホロシ  
 ナスビ(茄)  
*Solanum lycopersicum*, L.  
 附 録 ジャガタライモ(馬鈴薯)  
 タムラサウ  
 ハウレンサウ(蒨葎)  
*Securinega ramiflora*, Muel.  
*Sorghum saccharatum*, W.  
 — *vulgare* (*Holcus*  
*Sorghum*.) W.  
 マルバシモツケ  
 ホザキシモツケ  
*Spiraea angustiloba*, Turcz.  
 — *digitata*, Willd.  
 — *sorbifolia*, L.  
*Saxifraga Rossii*, Oliv.  
 — *stellaris*, L.  
 — *tabularis*, Hemsl.  
 — *rotundifolia*, L.  
 ヤマベンケイサウ  
 イハベンケイ  
 キリンサウ(葎菜)  
 ホソバノキリンサウ  
*Stenocoelium divaricatum*,  
 Turcz.  
*Sanicula rubriflora*, f. Schmidt.  
 ニハトコ(接骨木)  
*Scabiosa fischeri*, DC.

六百九十七

スカンボ(酸模)  
*Rumex crispus*, L.  
 — *obtusifolius*, L.  
 マダイヲウ(土大黄)  
*Sorbus Aneuraria*, L.  
 — *sambucifolia*, Schdt.  
 — *alnifolia*, C. Koch.  
*Senecillis Schmidtii*, Maxim.  
 センブリ  
*Stylophorum japonicum*, Miq.  
 ウシハコベ  
*Stellaria dichotoma*, L. var.  
*Bungeana*, Bge.  
 — *rhaplanorrhiza*,  
 Hemsl.  
 ミヤハコベ  
 ハコベ(繁縷)  
 エゾオホヤマハコベ  
*Stellaria borealis* Big. var.  
*corollina* fzl.  
 — *Crassifolia*, Ehrh.  
 イハツメクサ  
*Stellaria longifolia*, Mühlbg.  
 — *petraea*, Bge.  
 ハチヂヤウナ  
 ゴマ(胡麻)  
 イヌホソツキ  
*Solanum septemlobum*, Bge.

タカキバラ  
 ノイバラ(野薔薇)  
*Rosa xanthina*, Lindl.  
 — *pimpinellifolia*, L.  
 — *maximowicziana*, Rgl.  
 ハマナス(玫瑰)  
 マルスグリ  
*Ribes multiflorum*, K. A., var.  
*mandshuricum*, Maxim.  
 エゾスグリ  
 ザリコミ  
*Ribes burejense*, f. Schmidt.  
 — *Dikuscha*, Fisch.  
 — *procumbens*, Pall.  
 — *fragrans*, Pall.  
 — *horridum* L. v.  
*subglandulosum*, Maxim.  
 チシマスグリ  
*Ribes Dincanthu*, Pall.  
 アカネ(茜草)  
*Rubia tatarica*, var. *grandis*, f.  
 Schmidt.  
*Rhododendron dahuricum*, L.  
 キバツシヤクナゲ  
 クロフネツツジ  
*Rhododendron micranthum*,  
 Turcz.  
 ヒメスイバ

ホソツキ(酸漿)  
*Prenanthes Tatarinowii*, Maxim.  
 ヤマニンジン(石防風)  
*Patrinia heterophylla*, Bge. 附 録  
 フミナヘシ(女郎花)  
*Patrinia rupestris*, Juss.  
 コシホガマ  
 ヤマゴバウ(商陸)  
*Quercus obovata*, Bge.  
 — *chinensis*, Bge.  
 — *mongolica*, Fisch.  
 ダイコン(大根)  
*Rhamnus davuricus*, Pall.  
*Ricinus communis*, L.  
 バイクリモ  
*Ranunculus auricomus*, L.  
 タガラシ(石龍苣)  
 ハヒキンボウケ  
 キツネノボタン(回回蒜)  
*Ranunculus acris*, L.  
 サンザシバノイチゴ  
 ナハシロイチゴ(藤田蓂)  
 チシマイチゴ  
*Rubus saxatilis*, L.  
 — *humulifolius*, C. A. M.  
 ホロムイチゴ  
 エゾイチゴ  
*Rosa davurica*, Pall.

六百九十六

ゴマノハグサ(玄參)  
ツメクサ(漆姑草)  
グンバイウチワ(遏藍菜)  
ハマビシ(菝葜)  
Tragopogon pratensis, L.  
Trigonotis peduncularis, Benth.  
カナビキサウ  
Tovaria japonica, Baker.  
— Rossii, Baker.  
シバナ  
コマギ  
ミヤマカラマツ  
カラマツサウ  
ノカラマツ  
アキカラマツ  
Thalictrum angustifolium, L.  
イブキサンプイサウ  
タンポポ(蒲公英)  
ツマトリサウ  
Taxus baccata, L.  
キヌガササウ  
ガマ(香蒲)  
シナノキ  
Tilia mandshurica, Rupr.  
シヤヂクサウ  
Tanacetum sibiricum, L.  
— pallasianum Trautv,  
et Mey.

サンカク#(蘆草)  
エノコログサ(狗尾草)  
キンエノコロ  
オホアブラスキ  
クモノスシダ  
イハヒバ(卷柏)  
ウスベニワレモカウ  
Silene tenuis, Willd.  
— aprica, Turcz.  
— inflata, Sm.  
— repens, Patr.  
— olgae, Rohrb.  
Statice bicolor, Rge.  
— franchetii, Deb.  
— aurea, L.  
— sinensis, Gerard.  
ヲカヒジキ  
Salsoda collina, Pall.  
チヂバナ(経草)  
Stipa sibirica, Lam.  
サンセツモ(槐葉類)  
バウフウ(防風)  
マツナ  
Symbrium Sophia, L.  
Scrophularia amgunensis, f.  
Schmidt.  
— mandshurica,  
Maxim.

— macrosperma, Turcz.  
ハシド!  
ムラサキハシド(紫丁香花)  
Syringa oblata, Lindl.  
クララ(苦參)  
Schizocodon rotundifolius,  
Maxim.  
ヒキヨモギ(鬼麻油)  
Stachys palustris, L.  
イヌゴマ  
イヨロギダマシ  
Scutellaria viscidula, Bge.  
ヒメナミキ  
Scutellaria macrantha, Fisch.  
タツナミサウ  
Salix myrtilloides, Vill.  
タニガハヤナギ  
サルヤナギ  
エソヤナギ  
シダレヤナギ(柳)  
キヌヤナギ  
シホデ(牛尾菜)  
ユキザサ(鹿藥)  
ヒメカガラ  
クラ#(慈姑)  
シロガヤ  
Scirpus sylvaticus, L.  
— radicans, Schk.

メナモミ(猫蒨)  
キラン  
Senecio acontifolius, Turcz.  
— farfaraefolius, Maxim. 附  
— knempferi, DC. 録  
コウリンクリ  
Senecio otophorus, Maxim.  
— palustris, DC.  
— lugens, Richards.  
— frigidus, Less.  
エゾヲグルマ  
Senecio caltaefolius, Maxim.  
ハンゴンサウ(劉奇奴)  
ヤマタバコ  
Senecis argunensis, Turcz.  
サハラグルマ(狗舌草)  
タムラサウ  
Serratula atriplicifolia, Benth,  
et Hook.  
— centanroides, L.  
ヒメヒゴタイ  
キクアザミ  
キツチアザミ(泥湖菜)  
Saussurea crassifolia, DC.  
— eriolepis, Bge.  
— odontolepis,  
Schultz-Bip.  
Scorzonera ractinta, Fisch.



第三表 動物

附  
録

(A) 満洲ニ棲息スル獸類

歐羅巴  
北極地方  
本部  
西比利亞  
本部  
蒙古及後貝加爾  
東支那  
日本朝鮮  
沿海州  
アムール

食肉獸		
Ursus uretos.	アカグマ	++ +2+3+ ++
" tibetanus.	全上ノ一種	+++ - - - -
Meles Taxus.	アナグマノ一種	+++ +3+ - +
Mustela zibellina.	テンノ一種	++ +2+3+ - -
" sibirica.	全上	++ - +3+ - -
" erminea.	全上	++ - +3+ ++
" vulgaris.	全上	+++ - - - -
" flavigula.	全上	
" alpina.	全上	+ - + + - - -
" putorius.	全上	+ - + + + - +
Lutra vulgaris.	カハナツ	+++ +3+ ++
Canis lupus.	オホカミノ一種	+++ + + + +
" alpinus.	全上	+++ +2+3+ - -
" vulpes.	キツネノ一種	+++ + + + +
" procyonoides.	タヌキ	+++ - - - -
嚙齒類		
Spermophilus Eversmanni.	×	+ - +1+3+ - -
Mus decumanus.	ネズミ	+++ + + + +

七  
百  
一

コケモモ(越橘)  
クサタチバナ  
Vincetoxicum volubile, Maxim.  
----- mandshuricum,  
Hance.

フナバラサウ(白薇)  
Veronica alpina, l.  
ルリトラノヲ(兎兒尾苗)  
ヒメトラノヲ  
ヤマトラノヲ  
ナンテンハギ  
ツルフヂバカマ  
Vicia tridentata, Bge.

クサフヂ  
サルプトハギ  
ヒロハノエビラフヂ  
オホバクサフヂ  
Vandellia prostrata, Hemsl.  
ハマグルマ  
フクロシダ  
イハデング

Woodsia ilveensis, R. Br.  
----- Hancockii, Baker.  
----- subcordata, Turcz.

エゾキンバイ  
Wahlenbergia homallanthinum,  
A. DC.  
ヲナモミ(葉耳)  
シユ(刺楡)  
イヌザンセウ(艇椒)

イブキシヤカウサウ  
スナビキサウ  
Triosteum sinuatum, Maxim.  
Ulmus macrocarpa Hance. 附  
コブニレ  
Ulmus pumila, l. 録  
Uirricularia intermedia, Hayne.  
ホソバイラクサ  
Urtica caunabina, l.  
Vitis amurensis, Rupr.  
----- heterophylla, Thunb.  
----- serjaneifolia, Maxim.

ブダウ  
Viburnum davuricum, Pall.  
カンボク  
Viburnum burejanum, Herd.  
カノコサウ(續草)  
キスミレ  
シロバナスミレ  
タチツボスミレ  
アフヒスミレ

Viola hirtipes, S. Moore.  
エゾスミレ(胡蘆草)  
ナガバスミレ  
Viola Rossii, Hemsl.  
イチゲスミレ  
エゾタチツボスミレ  
ミヤマスミレ  
サチプトナツメ  
タウモロコシ(玉蜀黍)

七  
百

Chiroptera. 蝙蝠類

<i>Vesperugo mustelinus.</i>	カホリノ一種	+ + + +3+ - +
" <i>Daubentonii</i>	全上	+ + - + + - -
" <i>borealis.</i>	全上	+ + - +3+ - -
<i>Plecotus auritus.</i>	ウサギカホリ	+ + + + + - +

Glires. 啮齒類

<i>Pteromys volans.</i>	ムサビノ一種	+ + +2+3+ - -
<i>Sciurus vulgaris.</i>	リス	+ + +2+3+ - +
<i>Tamias striatus.</i>	トラフチズミ	+ + +2+3+ - +
" <i>Elaphus.</i>	ザウノ一種	+ + +2+3+ - +
" <i>Dybowskii.</i>	x	- + +2- - - -
" <i>Tarandus.</i>	シユンロク	+ - - +3+ + +
" <i>alces.</i>	全上ノ一種	+ + - +3+ + +
<i>Ovis sp.</i>	ヒツジノ一種	- + +2+ - - - ?

統計五十五種中生息セル總數 50 43 38 38 37 15 27

(備考) (+)ハ其地方ニ生存スルモノニシテ(-)ハ生存セザルモノナリ  
 (1) ナ附セルハ一千八百九十一年直隸省ニテ発見セラルタルモノ  
 (2) ナ附セルハ只朝鮮ニノミ産シ(3) ナ附セルハ唯後貝加爾州ニノミ産ス(x)ハ未ダ日本名ナキモノ

(B) 滿洲ニ棲息スル鳥類

Rapaces. 猛禽類

<i>Gypfetus barbatus, L.</i>	ワシノ一種	+ + + + + - -
<i>Aquila chrysaetos, L.</i>	イヌワシ	+ + + + + - +
" <i>nobilis, Pall.</i>	ワシノ一種	+ + + + + - +

アムール州 沿海州 東支那 東部蒙古 東部比利亞 北極地方 歐羅巴

" <i>muiculus.</i>	チズミノ一種	+ + + + + + +
" <i>sylvaticus.</i>	全上	- ? - +3+ - +
<i>Arvicola amphibius.</i>	x	+ + - - + + +
" <i>rufocanus.</i>	x	+ - - - + - -
" <i>rutilus.</i>	x	+ + - - + - -
<i>Siphnens aspalax.</i>	x	+ - +1+ - - -
<i>Lepus variabilis.</i>	シロウサギ	+ + - +3+ + +
" <i>mandshuriensis.</i>	ウサギノ一種	+ ? - - - - -
" <i>Tohri.</i>	全上	? + + + - - -
<i>Lagopus hyperborens.</i>	ワイテウノ一種	+ + - - + + -
" <i>alpinus.</i>	全上	+ - - +3- - -

Pachydermata 厚皮類

<i>Sus scrofa ferus.</i>	非ノシ、	+ + + +3+ - +
--------------------------	------	---------------

Ruminantia 反芻類

<i>Antelope crispus.</i>	カモシカ	+ - + - - - -
" <i>guterosa.</i>	全上ノ一種	- - -1+ - - -
<i>Moschus moschiferus.</i>	シヤカウシカ	+ + + +3+ - -
<i>Cervus capreolus.</i>	シカノ一種	+ + + +3+ - +
<i>Felis lynx.</i>	ヤマトコノ一種	+ + + + + + +
" <i>tigris.</i>	トラ	+ + +2- - - -
" <i>Irbitis.</i>	ヤマトコノ一種	+ + + - - - -
" <i>ouptilum.</i>	全上	+ - + - - - -
" <i>caurus.</i>	全上	+ + + +3+ - +

食 蟲 類

<i>Triuncus europaeus.</i>	ハリチズミ	+ + + - - - +
<i>Palpa vogura.</i>	ムケラ	+ + + - - - -
<i>Mogera robusta.</i>	全上ノ一種	- + + - - - -
<i>Sorex vulgaris.</i>	チズミノ一種	+ + + + + + +
" <i>pygmaeus.</i>	全上	+ + - - + - +

<i>Coprimulgus iotaka</i> , Temm.	ヨダカ	+	+	+	-	-	-
<i>Cypselus pacificus</i> , Lath.	ナイリツバメ	+	+	+	+	-	-
<i>Chnetura caudata</i> , Lath.	アマツバメ	+	+	+	+	+	-
<i>Hirundo rustica gutturalis</i> , Scop.	ツバメ	+	+	+	+	+	+
<i>Cecropis daurica</i> , L.	×	+	+	+	+	+	-
<i>Chelidon rubra lagopoda</i> .	イバツバメノ一種	+	+	+	+	+	-
<i>Colyle riparia</i> , Briss.	スナムグアリツバメ	+	+	+	+	+	+
<i>riparia sinensis</i> , Tacz.	全上ノ一種	-	+	+	-	-	-
<i>Eurystomus orientalis</i> , Sw.	ブツボクソウ	-	+	+	-	-	-
<i>Entomobia pileata</i> , Cnb.	×	-	+	+	-	-	-
<i>Alcedo ispida bengalensis</i> , Briss.	カハセミ	+	+	+	+	-	-
<i>Upupa epops</i> , L.	ヤツガシラ	+	+	+	+	+	+
<i>Zosterops erythropleura</i> , Swinh.	オウセンメシロ	+	+	+	-	-	-
<i>Sitta europaea amurensis</i> .	キマツリノ一種	+	+	+	-	-	-
<i>Certhia familiaris</i> , L.	キバシリ	+	+	+	+	+	+
<i>Troglodytes fumigatus dauricus</i> .	ミツサバ	+	+	-	-	-	-
<i>Cinclus leucogaster</i> , Gylb.	カハガラスノ一種	+	+	-	+	+	-
<i>Pallasii</i> , Temm.	カハガラス	+	+	-	-	-	-
<i>Accentor montanellus</i> , Pall.	イハヒバリノ一種	+	+	-	+	+	-
<i>Collariserythropygus</i> , Sw.	全上	+	+	+	+	-	-
<i>Horornis squamiceps</i> , Swinh.	×	+	+	+	-	-	-
<i>Arundinax neslon</i> , Pall.	×	+	+	+	+	-	-
<i>Calamoherpe turdoides orientalis</i> , Br.	×	+	+	+	+	-	-
<i>Mauckii</i> , Schr.	×	+	+	+	+	-	-
<i>Calamodyta certhiola</i> , Pall.	×	+	+	+	+	+	-
<i>Loeustella fasciolata</i> , Blyth.	シマモンニコクノ一種	-	+	+	-	+	-
<i>Phylloscopus borealis</i> , Blusius.	×	+	+	+	+	+	-
<i>plumbeitarsus</i> , Sm.	×	-	+	+	-	-	-
<i>coronata</i> , Temm.	×	+	+	+	+	+	+
<i>supercilliosa</i> , Gm.	×	+	+	+	+	+	-
<i>proregulus</i> , Pall.	×	+	+	+	+	+	-
<i>Luscinola fusca</i> , Blyth.	オホセツカノ一種	+	+	+	+	+	+
<i>Turdus fusentus</i> , Pall.	ツグミ	+	+	+	+	+	-

<i>amurensis</i> , Swinh.	全上	+	+	+	+	-	-	+
<i>clanga</i> , Pall.	全上	+	+	+	+	+	-	+
<i>Haliaeetus albicilla</i> , Briss.	ナシロウシ	+	+	+	+	+	+	+
<i>pelagiensis</i> , Kaup.	オホウシ	-	+	+	-	-	+	-
<i>Milvus melanotis</i> , Temm.	トビ	+	+	+	+	+	-	-
<i>Pernis apivorus orientalis</i> , Tacz.	ハチクマ	+	+	+	+	-	-	-
<i>Pandion haliaetus</i> , L.	ミサゴ	+	+	+	+	+	-	+
<i>Archibuteo hemilaisius</i> , Temm.	オホノシリ	+	+	+	+	+	-	-
<i>Buteo indicus</i> (Gm.)	サシバ	+	+	+	+	+	-	-
<i>Falco lomunius</i> , Gm.	ハヤブサノ一種	-	+	+	-	-	-	-
<i>subbuteo</i> , L.	チゴハヤブサ	+	+	+	-	+	-	-
<i>Lithofalco nesalon</i> , Briss.	タカノ一種	+	+	+	+	+	-	-
<i>Erythropus amurensis</i> , Radd.	全上	+	+	+	+	-	-	-
<i>Lerchneis tinnunculus</i> , F.	マクソダカ	+	+	+	+	+	+	+
<i>Astur palumbarius</i> , L.	オホタカ	+	+	+	+	+	-	+
<i>Accipiter nisus</i> , L.	ハイタカ(雌)	+	+	+	+	-	+	+
<i>virgatus</i> , Temm.	コノリ(雄)	+	+	+	+	-	+	+
<i>Circus spilonotus</i> .	全上ノ一種	+	+	+	+	+	-	+
<i>Strigicops cyaneus</i> , L.	チウヒノ一種	-	+	+	+	+	-	-
<i>melanoleucus</i> , Gm.	タカノ一種	+	+	+	+	+	-	+
<i>Surnia ulula</i> , L.	全上	+	+	+	+	-	-	-
<i>Nyctea nivea</i> , Thunb.	フクロノ一種	+	+	+	+	+	+	+
<i>Glaucidium passerinum orientale</i> , Tacz.	シロフクロ	+	+	-	+	+	+	+
<i>Nyctale Tengmalmi</i> , Gm.	フクロノ一種	+	+	-	+	-	-	-
<i>Syrnium lapponicum</i> , Retz.	全上	+	+	-	+	+	-	-
<i>uralense</i> , Pall.	全上	+	+	-	+	+	+	+
<i>Bubo ignavus sibiricum</i> , Schl.	フクロ	+	+	-	+	+	+	+
<i>Blakistoni</i> , Tacz.	ヨシミヅク	+	+	-	+	+	+	+
<i>Scops japonicus</i> , Temm.	シマフクロ	-	+	+	-	-	-	-
<i>Otus vulgaris</i> , Flem.	コノハクク	+	+	+	-	-	-	-
<i>accipitrinus</i> , Pall.	ミヅクノ一種	+	+	+	+	+	-	+
	コミヅク	+	+	+	+	+	+	+
Passeres.	燕雀類							

Regulus cristatus hincilagensis, Ferd.	キクイタマキ	+ + - + - - -
.. cristatus japonicus, Tacz.	キクイタマキ	- + + - - - -
Ampelis garrulus, L.	キレンシヤク	+ + + + + + +
.. japonicus Siebold.	ヒレンシヤク	+ + + - - - -
Oriolus diffusus, Sharpe.	テウセンウグヒス	+ + + + - - -
Pericrocotus cinerius, Lafr.	サンセウクヒ	+ + + - - - -
Bupalis lathrostris, Dyb.	シマモズ	+ + + + + - -
Erythrosteron parva albicilla.	×	+ + + + + - -
Erythrosteron luteola, Pall.	×	+ + + + + - -
Hemichelidon sibirica, Gim.	イハツバメノ一種	+ + + + + - -
Xanthopygia tricolor, Hartl.	キビタキノ一種	+ + + + - - -
Lanius sphenocercus, Cab.	モズノ一種	- + + + - - -
.. major, Pall.	オホモズ	+ + - + + - -
Otomela phoenicea, Pall.	×	+ + + + + - -
.. lucionensis, Sch.	×	- + + - - - -
Perisoreus infaustus sibiricus, Tacz.	×	+ + - + + - -
Garrulus Brandti, Ev.	ミヤマカケス	+ + + - + - -
Cyanopoliis cyaneus, Pall.	チナガドリ	
Pica candata sericea, Gould.	カサハギ	+ + + + + - +
Lycos dauvicius, Pall.	×	+ + + - - - -
Corvus corax sibiricus, Tacz.	ツタリガラス	+ + + + + - -
.. ussuriensis.	ガラスノ一種	+ + + + + + +
.. macrorhynchus japonensis, Tacz.	ハシブトガラス	? + - - - - -
Corvus corone orientalis, Ev.	ハシボツガラス	+ + + - - - -
Nucifraga caryocatactes, L.	ホシガラス	+ + + + + - -
Sturnus cineraceus, Temm.	ムクドリ	+ + + + - - -
Temniuchus nivalis, L.	×	+ + + + - - -
Calcarius lapponicus, L.	×	+ + - + + + +
Emberiza spodocephala, Pall.	ホシシロノ一種	+ + + + + + +
.. elegans, Temm.	ミヤマホシシロ	+ + + - - - -
.. rustica, Pall.	カシラダカ	+ + + + + - +
.. Tristrani, Swinh.	ホシシロノ一種	+ + + - - - -

.. Naumanni, Temm.	ハチシヤウツクミ	+ - + - + - -
.. ruficollis, Pall.	ツクミノ一種	+ - + + + - -
.. obscurus, Gm.	全上	+ + + - - - -
.. pallidus, Gm.	シロハラ	- + + - - - -
Monticola solitaria, Dyb.	イソヒロドリ	- + + - - - -
.. gularis, Swinh.	全上ノ一種	+ + + - - - -
Ruticilla aurorea, Pall.	シヤウビダキ	+ + + + + - -
Erithacus calliope, Pall.	ノゴマ	+ + + - + - +
Larvivora cyane, Swinh.	×	+ + + + + - -
.. sibilans, Swinh.	×	+ + + + - - -
Nemura cyanura, Pall.	×	+ + + + + - +
Sanicola venanthe, L.	×	+ + + + + + +
Pratincola indica, Blyth.	ノビタキノ一種	+ + + + + - -
Motacilla oculus, Swinh.	セキレイノ一種	+ + + + + - -
.. bucoopsis, Gould.	全上	+ + + - - - -
.. lugens, Kittl.	全上	+ + + - - - -
Calobates melanope, Pall.	×	+ + + + + - +
Budytes flava, L.	×	+ + + + + - +
.. citreola, Pall.	×	+ + + + + + +
Limodromus indicus, Gm.	×	+ + + - - - -
Pipastes maculatus, Hodgs.	×	+ + + + + - -
Anthus pensilvanicus, Lath.	タヒバリノ一種	+ + + - + - -
Alauda arvensis japonica, Nik.	ヒバリ	+ + + + + - -
Melanocorypha mongolica, Br.	×	- - + + - - -
Otocorys alpestris, L.	×	+ + + + + + +
Parus major, L.	ヤマカラノ一種	+ + - - + - +
.. minor, Temm.	シバウカラ	+ + + - - - -
.. ater, L.	ヒカラ	+ + + + + - +
Cyanister cyaneus, Pall.	×	+ + - - + - +
Poecila palustris maotrouni, Tacz.	×	+ - - + + - -
.. crassirostris, Tacz.	×	- + + - - - -
Mecistura candata, L.	×	+ + - - + - +
Aegithalus consobrinus, Swin.	×	+ + + - - - -

" minor, Priss.	コアカケラ	+ + - + + +
Picus major, Brisson	アカケラ	+ + - + + +
Vungipicus Seodolmi.	コケラ	- + + - - -
Picoides taidietylus		
crissolentus, Brandt.	ケラノ一種	+ + - + + -
Vuxx torquilla, L.	アリスヒ	+ + + + + -

Columbinae. 鳩 類

Columba rupestris, Pall.	ハトノ一種	+ + + + + -
Turtur ruficollis, Pall.	全上	+ + + + - -
" torquatus, Bogd.	全上	+ + + - - -
" humilis, Temm.	メニバト	+ + + - - -

Gallinaceae. 鶉 類

Totus urogallus, L.	ウイテウノ一種	+ - + + + -
" urogalloides, Midd.	全上	+ + - + + -
Lyrurus tetrax, L.	全上	+ + - - + +
Tetrastes bonasiae, L.	エソウイテウ	+ + + + + +
Perdix barbata, Verr.	x	- - + + - -
Coturnix ussuriensis, Bogd.	ウツラノ一種	+ + - + - -
Phasianus torquatus, Gould.	カウライキツ	+ + + + - -
Hemipodius maculatus, ?	x	- + + - - -

Grallatores 涉 禽 類

Otis Dabrowskii, Tacz.	ノガン	- + + - - -
Grus cinerea, Keys, Blus.	クロヅル	+ - - + + -
Grus monacha, Temm.	ナメヅル	+ + + - - -
" leucuchen, Temm.	マナヅル	+ + + - - -
" Virillirostris, Temm.	ツルノ一種	+ + + - - -
" leucogenus, L.	シロヅル	+ + + + + -
Charadrius fulvus, L.	ムナグロシギ	+ + + + + +
Aegialites mongola, Pall.	メダイチドリ	+ + + + + -

七百九

fulva, Pall.	ホアカ	+ + + - - -
" coides, Brandt.	ホアカノ一種	+ + + + + -
" coides castaneiceps.	全上	- + + - - -
" leucocephala, Gm.	全上	+ + + + + -
" pusilla, Pall.	全上	+ + + + + -
" Jankovskii, Tacz.	全上	- + + ? ? -
Schoenicola schoeniclus, L.	x	+ + - + + +
Empeza aureola, Pall.	x	+ + + + + +
" rufila, Pall.	x	+ + + + - -
Passer montanus, L.	スバメ	+ + + + + +
Eophona persimilis, Temm.	x	+ + + - - -
" melanura, Gm.	x	- + + - - -
Coccothraustes vulgaris japonicus, Temm.	シメ	+ + + - - -
Chrysomitris spinus, L.	x	+ + + - - -
Fringilla montifringilla, L.	アトリ	+ + + + + -
" harrisi, L.	全上ノ一種	+ + + + + +
" Hornemannii exilipes.	全上ノ一種	+ + + + + +
Prospasser roseus, Pall.	オホマシコ	+ + + + + -
Carpodacus erythrinus, Pall.	全上ノ一種	+ + + + + +
Uragus sibiricus, Pall.	ベニマシコノ一種	+ + + + + -
" sanguinolentus, Temm.	ベニマシコ	- + + - - -
Loxia curvirostris, L.	イスカノ一種	+ + + + + -
Pyrrhula rubecula, Schaff.	テリウツノ一種	+ + - - + -
" rosacea, Seeb.	テリウツ	+ + + - - -

附録

Scansores 攀 木 類

Cuculus canorus borealis, Pall.	カツコウドリ	+ + + + + -
" striatus, Drap.	全上ノ一種	+ + + + + -
Hierococcyx spavertoides, Vig.		+ + + - - -
Cecinus canus, Gm.	ヤマゲラ	+ + + - - -
Dryopicus martius, L.	クマゲラ	+ + + + + -
Picus leucocatus, Bechst.	コノアカケラ	+ + + - + -

七百八

Botaurus stellaris, L.	サンカノヅキ	+ + - + + - +
Rallus aquaticus indiens.	クヒナ	+ + + + - - -
Rallina mandarina Swinh.	クヒナノ一種	+ + + - - - -
Porzana pusilla, Pall.	ヒクヒナノ一種	+ + + + + - +
Fulica atra, L.	オホバン	+ - - + + + +
Nataiores. 水 禽 類		
Sterna caspia, Pall.	アジサシノ一種	+ + + - - - +
„ cantschatica, Pall.	全 上	+ + + + + - -
Sternula sinensis, Gm.	アジサシ	+ + + - - - -
Hydrochelidon fissipes, Pall.	×	+ + + + + - +
Larus cachinnans, Pall.	セグロカモメ	+ + + + + - +
„ canus niveus, Pall.	カモメ	+ + + + + + +
„ crassirostris.	ウミ子コ	- + + - - - -
Chroicocephalus ridibundus, L.	ユリカモメ	+ + + + + - +
Phalacrocorax carbo, L.	ウ	+ + + + + - +
„ capillatus.	シマツ	- + + - - - -
Anser albifrons Gumbeli.	マガン	+ + + + + - +
„ erythropus, L.	コカリガ子	+ + + + + + +
„ segetum, Gm.	ヒシクヒ	+ + + + + + +
„ segetum Meddenendorffii.	全上ノ一種	+ + - + + + -
Cygnopsis cygnoides, Pall.	ハクテウノ一種	+ + + + + - -
Cygnus ferus, Ray.	全 上	+ + + + + + +
„ minor, Pall.	全 上	+ + + + + + +
Casarca rutila, Pall.	×	- - + + - - -
Vulpanser taberna, L.	×	- - + + - - -
Aix galericulata, L.	ナシドリ	+ + + - - - -
Anas boschas, L.	マガモ	+ + + + + + +
„ zonorhyncha, Swinh.	カルガモ	+ + + + - - -
„ falata, Georgi.	ヨシガモ	+ + + + + - +
„ formosa, Georgi.	アジガモ	+ + + + + - -
„ crecca, L.	コガモ	+ + + + + + +
„ querquedula, Briss.	コガモ	+ + + + + - +

„ minor, Wolf.	全上ノ一種	+ + + + + - +
Squatarola helvetica, Briss.	ダイセン	+ + + + + + +
Vanellus cristatus, Volf.	タゲリ	+ + + + + + +
Haematopus ostralegus ostenhans.	ミヤコドリ	+ + + - - - -
Terekia cinerea, Gld.	ナドリノ一種	+ + + + + + +
Totanus glottis, L.	アサアシ、ギ	+ + + + + + +
„ fuscus, Briss.	ツルシギ	+ + + + + - -
„ ochropus, L.	クサシギ	+ + + + + + +
„ ghreola, L.	タカアシギ	+ + + + + + +
Actitis hypoleucos, L.	シギノ一種	+ + + + + + +
Tringa alpina pacifica.	ハマシギ	+ + + + + - -
„ subminuta, Midd.	ヒベリシギ	+ + + + + - -
„ Temmenseki, Seist.	シギノ一種	+ + + + + + +
„ minuta orientalis, Tacz.	トウテン	+ + + + + + +
Peledna subarquata, Guld.	×	+ + + + + + +
Limosa melanura brevipes.	チクロシギ	+ + + + + - -
„ lapponica Baveri, St.	全上ノ一種	- + + + + - -
Numenius cyanopus, Vieill.	ホウロクシギ	+ + - + + - -
Scelopax rusticola, L.	ホトシギ又	+ + + + + + +
„ maior, L.	ヤマシギ	+ + + + + + +
Gallinago hyemalis, Ev.	全上ノ一種	+ + + + + - -
„ megalis, Swing.	アジギノ一種	+ + + + + - -
„ stenura, Kuhl.	全 上	+ + - + + - -
„ scolopacia, Bp.	全 上	+ + + + + - -
Nipponia nippon, Temm.	アジギ	+ + + + + + +
Platula major, Temm.	トキ	+ + + - - - -
Ciconia boyciana, Swing.	ヘラサギ	+ + + + - - -
„ nigra, Belon.	コウノドリ	+ + + - - - -
Egretta alba, L.	クロコウゾル	+ + + + + - +
Egretta alba modesta, Tacz.	ダイサギ	+ + + + - - -
Ardea cinerea, L.	コモ、ジロ	- + + - - - -
Butorides javanicus amurensis.	アササギ	+ + + + + - +
Ardeletta eurhythma, Swith.	ウシマツドリ	+ + + - - - -
	ノ一種	+ + + - - - -
	ロシゴ井	+ + + + - - -

(A) 軍政 第四表 政治機關

附 録	一 盛京省	滿洲ニ於ケル主要ナル軍政 廳及其直轄官衙 (千八百九十五年)																
		一 將軍衙門	二 副都統衙門	三 錦州廳衙門	四 興京廳衙門	五 金州府衙門	六 五部ノ衙門	七 戸部衙門	八 禮部衙門	九 兵部衙門	十 刑部衙門	十一 工部衙門	十二 吏部衙門	十三 兵部衙門	十四 刑部衙門	十五 工部衙門	十六 吏部衙門	十七 兵部衙門
		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
		二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
		三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
		四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
		五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
		六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
		七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
		八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
		九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
		十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
		十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
		十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二
		十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三
		十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四
		十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五
		十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
		十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七
		總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計	總 計

... nenta, L.	サナガハモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Spatula clypeata, Briss.	ハシビロガモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Mareca penelope, L.	ヒドリガモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Fulix cristata.	キンクロハジロ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
.. Bueri, Radde.	全上ノ一種	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Glaucion clangula, L.	ホシジロガモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Cosmonetta histrionica, L.	シノリガモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Oidemia Stejegeri, Ridgw.	クロガモノ一種	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Mergus merganser, Briss.	アイサノ一種	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
.. serrator, L.	ウミアイサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
.. albellus, L.	ヨコアイサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Toxiceps auritus, L.	カイツブリノ一種	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
Colymbus arcticus, L.	オホハム	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
.. lumme, Gm.	全上ノ一種	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

總計二百六十八種中 238 239 230 194 173 70 111

備考 (+)ハ其地方ニ生存スルモノ (-)ハ生存セザルモノナリ又 (1)ハ後頁加附ニ限ル(×)ハ日本名ナキモノナリ

(二) 吉林省	
四	臨站正監督衙門
五	打牲烏拉總管衙門
一	吉林
二	狔古塔
三	伯都訥
四	三姓
五	阿勒楚喀
六	琿春
(三) 黑龍江省	
一	愛琿城
二	根河
三	齊齊哈爾
四	呼蘭城
五	呼倫貝爾城
六	布特哈
官吏ノ總計	
一	
二	
三	
四	
五	
六	
七	
八	
九	
十	
十一	
十二	
十三	
十四	
十五	
十六	
十七	
十八	
十九	
二十	
二十一	
二十二	
二十三	
二十四	
二十五	
二十六	
二十七	
二十八	
二十九	
三十	
三十一	
三十二	
三十三	
三十四	
三十五	
三十六	
三十七	
三十八	
三十九	
四十	
四十一	
四十二	
四十三	
四十四	
四十五	
四十六	
四十七	
四十八	
四十九	
五十	
五十一	
五十二	
五十三	
五十四	
五十五	
五十六	
五十七	
五十八	
五十九	
六十	
六十一	
六十二	
六十三	
六十四	
六十五	
六十六	
六十七	
六十八	
六十九	
七十	
七十一	
七十二	
七十三	
七十四	
七十五	
七十六	
七十七	
七十八	
七十九	
八十	
八十一	
八十二	
八十三	
八十四	
八十五	
八十六	
八十七	
八十八	
八十九	
九十	
九十一	
九十二	
九十三	
九十四	
九十五	
九十六	
九十七	
九十八	
九十九	
一百	
一百一	
一百二	
一百三	
一百四	
一百五	
一百六	
一百七	
一百八	
一百九	
二百	
二百一	
二百二	
二百三	
二百四	
二百五	
二百六	
二百七	
二百八	
二百九	
三百	
三百一	
三百二	
三百三	
三百四	
三百五	
三百六	
三百七	
三百八	
三百九	
四百	
四百一	
四百二	
四百三	
四百四	
四百五	
四百六	
四百七	
四百八	
四百九	
五百	
五百一	
五百二	
五百三	
五百四	
五百五	
五百六	
五百七	
五百八	
五百九	
六百	
六百一	
六百二	
六百三	
六百四	
六百五	
六百六	
六百七	
六百八	
六百九	
七百	
七百一	
七百二	
七百三	
七百四	
七百五	
七百六	
七百七	
七百八	
七百九	
八百	
八百一	
八百二	
八百三	
八百四	
八百五	
八百六	
八百七	
八百八	
八百九	
九百	
九百一	
九百二	
九百三	
九百四	
九百五	
九百六	
九百七	
九百八	
九百九	
一千	

(B) 民政

(一) 吉林省		滿洲ニ於ケル行政區ノ名稱 (千八百九十五年)	
一	奉天府	尹	府
二	承德縣	丞	府
三	新民廳	員	道
四	海龍廳	府	治
五	遼陽州	州	治
六	營口廳	州	同
七	海城縣	治	州
八	蓋平縣	列	縣
九	復州	縣	縣
十	錦州廳	照	府
十一	開原縣	司	府
十二	鐵嶺縣	大	司
十三	金州府	司	府
十四	錦縣	丞	府
十五	義州	目	府
十六	廣寧縣	簿	府
		檢	府
		典	府
		史	府
		官	府
		授	府
		正	府
		教	府
		學	府
		教	府
		訓	府
		導	府
		計	府



(一)	吉林府	伊通州	雙陽縣	伯都訥縣	長春府	農安縣	敦化縣	安東縣	通化縣	懷仁縣
七	錦州府									
六	昌黎縣									
五	懷德縣									
四	奉化縣									
三	麻平縣									
二	鳳凰事理廳									
一	錦州府									
八	石塔子									

(二) 吉林省	(三) 黑龍江省
一	九 敦化縣
二	一 呼蘭事理廳
三	二 綏化事理廳
四	官吏總計

第二十四巡檢中(一)ヲ付セルハ司獄ヲ兼ヌ(二)ヲ付セルハ司獄ヲ兼ヌ(三)ヲ付セルハ典史ヲ兼ヌ

第五表 地理  
(A) 滿洲道路里程表

山海關	奉天	吉林	伯都訥	錦州府	三三五
齊々哈爾	愛琿	薩哈噠	大凌河	三九五	
山海關ヨリ		距離(海里)	秀老堡店	四一三	
前衛			十三山店	四二八	
海拉爾			開陽驛	四六三	
寧海店			孤家店	五一三	
高橋			中安店	五三六	
			小黑山站	五七一	

二道境	六二一	石山子	四三
大白旗	六七一	范家屯	四八
新民廳	七二一	新屯	五〇
馬三家子	八〇一	ユアンジヤウズー	五三
奉天	八四一	鮑家蓮子	五五
奉天ヨリ		ウオヘーツン	五七
張家堡子	六	八里庄	五九
三臺子	八	鐵嶺	六三
大窪	一四	高麗店	六五
二窪	一五	ツイヘーヤン	七〇
三窪	一八	リヤオピヤンタイ	七三
帆船臺	二〇	シヤントウプー	七六
シヤオジャヘーズー	二一	ジュンケー	八〇
ブーヘー	二二	沙河子	八〇
スンウヤウ	二五	チンシユイゴ	八五
ニゴロプー	二八	ガオタイズー	八七
清水臺	三〇	ダースンタイ	八九
ヤオプー	三一	孫家屯	九三
ハンボーリン	三三 1/2	ウリプーズー	九九
懿路	三八	ランシヤツン	一〇〇
サントイズー	四一	パーシユ	一〇二
		ジュンシェ	一〇三 1/4
			一〇五

ヤンシヤゴ	一〇六	火石領子	一七五
マシブー	一一一	ダークーツァズー	一八三
スイウヤウズー	一一二 1/4	耕田車站	一八八
永遠堡	一一六	ラーヤオズー	一九五
シヤーカーズー	一一七	小孤山	二〇〇
ルダオヘーズー	一二〇	シトウヘーズー	二〇五
コウヘー	一二一	ヤンシウヘーズー	二一三
チヤンチエンズー	一二一 3/4	大孤山	二一七
チヤンチエンアン	一二四	カンゴズー	二二三
フアンシールン	一二六	伊通州	二三〇
リヤンウヤセー	一三六	ジュンシヤ站	二三三
孤榆城	一三七	チンユンブー	二三四 1/4
シヤオグイユイブー	一三八	ツーパーダン店	二四一
楊木岑子	一四八	シヤオルンワン廟	二四七
シヤンレンゴズー	一四八 3/4	サンシヤズー	二五五
葉赫店	一五二	シヤオシヤオヘン	二六五
サンダオゴズー	一五六	三道河子	二六八
ヘンダオヘーズー	一五九	ラーヤオズー	二七八
チユアンファンズー	一六〇	チヤンリンズー	二八二
インダクプーシヤン	一六三	葉木店	二九〇
八里堡	一六九	ウリトヘーズー	二九二 1/2
四里堡	一七一	チヤルコー	二九八

三蓋子	三〇六	松花口渡口	二六
二道廟子	三〇八	烏喇嘴	二六
イウーシ	三一四	クーダヤン	三〇
ウヤウヤヘーズ	三一四	ルイシャツン	三〇
チヤンクイズ	三一九	ワンシャツン	三二
シヨウテン店	三二〇	シヤンシャズ	三五
ウーバーズ	三二六	スイウヤズ	四〇
大水河	三二九	シューワンヘイ	四四
小水河	三三五	シヤンニイツン	五一
ノオウヤオーベン	三三八	カユーヘー	五四
老嶺	三四一	白家屯	五九
吉林	三四七	ガンス	六二
吉林ヨリ	三五六	古家子	六三
チヤープイン	四	フアンシヤンズイズ	六八
二道嶺子	四	板橋子	七九
三道嶺子	五	チヤヘーア	八四
古站	八	登額爾鐵庫站	八七
サンシャズ	一〇	登額爾鐵庫站ヨリ	九二
バイズイツン	一四	ガユーヘー	二〇
シヤンツン	一七	メンケール	四五
ヤオツン	一九		

距離(海里)

ウグーシ	五七	博爾杜站	三六〇
クナライ站	一〇二	伊拉哈	四〇八
三家子	一一二	板橋子	四二六
五家站	一五二	盛爾根	四四三
ラーツー屯	一八八	科落爾站	四七八
シイリシユ	二二二	二站	五二八
クアンテイ	二六七	愛華	五七八
伯都訥	三〇七	薩哈隆	六二〇
伯都訥站	三三三		六六〇
松花江渡口	三六七	奉天—營口	
シユイシイメン	三九七	營口ヨリ	
駁心	四四二		
新站	四八七		
新站ヨリ			
古界站	二一	牛家屯	六
温托彈	一四三	クアン屯	七
チーニアンズ	一五三	シユンチヤン	一四
齊々哈爾	二一三	高坎	一六
塔爾站	二四六	リヤンチヤン	一八
塔爾站	二八六	ンナヤ屯	二二
拉發站	三二六	リヤ屯	二六
		ヤンシャ屯	二七

ウツヤンズー  
 アンウツヤン  
 シンカイヘー  
 ホウヤホ  
 グースイフアン屯  
 藍家條子  
 ヘーウヤ屯  
 牛莊(沙河子)  
 ズイフイン屯  
 シヤオウヤン  
 沙陽堡  
 グーワンタイ  
 ツータイズー  
 フアンウヤン  
 フイシヤイガンズー  
 スイムインタイ  
 板橋子  
 王家窩棚  
 ナーズイボ  
 ナンチヤオゴ  
 シヤオウヤンズー  
 シエクアンプー

三〇<sup>3</sup>/<sub>4</sub>  
 三一<sup>3</sup>/<sub>4</sub>  
 三四  
 三六<sup>3</sup>/<sub>4</sub>  
 三七<sup>1</sup>/<sub>7</sub>  
 三九<sup>3</sup>/<sub>4</sub>  
 四〇<sup>3</sup>/<sub>4</sub>  
 四二<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 四五<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 四九<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 五一<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 五二<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 五三<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 五五<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 五六  
 五八<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 五九<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 六三<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 六五<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 六七<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 六八<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 七一<sup>1</sup>/<sub>4</sub>

チンヤンズー  
 シヤンヤン  
 リエーヤンズー  
 ビヤンガンズー  
 ケーシリス  
 シーヤオズー  
 馬牙堡  
 ラーバ屯  
 リエールブズー  
 ヤンズイゴ  
 イヘー庄  
 ガンズー  
 チンヤンズー  
 ルンヤン  
 ツアオワン  
 沙嶺  
 シヤンタイ  
 シュアンシン站  
 シンウヤ屯  
 チヤンフアン  
 ニイリヤンズー  
 遼陽

七六<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 七七<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 八〇  
 八〇  
 八二<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 八四<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 八六<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 八七  
 八九<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 九〇<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 九二<sup>3</sup>/<sub>4</sub>  
 九四<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 九八  
 一〇〇<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 一〇四  
 一〇六  
 一〇九  
 一一一  
 一一四  
 一一五<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 一二〇  
 一二三

インシユイシ  
 シュツアイワンズー  
 シエカンチン  
 シヤンターズー  
 サンダオバ  
 ルファンシニイア  
 ワンマンチヤオ  
 煙臺  
 シヤンヤオア  
 ウータイ  
 マンチヨ  
 十里堡  
 チヤンシン站  
 ニイジャールズー  
 沙河堡  
 シヤンシャア  
 ホーインチヤオ  
 白塔舖  
 ウータイズー  
 環河堡  
 珠河  
 ターワン

一二六<sup>3</sup>/<sub>4</sub>  
 一二八  
 一三二  
 一三四  
 一三六<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 一三九  
 一四三  
 一四五  
 一四九  
 一五一  
 一五三  
 一五三<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 一五六<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 一五九  
 一六三  
 一七一  
 一七二  
 一七四<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 一七六<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 一七七<sup>1</sup>/<sub>2</sub>  
 一七九<sup>1</sup>/<sub>4</sub>  
 一八一<sup>1</sup>/<sub>4</sub>

奉天  
 營口—旅順口  
 營口ヨリ  
 二道河  
 藍平  
 熊嶽城  
 李官村  
 マチヤン  
 復州  
 シヤオア  
 營口  
 金州  
 金州廳ヨリ  
 南陽  
 ムーチヤン  
 營城子  
 双登口  
 三家舖  
 旅順口

一八三  
 二〇  
 七〇  
 一三五  
 一六五  
 二二七  
 二五二  
 二九二  
 三四二  
 二〇  
 六〇  
 六五  
 七五  
 九五  
 一二〇

距離(海里)

蓋州—大庄河

蓋州ヨリ

ヤンケアン	一五
ルンレンミヤキ	四五
ウーリリン	四五
シーヤンソイン	九五
タンフー庄	一〇〇
フアヤンリンズー	一三五
リーヤンチヤン	二二五
大庄河	二六〇
大庄河—金州廳	
沙河	一〇
ダズーヤオ	三〇
マールーシヤン	五〇
リニシヤオヤン	七〇
ガズイグー	八七
スンヤンオズー	九五
ビリー河	一〇三
シンヤン	一二三

ヤンジャータヤン	一三三
皮子窩	一六八
ウーシヤヤン	二〇三
フーシヤヤン	二八八
リニシヤヤン	二八八
關家站	二九八
金州廳	二一八
大庄河ヨリ	
ガエンタイズー	七〇
大孤山	一五五
斗勾子	二二〇
カトバーリン	三〇〇
高麗門	三四〇
鳳凰城	三七〇
鳳凰城—撒馬集—小水里	
本溪湖	
鳳凰城ヨリ	
順家屯	五〇
チニユベ	九〇

奉天—通化城—朝兒山

奉天ヨリ

撫馬集	一六〇
分水嶺	一八五
チニアンスー站	二二〇
小水里	二六〇
大嶺	二九〇
ウロー堡	三三五
木溪湖	三七〇
奉天—通化城—朝兒山	
新陸站	五〇
撫順城	八〇
アーク	一二〇
魯登	一七〇
三岔河	一九〇
ムーチ	二二五
永陵	二六五
新賓堡	三〇五
白家堡	三二〇
旺清門	三五五
サンコニシユ	三七五
崗山嶺	四〇〇

リフインル	四三五
グアイター廟子	四七〇
通化城	五一五
エシユイ河	五五〇
スーダオ庄	五七〇
楊家路	六三〇
三岔口	六七〇
小里石溝	七七〇
朝兒山	八一〇
朝兒山—炭河口	
朝兒山ヨリ	
二道溝	三五
ダンジャータンゴーズ	九五
炭河口	一九〇
奉天—法庫門—長城子	
奉天ヨリ	
法庫門	一七〇
通江子	二六〇
昌圖府	三三〇

龍慶閣	三九〇	カオジン	四〇
四平街	四三〇	サンシャーズ	八〇
奉化殿	四六五	チャオヤン傑	一一〇
ニュージャク	五〇〇	チンリン	一三〇
初陽子	五五五	マインカーラー	一五五
シンレン堡	六一〇	偏打口子	一六七
ソアイデーシヤン	六二五	シャーシリン	一七五
スージャズ	六六〇	テヤンペンソン	二〇五
小黒林子	七〇五	寛街	二四五
寛城子	七七〇	寛街—炭河口	
吉林—長城子		ソアピト河	三
吉林ヨリ		金城	八三
大水舖	四五	ビーツヨ	一一三
火橋	九〇	輪樹口子(松花江渡口)	一七三
シーフイヤオズ	一四五	フアンシューテヤンズ	一九八
觀音口	一八〇	チヤンガン	二二八
寛城子	二四五	萬里河	二八三
吉林—寛街		松花江渡口	三〇三
吉林ヨリ		炭河口	三六六
シヤンコリズ	六	「ホルタフスカヤ」—輝古塔	

吉林

「ホルタフスカヤ」ヨリ	距離(露里)	齊集口兒	一九六
綏芬渡口	一六	クアアヤ	二一八
馬道河子ノ第二渡口(右岸ヨリ左岸ニ)	三八	クアアヤ	二四六
イードー河ノ渡場	六四	エムム庄	二七〇
小綏芬ノ渡口	七八	吉林	二九二
四林河畔ノ村	八九	額木索—琿春	三一八
マナオ河畔ノ村	一一三	額木索ヨリ	
穆稜河ノ要塞	一三七	スイダ門	二八
拾馬溝	一六七	楊家店	五六
フーセーハー站(牡丹江附近)	二二二	ハンテヤオズ	八二
輝古塔	二三七	クンボラーズ	一〇九
輝古塔ヨリ		ウグーゲンズ	一三四
寛街		寛街	一三四
シンレン站	二六	南崗	一五五
花拉木	五五	局子街	一八四
二站驛所	七八	嘎呀河	二一三
塔拉哈庄	一〇八	凉水泉子	二三〇
必拉哈	一三〇	密江	二五五
額木索	一四五	琿春	二七〇
ノーズー站	一七三	琿春國境會所	二九〇
			三二四

登額爾鐵庫站—拉林城—阿什河

フアンチー高棚	一	七二
拉林城	一	八一
五常城	三	八九
モーターソイン	八	一〇二
クンシャエーノアン	八	一〇四
二道河子	九	一〇八
阿什河	九	一一三
伯都訥—阿什河—新站	一一	一二三
伯都訥ヨリ	一一	一二三
距離(清里)	一一	一二三
双城鎮	二六	二六〇
阿什河	二八	三九〇
賓州	二九	五二〇
新站	三二	六〇〇
齊々哈爾—呼蘭城—三姓	三四	
齊々哈爾ヨリ	三四	
隆家站	五〇	五〇
ダーハオズー	五七	七五
ウーマイル	五七	七五
滿子口	六七	一六五

登額爾鐵庫站—拉林城—阿什河

喇嘛城	二〇五	
蘇爾特城	二四五	
フンダー站	二九五	
シエンケン	三四五	
カールムー	三八五	
張家站	四三五	
シンユーシエー	四六五	
呼蘭河(渡口)	四九五	
呼蘭城	五二五	
白彦蘇々	六二五	
リニウチー站	六四五	
シヤオシー河	六五五	
大木蘭達	六九五	
フーツウウー堡	七〇五	
白楊木	七五五	
ヌンヌン河	七九五	
四站	八二五	
クンツウ站	八五五	
三站	八八五	
クンヌン山	九三五	
二站	九七五	
シヤオクン河	一〇〇五	
三姓	一〇三五	
呼蘭城—北園林子	六〇	
呼蘭城ヨリ	九〇	
太平山	一〇五	
シーユアン城子	一二五	
朝陽堡	一四〇	
スーシヤ高棚	一七五	
シーヌオ山	一七五	
北園林子	一七五	
白彦蘇々—北園林子	四五	
白彦蘇々ヨリ	七五	
ダモーター河	一一五	
ルンヌン崩	一四〇	
朝布窩堡	一七五	
ハイバオ山	一七五	
北園林子	一七五	
三姓—齊古塔	一七五	
三姓ヨリ	一七五	

太平店	四五	查兒里	四五 1/2
娘子溝	七〇	哈拉呼集	七四
茨子河	一一五	ヤクシー	九三
八榆樹	一七五	們都克	一一二
リヤンフアオ	二二五	哈爾克	一三三
八道河子	二八五	伊勒克的	一四八
三站	三三〇	都哈圖	一七五
二站	三六五	伊爾那博	一九九
頭站	四一〇	巴里木	二五〇
フーアシユリンズ	四五〇	撒拉克答	二五四
掖河	四九〇	阿楊	二七六
牡丹江ノ渡口	五三〇	サラクタン(撒拉克塔)	二九九
海古塔	五五〇	喇拉克答	三二〇
海拉爾—齊々哈爾		廠々府	三四五
海拉爾ヨリ	距離(露里)	湯爾特吉	三六五
哈克	二七	シーチンエ	三八九
		齊々哈爾	四一七

(B) 松花江兩岸十二露里以内ノ村落地名

右岸ノ村落	河ロ(露里)ノ距離	左岸ノ村落	河ロ(露里)ノ距離
チユチーハ	三		
喇哈蘇	六 1/2		
子リフ	二〇		
アカザーラ	五六		
フトワン、ギーリン	六三 1/2		
カアルダン	六五		
フクティン	六六		
フーティン	六七		
カハーマ	一一五		
ワン、リ、ホトン	一五〇		
フエルマ、フンチン	一六七		
蘇々	一七〇		
フンガリー	一七二		
タイ、フン、シヤン	一八五		
モンゴレー	一九五		
リ、ンタマイ	一九七		
トウメン	二〇〇		
マニョーヘー	二〇三		
ヘエートワン	二〇八		
グエーゾオウ	二一八		
アオチー(フオーディン)	二二一		



ライゾア	二二七	ラン、タイキ	二四五
ターリアン、エウ	二二九	ツウ、レエン	二五〇
ワアリ、トワー	二二三	トウ、リ	二五一
ツン、ブエ	二三五		
ルスタウ	二三九		
カオルダアン	二四二		
サンイン、ウオーケン	二四五		
ファン、ゲト、リト	二五二		
ファン、ガ、サト	二五四		
サオ、ワー、ディヤン	二五九		
ター、ワー、ディヤン	二六二		
ス、リ、ヘー	二六九		
アディマイ	二七三		
フオルト、バーヤントウ	二七五		
タイ、サーチン	二九一	ス、ヘー	二六一
三 雄	二九四	カーファザン	二七三
シヤチヤチ、グエイツ	二九四	パワン(ヘー)	二八六
	二九四	下ミヤチヤチ	二九一
	二九四	上ミヤチヤチ	二九四
		ハンタイ	三〇〇

シユイ、ツン、ピン	三五九	シイリハン	三〇二
ナンゲナムゴン	三八三	シヤチケードワン	三〇六
新 站	四三四	ダアケードワン	三一九
哈拉賓	四三四	イーハントウ	三六五
		ソール、ツン、コウツイ	四二一
		シイツイヘー	四五二
		白彦	四五五
		トイダ	四八三
		ター、ハイシイ	四八八
		フドワン、コウ、ツイ	五三〇
		パイ、ゼン、フアン	五三一
		シヤン、コウ、ミン	五四三

チヤン、ゴイ、ツイ	五四五	ラウ、トウ	五七一
バチ、モ	五五八	アチ、ケヨウ	五七二
下アチヤヨウ	五六六		
次アチヤロウ	五六八		
トウ、ブユウ、ツイ	五八七		

シイ、アエン	五九四		
ヒ、サー、ヘー、ツイ	六二〇		
タイ、アイ	六四三		
タア、フワ	六五〇		
トニ、ア、ア、レ、フ、ニ、(2)	六五八		
チヤ、シヤ、ン、アイ	六七九		
メ、チヤ、ハ、エル	六八二		
チヤ、エル、ウ、オー、ベン	六八四		
チヤ、ン、ブ、エ	六八五		
五、察、屯	六八九		
フ、アン、ニ、イ、チヤ、ン	七〇九		
伯都訥	七三五		
		蒙古村	六八四

第六表 観測

(A) 満洲及附近各地ノ天文観測所

(イ) 黒龍州及沿海州ノ天文観測所

	緯度	東經	
アマガイツイ雷所	四九.三四	一三五.三一	二
アラゴウエンチエンスク	五〇.三五	一四四.四〇	二

アドニスカヤ驛	四七.三七	一五二.二五	二
ビギンツロ	四六.五〇	一五一.四七	二
聖ウラチミル海	四三.五五	一五二.四八	二
伽羅新地要港	四三.〇六	一四九.三六	二
ウラングツ海	四二.四四	一五〇.四二	二
カモツ岬	四二.三四	一四八.五〇	二
ダウビヘ川口	四四.四二	一五一.〇九	二
ドーブツヤ驛	四七.四二	一四九.二四	二
黒龍江ズメーナヤ山	五四.〇五	一四三.一三	二
イマン川口	四五.五八	一五一.〇三	二
スンガヤ第二番所	四五.二八	一五〇.五三	二
全 第三番所	四五.二二	一五〇.五〇	二
クマルスカヤ驛	五一.三五	一四四.四〇	二
カサトキ驛	四八.五八	一四七.四八	二
カザケウ井子驛	四八.一六	一五二.〇二	二
ルゴイヤ驛	四八.一六	一五一.〇二	二
マトウニフ岬	四二.五四	一五一.〇二	二
ミンイロセメノフスカヤ驛	四七.四九	一五一.〇二	二
ナホソカ海	四二.四八	一三二.五三	三
聖オウガ海	四三.四四	一五二.四六	二
ホウオロツスイ岬	四二.四〇	一四八.四三	二
ボシニツト海	四二.四〇	一三〇.五〇	三

附録

七百三十六

ハンカ湖ヨリスンガチナ川ノ流出スル所	四五〇三	一五〇三四	二
スンガチナ川口	四五〇四	一五〇六	二
スイフン川口	四三〇一七	一四九〇三	二
スコベリチン驛、ノレナ川口	四九〇二五	一四七〇一七	二
松花江口	四七〇四二	一五〇一一	二
豆滿江口	四二〇一七	一四八〇一六	二
ウストスツレルカ	五三〇一九	一三九〇三〇	二
ハムロフスク	四八〇二八	一五二〇四七	二
ホー川口	四七〇四九	一五二二五	二
シヤアシンスカチ驛	四七〇六	一五二五七	二
(ロ) 支那本部、後貝加爾及蒙古ノ天文測候所			
アルカスタイ	四一〇二〇	一一四〇三八、七	二
ペーシヤン站	三九〇五八〇	一一七〇三一、七	二
ランフータイ	三九〇五二〇	一一八〇四九、一	二
グーベール	四〇〇四一七	一一七〇八六	二
ドロンノール	四二〇二二六	一一三四〇六	二
ツアンシヤン	三九〇五九、五	一一七〇一三、〇	二
クイリスキヤン	四九〇三四	一一九〇三八	二
ケルレン川口	四八〇五〇	一一三四〇五、一	二
ケルレン第一驛	四八〇三三	一一三四〇一一	二

全 第二號

ランチナ	四八〇二五	一一三〇六	二
ルイーゴウチナ	四一〇四五、九	一一七〇四二、三	二
ルアンピンシヤン	三九〇五〇七	一一六〇一四、八	二
リヤンシヤン	四〇〇五七一	一一七〇四七、二	二
マータナズイ	四〇〇四四、三	一一七〇二五、五	二
ナヌー	四二〇二八、八	一一七〇五三、〇	二
子ルチンスク	四〇〇一五、一	一一六〇八七	二
北京	五一〇五八	一一三四〇一五	二
ピンツェン	三九〇五四、三	一一六〇二六、〇	二
シンデヤン	四〇〇五八、四	一一八〇三〇、〇	二
シヤムイン	三九〇五一、五	一一七〇一八、一	二
ドウダオイン	四一〇一五、一	一一七〇三三、一	二
ツァンヤン	四二〇〇二、二	一一七〇三八、〇	二
ツァンヤン	四二〇二六、六	一一七〇一〇、八	二
庫倫	三九〇七、四	一一四〇二二	二
フイン	四七〇五五	一一八〇二二	二
ヘン	三九〇五〇、〇	一一八〇二二	二
チナ	四三〇一三	一一八〇二二	二
張家口	四〇〇二二、四	一一六〇〇三	二
山海關	四〇〇五〇、七	一一四〇五三、八	二
	四〇〇一〇、〇		二

附録

七百三十七

(ハ) 満洲ノ天文測候所

愛取	五〇三四	一三七〇四二
アオミソガシヤン	四六〇五三	一四八〇一八
バミヤンチエン	四三〇一一四	一一三〇四六一
バンラムイン	四一〇五二〇	一一二〇七二二
伯都訥店	四五〇四六	一四二〇三七
ホロトガシヤン	四三〇四八	一三九〇二二
パンスイホトン	四一〇二九	一四三〇二二
皮子窩	三九〇一八	一一二〇一八
吉林	四三〇四五	一四四〇二九
クンスイシヤ	四二〇五九七	一一三〇三五〇
蓋州	四〇〇三〇	一一二〇一八
ダバイチプー	四一〇五三〇	一一三〇一四
大凌河	四一〇〇三	一一一〇〇六
ダルーダオ	三九〇四三	一一三〇四四
ダブクハンカ(南岸)	四四〇三三	一五〇〇三九
大孤山	三九〇五五	一一三〇五二
インダムガシヤン	四六〇五三	一四八〇一八
フーチビラ川水源	四三〇三一	一四七〇二〇
營口	四〇〇四〇	一一三〇二二
カムニハ站	四八〇四一	一四二〇三三

カルシヤンガシヤン	四〇〇五	一四一〇三三
リュイヤン	四一〇三三二	一一二〇一九九
老嶺山(岫)	三八〇四〇	一一三〇五二
遼陽	四一〇一八	一一三〇一〇
鳳凰嶺	四九〇二二	一四二〇三八
モホロガシヤン	四七〇一九	一四八〇四五
奉天	四一〇五〇	一四二〇一七
ニマンガシヤン	四五〇五五	一五一〇四九
ヌーシユガシヤン	四五〇四八	一四三〇五七
崧古塔	四四〇二四	一四七〇二二
牛莊	四一〇〇〇	一四〇〇一八
熊岳城	四〇〇三八	一一三〇四四
サンケーシュー	四三〇三〇	一一三〇五三
サンリーチホオ	四〇〇二三	一一〇〇二四
シンシヤン	四〇〇五七	一一〇〇五四
新民屯	四一〇五九	一一二〇三〇
シヤターズイ	四二〇三八	一一三〇一六
シヤオヘーシヤン	四一〇四一	一一二〇四九
三姓	四六〇一八	一一九〇三六
新站	四一〇四二	一四二〇一七
シンジヤンウエ	四一〇一六	一一三〇一八
松花江第二點	四五〇四一	一一三〇二〇